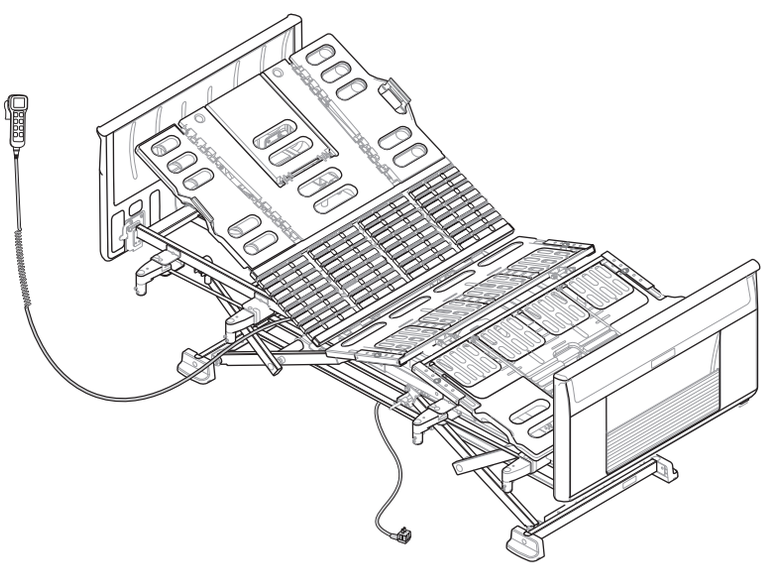
Panasonic

取扱説明書

在宅向け電動ケアベッド
コンフォーネ

品番　XPN-S105200B　XPN-S105200M
XPN-S105210B　XPN-S105210M
XPN-S105300B　XPN-S105300M
XPN-S105310B　XPN-S105310M



まえがき

このたびは、パナソニック製品を
お買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ご使用の前に「安全に使用するための注意事項（7〜15ページ）」と「設置についての注意事項（16, 17ページ）」を必ずお読みください。
- このベッドは日本国内専用で、海外では使用できません。

保証書別添付

A1214-1075

-もくじ-

1.この製品について ・・・2〜5

2.各部のなまえ ・・・ 6

3.安全に使用するための注意事項 ・・・7〜15

4.設置についての注意事項 ・・・16〜17

5.手元スイッチの配置について ・・・18

1.手元スイッチの配線方向について ・・・・・・・・ 18
2.手元スイッチの取り付けかた ・・・・・・・・ 18

6.ベッドの使用方法 ・・・19〜25

1.手元スイッチの各部のなまえ ・・・・・・・・ 19〜20
2.ベッドの電源を入れる / 切る ・・・・・・・・ 21
3.背と足を連動であげる/さげる（3モーション）・・・・・・・ 22
4.背をあげる/さげる（3モーション・2モーション）・・・・・・ 23
5.ひざ・足をあげる/さげる（3モーション） ・・・・・・ 24
6.ベッドの高さをあげる/さげる（3モーション・2モーション）・・ 25

7.ベッド本体でできる設定について ・・・26〜30

1.大腿長を調節する ・・・・ 26
2.サイドアップを切り換える ・・・・ 27
3.ヘッドアップを切り換える ・・・・ 27
4.フットアップを切り換える ・・・・ 28
5.オプションホルダーを収納する ・・・・ 28
6.逆挿入防止ピンを使う ・・・・ 29
7.頭/背足連動を手動で切り換える（2モーションのみ） ・・ 30

8.手元スイッチでできる設定について ・・・31〜35

1.動作ロック機能を使う ・・・・・・・・・ 31
2.音声設定を切り換える ・・・・・・・・・ 32
3.メモリ機能を使う ・・・・・・・・・ 33
4.動作速度を切り換える ・・・・・・・・・ 34
5.頭/背足連動を切り換える（3モーションのみ） ・・・・ 35

9.手動でボトムをさげる ・・・36〜38

1.背ボトムを手動でさげる ・・・・・・・・・ 37
2.ひざ・足ボトムを手動でさげる ・・・・・・・・・ 38

10.適合オプションについて ・・・39〜42

1.サイドレール（JIS認証対象） ・・・・・・・・ 39
2.ベッド用グリップ（JIS認証対象） ・・・・・・・・ 39
3.サイドテーブル ・・・・・・・・ 40
4.オーバーテーブル ・・・・・・・・ 41
5.キャスター（JIS認証対象） ・・・・・・・・ 41
6.延長脚座（JIS認証取得） ・・・・・・・・ 42
7.脚座ゴムシート（JIS認証取得） ・・・・・・・・ 42
8.オプション品一覧 ・・・・・・・・ 42

11.適合オプションの組み合わせと取り付け位置について・・43

12.マットレス（別売）について ・・・43

13.電動介護リフトを使用するときのご注意 ・・・44

14.定期点検と日常のお手入れ ・・・45

1.定期点検・愛情点検 ・・・・・・・・ 45
2.お手入れのしかた ・・・・・・・・ 45

15.故障かな?と思ったとき ・・・46

16.長期保管について ・・・47

17.ベッドの移動と設置について ・・・47

1.ベッドを移動させる ・・・・・・・・ 47
2.ベッドの設置について ・・・・・・・・ 48

組立・分解 ・・・49〜92

仕様 ・・・93

アフターサービスについて ・・・96

設定初期化とモーターのゼロ点合わせについて ・・・97

お客様ご相談窓口のご案内 ・・・裏表紙

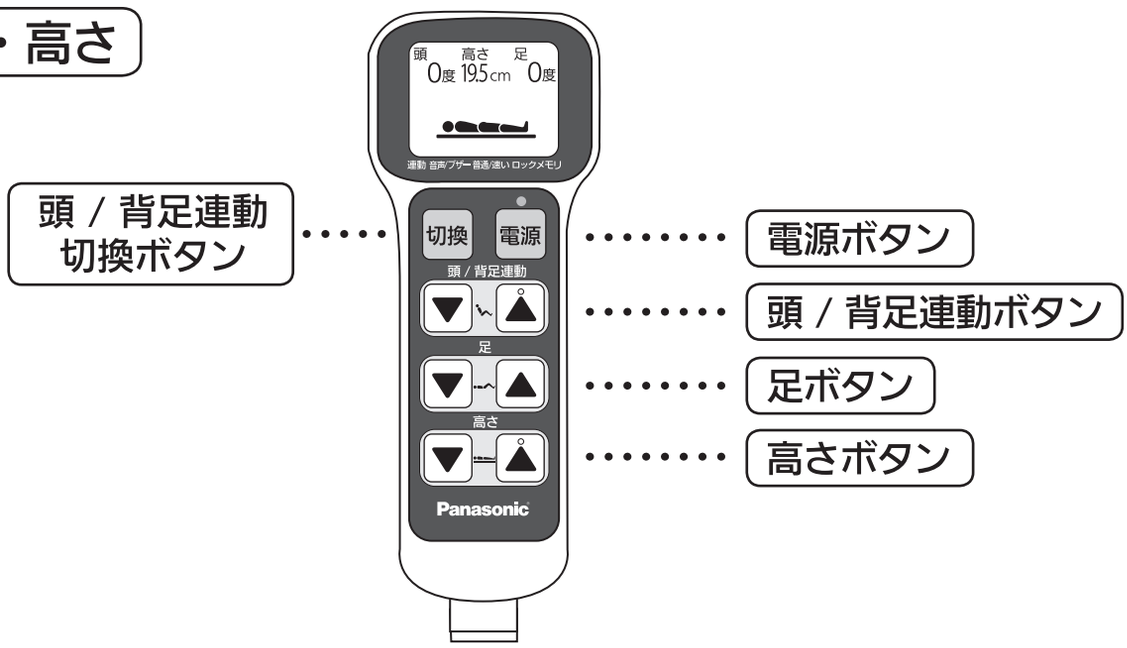
1. この製品について

本製品の特徴

・ご利用者の体に合わせられるように、ひざボトムの長さを5段階に調節できます。
・サイドアップ機能により、座位での倒れこみを防止します。
・手元スイッチに、カラー液晶・音声案内機能を搭載し、ベッドの操作がわかりやすくなりました。

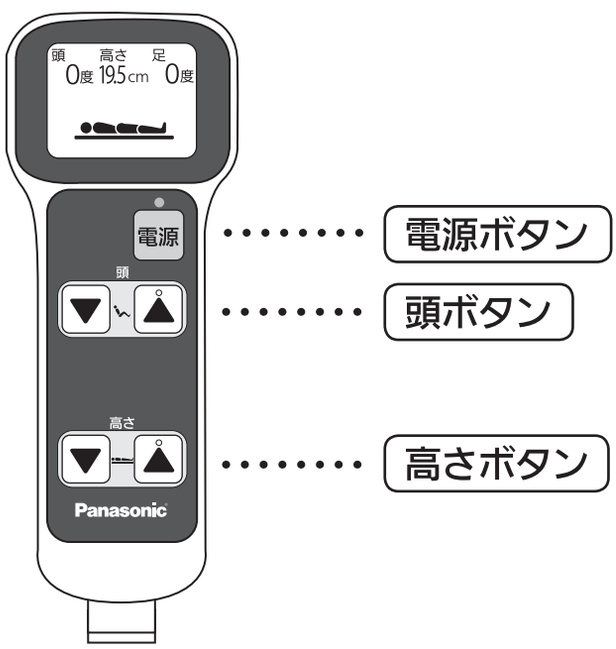
【3モーションタイプ】

頭・足・高さ



【2モーションタイプ】

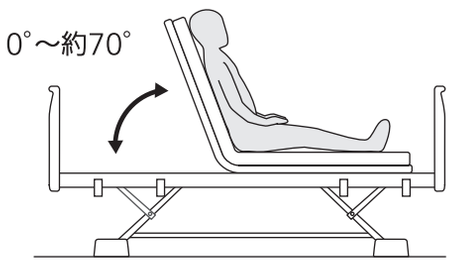
頭・高さ



1. この製品について　（→ ○ページ）は説明のあるページを示しています。

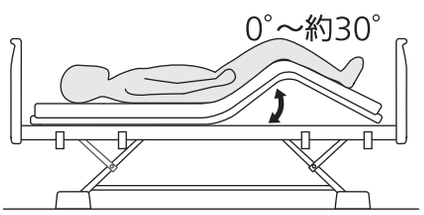
①背あげ　（→ 23ページ）

背ボトムを0˚から約70˚の範囲で調節できます。
サイドアップや大腿長調節機能、ぴったりラインで、
体にフィットした背あげができます。



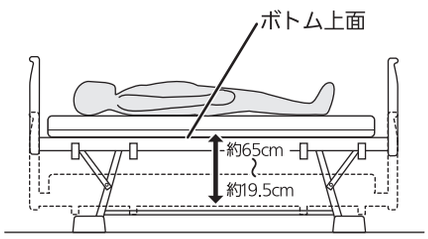
②ひざあげ　【3モーション（→ 24ページ）】

足ボトムを0˚から約30˚の範囲で調節できます。
大腿長調節でひざが上がる位置を調節できます。
※2モーションは連動時のみ0～12˚で調節できます。



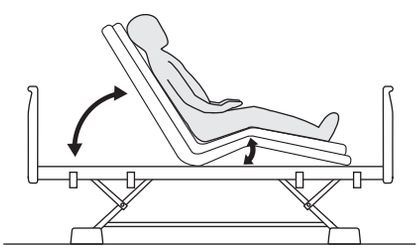
③高さ調節　（→ 25ページ）

ベッドの高さ（床からボトム上面までの高さ）を
約19.5cmから約65cmの範囲で調節できます。
低床のため、寝るときにはベッドを低く設定しておく
ことで、万一転落した場合の衝撃を軽減できます。



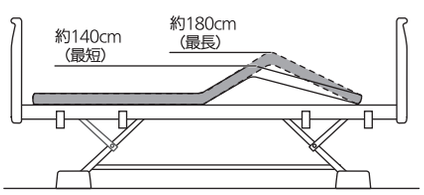
④連動動作　【3モーション（→ 22ページ）】

背ボトムと足ボトムが同時に動作します。
※2モーションタイプは、組み立て時に背足連動動作とさせるか、
背ボトム単独の動作とするかを選び組み立てします。



⑤ご利用者の大腿長に合わせられるひざボトム　（→ 26ページ）

約140cm～180cmの方の身長にあわせ、
大腿長が5段階に調節可能です。
ショートタイプで組み立てた場合は、
140ｃｍ, 150cmの2段階で調節できます。

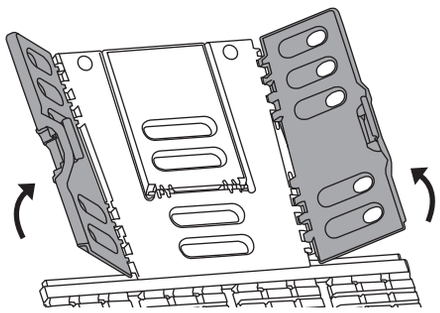


上図は、約140cmの方（点線は180cmの方）の身長に
あわせた場合の、ひざボトムの屈曲位置の例です。

1. この製品について　（→ ○ページ）は説明のあるページを示しています。

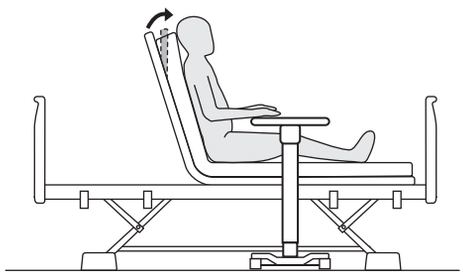
⑥サイドアップ機能が座位姿勢をサポート（→ 27ページ）

背あげ時に、サイドアップボトムがあがり、
ご利用者の座位姿勢をサポートします。



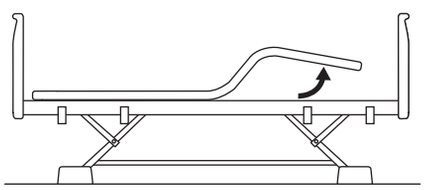
⑦視界が広がるヘッドアップ機能　（→ 27ページ）

背ボトムの中央部を5°, 10° の2段階で起こすことができるので
視界が広がり、食事もしやすくなります。



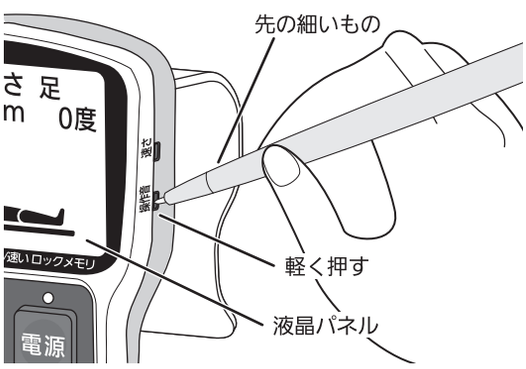
⑧かかとがあげられるフットアップ機能　（→ 28ページ）

ベッド側面の切換用ノブボルトでの簡単操作で、
ご利用者がベッド上に居られても、
フットアップのON/OFFを切り換えることができます。



⑨音声, カラー液晶表示パネル搭載手元スイッチ　（→ 19ページ）

カラー液晶表示パネルで、ベッドの角度や高さなど
確認できます。
また、音声で背あげやひざあげなどのベッド動作を案内します。
ベッドの設定方法が液晶表示パネルに表示されますので、
設定機能が使いやすくなっています。



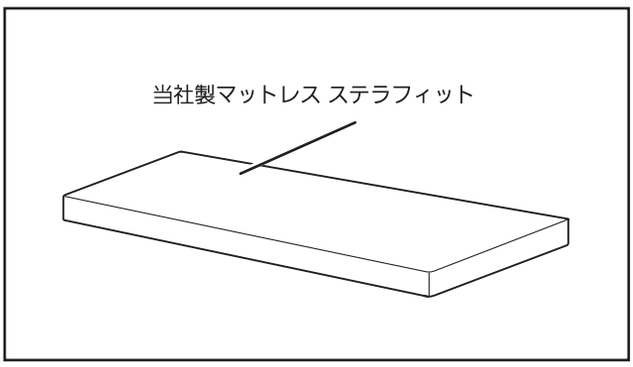
1. この製品について

（→ ○ページ）は説明のあるページを示しています。

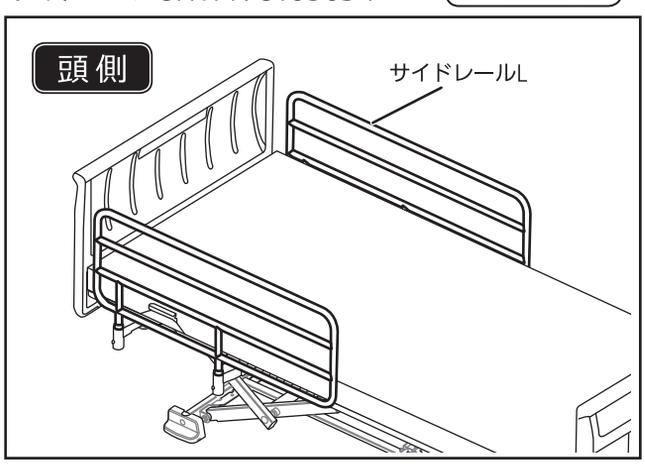
オプション品

（→ 39～42ページ）

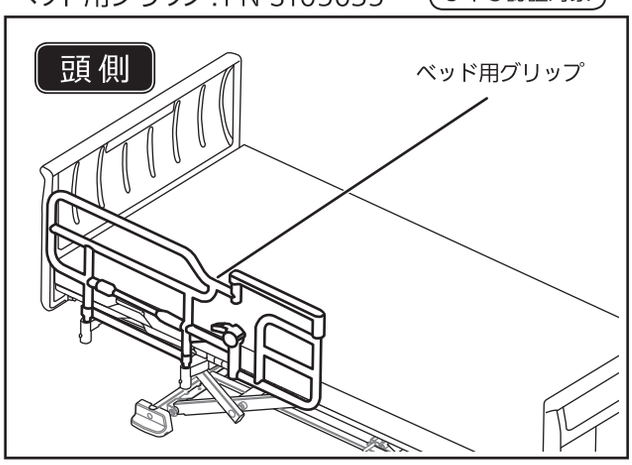
当社製マットレス ステラフィット
レギュラータイプ：PN-S120001
ショートタイプ：PN-S120002
ナロータイプ：PN-S120003
ナローショートタイプ：PN-S120004



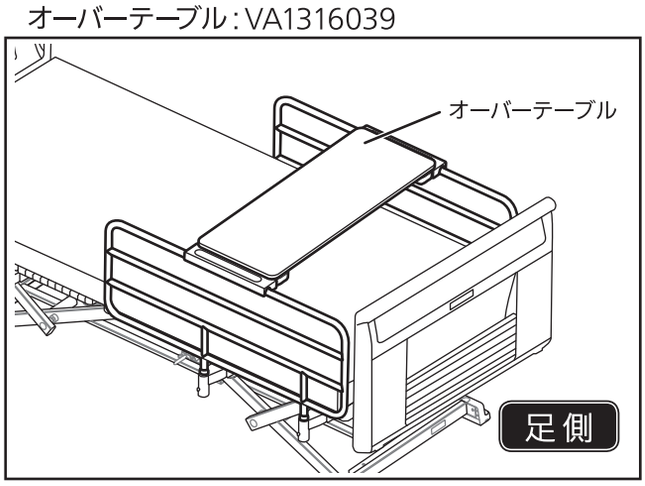
サイドレールL：PN-S105031
サイドレールS：PN-S105032
サイドレールLH：PN-S105033
サイドレールSH：PN-S105034
（ＪＩＳ認証対象）



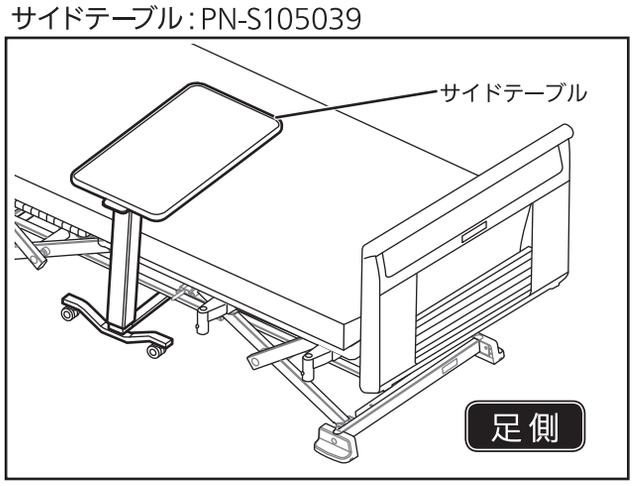
ベッド用グリップ：PN-S105035
（ＪＩＳ認証対象）



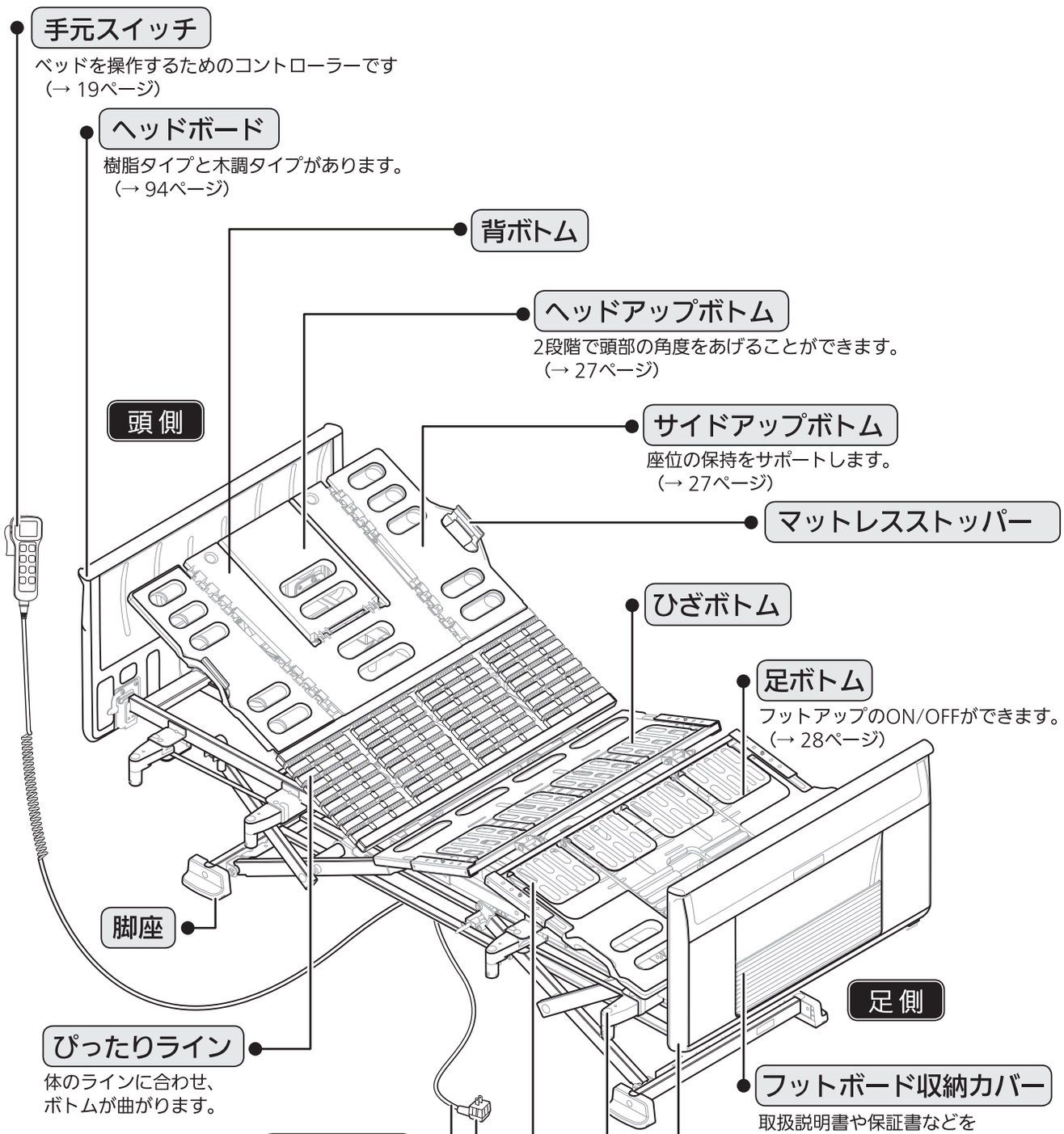
オーバーテーブル：VA1316039



サイドテーブル：PN-S105039



2. 各部のなまえ


手元スイッチ
ベッドを操作するためのコントローラーです
（→ 19ページ）
ヘッドボード
樹脂タイプと木調タイプがあります。
（→ 94ページ）
背ボトム
ヘッドアップボトム
2段階で頭部の角度をあげることができます。
（→ 27ページ）
頭側
サイドアップボトム
座位の保持をサポートします。
（→ 27ページ）
マットレスストッパー
ひざボトム
足ボトム
フットアップのON/OFFができます。
（→ 28ページ）
脚座
足側
ぴったりライン
体のラインに合わせ、
ボトムが曲がります。
フットボード収納カバー
取扱説明書や保証書などを
入れることができます。
電源コード
電源プラグ
大腿長調節パネル
体に合わせて5段階で長さを調節できます。
（→ 26ページ）
フットボード
樹脂タイプと木調タイプがあります。
（→ 94ページ）
オプションホルダー
オプション類を取り付けることができます。
（→ 28ページ）

3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

※人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡や重傷などを負うおそれがある内容」です。

⚠ 注 意	「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

■安全ラベルについて

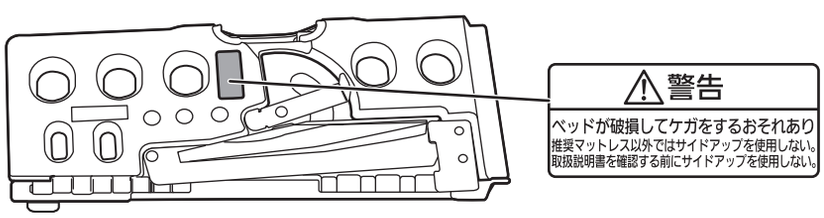
注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにして
フットボード、オプション受けの上面、ひざボトム側面に貼ってあります。

⚠注意

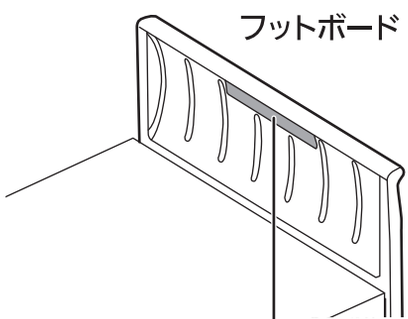
必ず守る

■安全ラベルは、はがしたり傷つけたりしないよう注意してください
安全ラベルがはがれたり、読めなくなってしまった場合は、
販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。

サイドアップボトム裏面（左右：計2箇所）



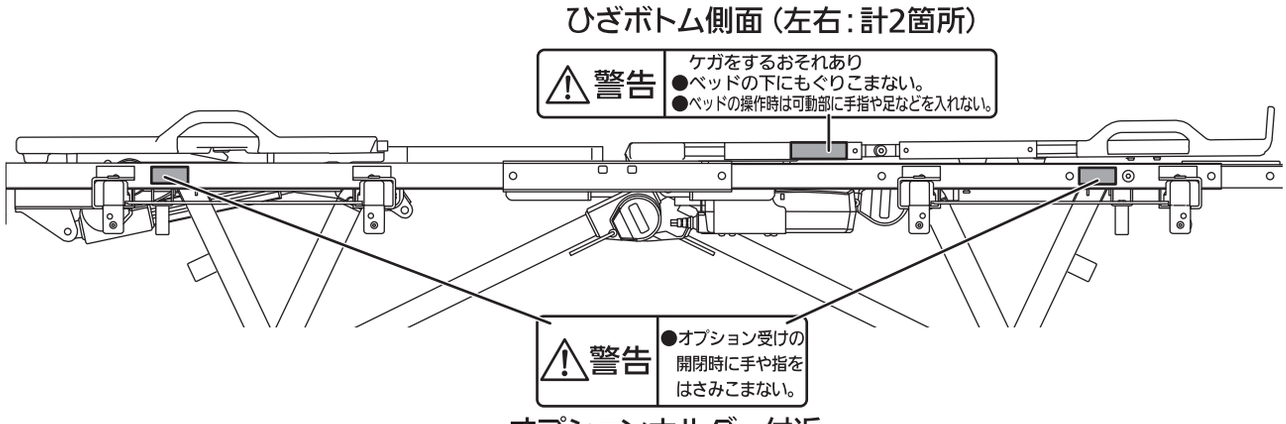
フットボード



⚠警告

ケガをするおそれあり
- 頭、腕及び足をサイドレール（柵）などから出したまま背上げ、ひざ上げを行わない。
- 最大使用荷重1700N（約174kg）、最大使用者体重120kgを守る。
- ベッドの近くでストーブなどの熱器具を使用しない。
- 操作の前に必ずベッドの下など周囲の安全を確認する。
- 操作する時は、手指を挟まないよう注意する。
- 背上げ、ひざ上げ状態の所に腰掛けない。
- サイドレール、ベッド用グリップは、取扱説明書記載の適合品を使用する。
- 自分で操作、調整ができない方には操作させない。（必要時以外は電源プラグを抜く）

ひざボトム側面（左右：計2箇所）



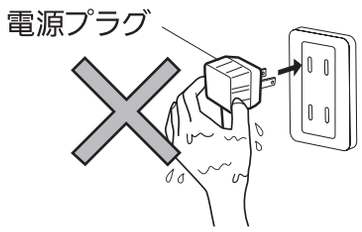
オプションホルダー付近
（左右前後：計4箇所）

3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

禁 止

■ぬれた手で電源プラグを抜いたり接続をしない
感電や火災・故障の原因となります。



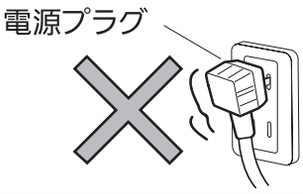
禁 止

■手元スイッチ・モーター・電源プラグ・電源ボックスに水をかけない
感電や火災・故障の原因となります。



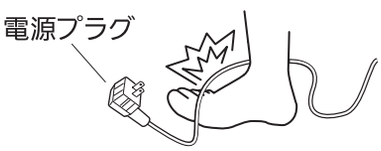
禁 止

■電源コードや電源プラグが、傷んでいたり、熱くなっていたり、コンセントの差し込みがゆるい状態で使用しない
感電や火災・故障の原因となります。



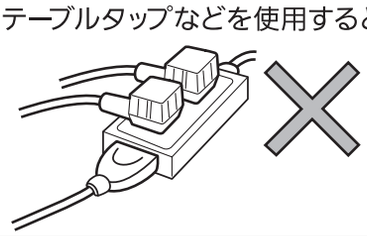
禁 止

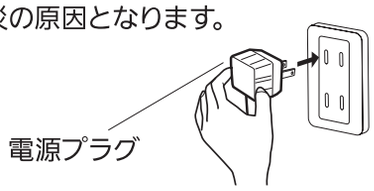
■電源コードや手元スイッチのコードに足を引っ掛けない
・プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
・転倒して、けがをするおそれがあります。



禁 止

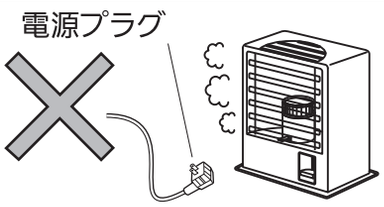
■タコ足配線は行わない
・電源コンセントはベッド1台ごとに適正配線された単相交流100 V・15 A以上のコンセントをご使用になり、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
・延長コード・テーブルタップなどを使用すると、火災の原因となります。





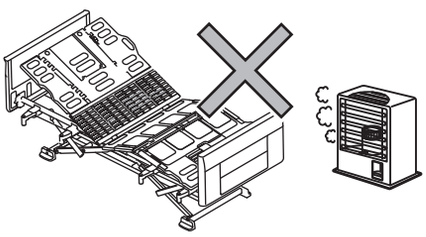
禁 止

■電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、束ねるなど）
・傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



禁 止

■ベッドの近くでストーブなどの熱器具を使用しない
火災の原因となります。



禁 止

■サイドレールをベッド用グリップがわりに使用しない
事故やけがの原因となります。

3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

禁 止

■電源コードはコンフォーネ以外で使用しない
電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

禁 止

■長期間使用しない時は電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化し火災・感電の原因となります。

禁 止

■モーターおよび電源ボックスには手を触れない
事故やけがの原因となります。

禁 止

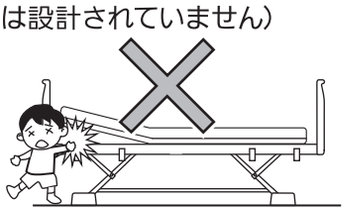
■開口部や隙間に指を入れない
事故やけがの原因となります。

禁 止

■12歳以下のお子様や、認知症の方など自分で適切に操作できない方には、操作させない
事故やけがの原因となります。

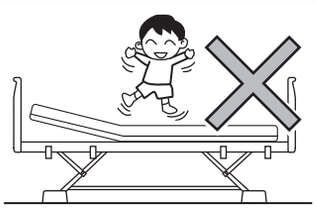
禁 止

■乳幼児やお子様には使用しない（本製品は、乳幼児やお子様向けには設計されていません）
・サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
・サイドレールを使用していても、すき間から転落してけがをするおそれがあります。



禁 止

■ベッドで遊ばない（遊ばせない）
事故やけがの原因となります。



禁 止

■勢いよく移乗したり、手荒に扱わない
事故やけがの原因となります。

禁 止

■ベッドの上で立ち上がったり、飛び跳ねたりしない（させない）
事故やけがの原因となります。

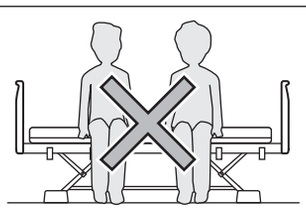
禁 止

■うつぶせ、横向きに寝た状態で背あげしない
事故やけがの原因となります。



禁 止

■ベッドは1人用のため、2人以上で使用しない
事故やけがの原因となります。



禁 止

■ベッドの下に物を置かない
事故やけがの原因となります。



禁 止

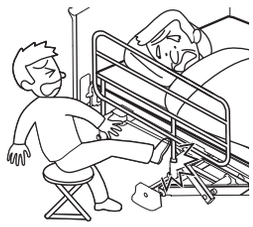
■ベッド動作時、介助グリップの操作レバーに衣類・毛布・掛け布団などを引っかけない
・衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
・ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

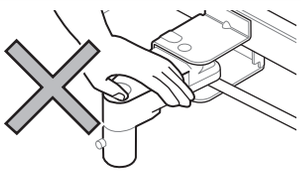
禁 止

■ベッドの高さをさげるときは、ベースフレームの上に足を入れない
はさまれて、けがをするおそれがあります。



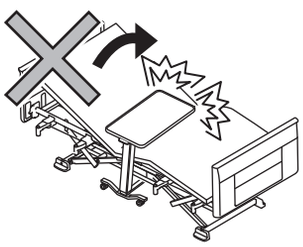
禁 止

■オプションホルダーに手をつかない
バランスを崩し、転倒するおそれがあります。



禁 止

■サイドテーブルをベッドで使用しているときは
ベッドを動作させない
サイドテーブルの脚部が、ベッドのモーター部などにあたり、
破損・変形・けがなどをする原因となります。



禁 止

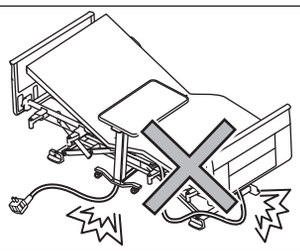
■サイドレール・ベッド用グリップ・オプションホルダーやヘッドボード・フットボードに
腰かけたり、上に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったり大きな衝撃をかけたりしない
ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやサイドレール・ベッド用グリップ・オプションホルダー・
ヘッドボード・フットボードなどが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

禁 止

■リフトの脚をベッドの下に差し込んでいるときは、リフト脚部をロックしない
ベッド操作のときにベッドとリフトの脚部やモーター部などが当たると、リフトが転倒してけがを
したり、ベッドやリフトが破損・変形するおそれがあります。

禁 止

■リフトやサイドテーブルの脚をベッドの下に
差し込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしない
電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。



禁 止

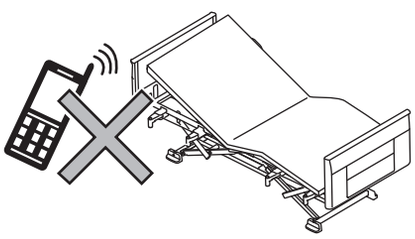
■ひざ・足ボトムをあげたまま、
フットアップの切り換えを行わない
事故やけがの原因となります。

禁 止

■キャスターを付けていない時に、
ベッドを押して移動させない
事故やけがの原因となります。

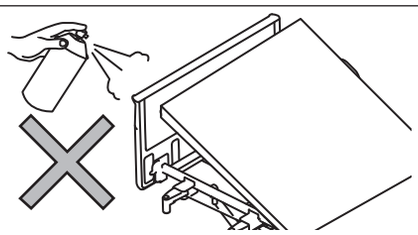
禁 止

■ベッド付近では携帯電話などを使用しない
ベッド誤動作の原因となる場合や、他の医療機器に
影響を与えるおそれがあります。



禁 止

■殺虫剤などの薬剤をベッドに直接噴射しない
殺虫剤など含まれる溶剤によって、ベッドの脚座や
他の樹脂部分が破損・変色・溶解するおそれがあります。
また、破損・溶解した部分で思わぬけがをする
おそれがあります。



3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

禁 止

■身体に不自由のあるご利用者はベッドを操作しない
足のはさみ込みの範囲での報知音がきこえないことや、リモコンでのはさみ込み注意の表示が見えないことによりベッドに足をはさみ込んでけがをするおそれがあります。

禁 止

■サイドアップやフットアップなどの切り換え作業が途中で終わっていないときにベッドを動作させない
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■オプション品一覧（JIS認証取得表）（42ページ参照）に記載の適合品を使用する
意図しないすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。

必ず守る

■安全使用荷重1700N（約174kg）、最大使用者体重120kgを守る
この荷重は、人、マットレス、サイドレールなどの質量を含む
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■医師に相談してから使用する
医師に相談しないと、使用する方によっては、背あげ・ひざあげで症状が悪化する原因となります。

必ず守る

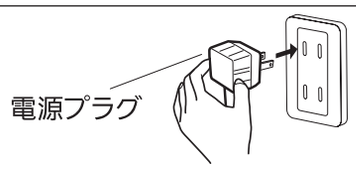
■定期的に点検やお手入れをする
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■組み立て後、使用前は必ず点検する
事故やけがの原因となります。

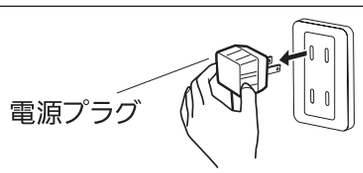
必ず守る

■交流100Vで使用する
■電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



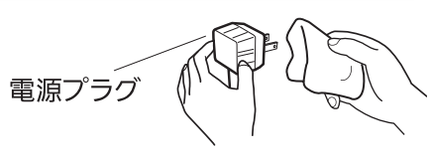
必ず守る

■お手入れの時は電源プラグをコンセントから抜く
感電や火災の原因となります。



必ず守る

■電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグに埃などがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず守る

■異常を感じたときは、すぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く
感電や火災の原因となります。

必ず守る

■電源プラグを抜く時は電源コードを持たず、電源プラグを持って抜く
感電や火災の原因となります。

必ず守る

■オプションホルダーを使用しないときは収納する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■オプションホルダーの穴に指を入れないように注意する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

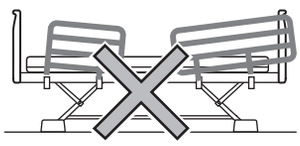
■可動部に手や腕など、人体をはさまないように注意する
事故やけがの原因となります。

3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

必ず守る

■サイドレールは、正しい向きで取り付ける
頭などをはさみ込み、事故やけがの原因となります。

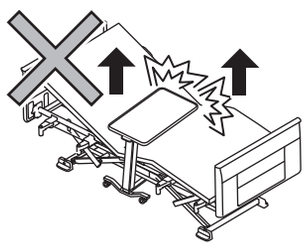


必ず守る

■回転部や駆動部に指を巻き込まれないように注意する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■ベッドの高さをあげるときに、
サイドテーブルなどで体をはさまないよう注意する
事故やけがの原因となります。



必ず守る

■サイドアップ時にグリップやサイドレール、ぴったりラインに腕や指がはさまれないように注意する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■背やひざ・足ボトムあげの時のサイドレールやベッド用グリップに、
人体やその一部をはさみ込まないように注意する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■サイドテーブルの脚とベッドのベースユニットが接触しないように注意する
サイドテーブルが転倒してけがをしたり、ベッドやリフトが破損・変形するおそれがあります。

必ず守る

■ご利用者を搬送する際は、
サイドレールを使用する
ご利用者がベッドから転落して、けがをする
おそれがあります。

必ず守る

■使用する人が転落する恐れが
ある場合は、サイドレールを設置する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

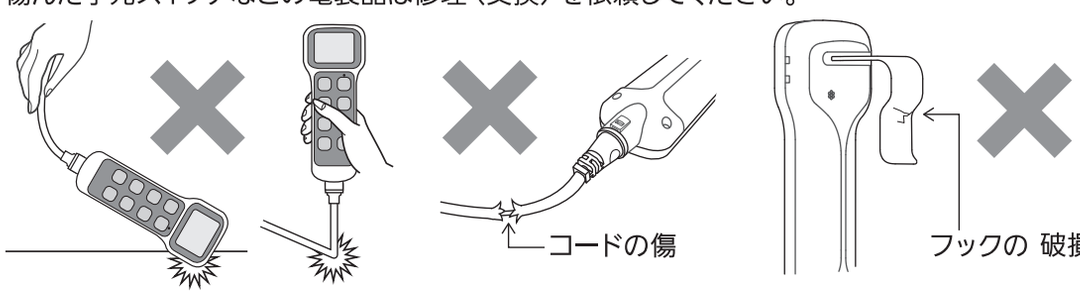
■サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意する
サイドレールとサイドレール、ボードとサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。

必ず守る

■手元スイッチ、モーター、電源ボックスのコードが断線している場合には修理を依頼する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■手元スイッチ、モーター、電源ボックスなどの電装品の取り扱いに注意する
ベッドが誤動作してけがをしたり、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
ぶつけたり傷つけないでください。落としたり、コードを無理に引っ張らないでください。
傷んだ手元スイッチなどの電装品は修理（交換）を依頼してください。



3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

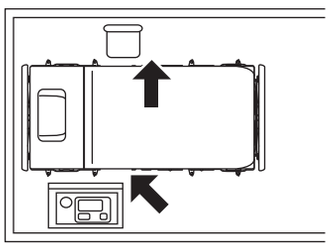
⚠ 警 告

必ず守る

■各部を操作するときは、手指をはさまないように注意する
・身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
・特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

必ず守る

■ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意する
・身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
・特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



必ず守る

■ベッドを操作するときは、周囲に人や動物がいないことを確認する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■ボトムの角度やベッドの高さを調節する際は、ご利用者の状態に注意する
ご利用者がボトムの角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
特に自分で体位を保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

必ず守る

■ご利用者から目を離したり、ベッドから離れる際は、ボトムの角度やベッドの高さに注意する
介護者・医師・付き添いの方などがご利用者から目を離したり、ベッドから離れる際は、万一のベッドからの転落に備え、状況に応じてボトムの角度を水平（フラット）にして、ベッドの高さを一番低い位置にしてください。

必ず守る

■ベッド操作時およびリフト操作時はリフトの周囲に注意する
・ベッドとリフトの間にはさまれたり、けがをするおそれがあります。
・リフトが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たって破損するおそれがあります。
・リフトがサイドレールなどに引っ掛かり、リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
・ベッドとリフトの脚部やモーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。

必ず守る

■ベッドを移動するときは、キャスターのロックをすべて解除する（キャスター使用時）
事故やけがの原因となります。

必ず守る

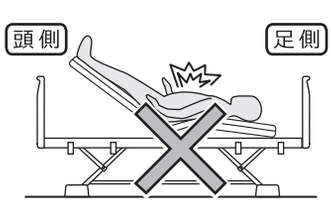
■ベッドを移動するとき以外はキャスターのロックをかける（キャスター使用時）
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■オプション品や突起物に衣類などが絡まないよう注意する
衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

必ず守る

■ベッド中央の正しい位置で使用する
（逆向きで使用しない）
事故やけがの原因となります。



3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

禁 止

■フットボード収納カバーに寄りかかったり、手でつかまって力を加えたりしない
フットボード収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをするおそれがあります。

必ず守る

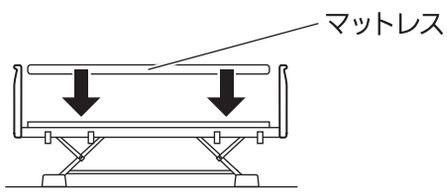
■被災したベッドは点検・修理を依頼する
地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口まで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

必ず守る

■小物（逆挿入防止ピンなど）は飲み込まないように定位置に収納する
飲み込んでしまう可能性があります。

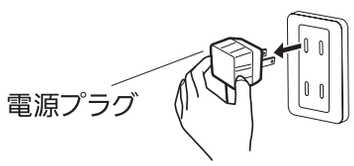
必ず守る

■マットレスを敷いて使用する
事故やけがの原因となります。



必ず守る

■電子治療器を使用するときは電源プラグを抜く
事故やけがの原因となります。



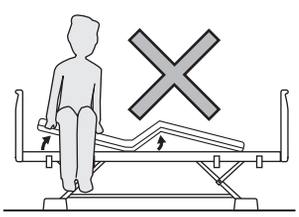
必ず守る

■操作を理解できない方が操作するおそれのあるときは、手元スイッチの電源を切にするか、電源プラグをコンセントから抜き、必要なときだけ動作させる
手元スイッチの電源を切にするか、電源プラグを抜いておかないと、誤操作による事故の原因となります。

⚠ 注 意

禁 止

■背あげ、ひざあげ状態のところに腰かけたり、大きな力をかけない
事故やけがの原因となります。



3. 安全に使用するための注意事項　必ずお守りください。

⚠ 警 告

必ず守る

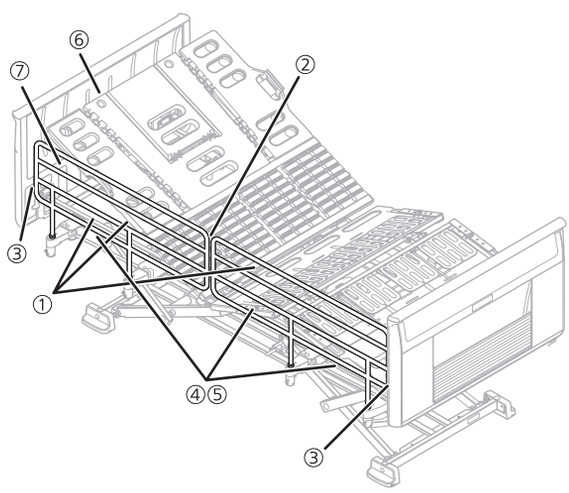
■すき間に注意する

・ベッドや専用オプション品にはすき間があります。また、専用オプション品を取り付けるとすき間ができます。
これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれて、けがをするおそれがあります。
①～⑦の項目に注意してください。

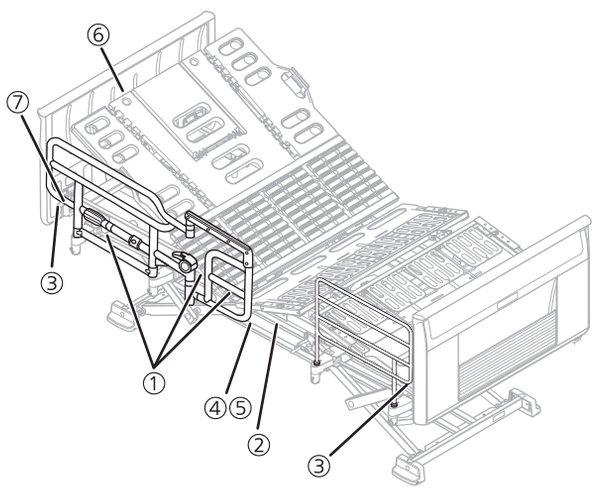
・特に、予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

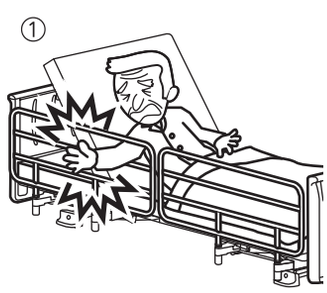
① ... サイドレール・ベッド用グリップなどの内部のすき間
② ... 2本のサイドレールなどのすき間
③ ... サイドレール・ベッド用グリップなどとボードのすき間
④ ... サイドレール・ベッド用グリップなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
⑤ ... サイドレール・ベッド用グリップなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
⑥ ... ボードとボトム・マットレスのすき間
⑦ ... あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間

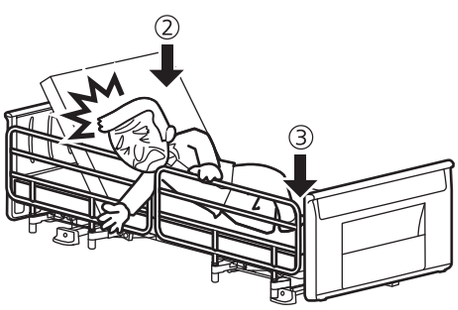
サイドレール

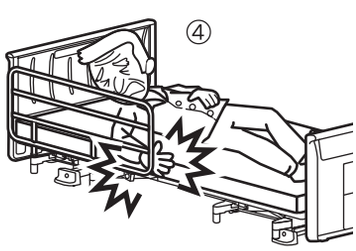


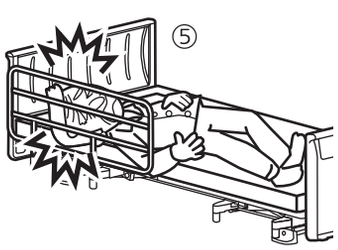
ベッド用グリップ

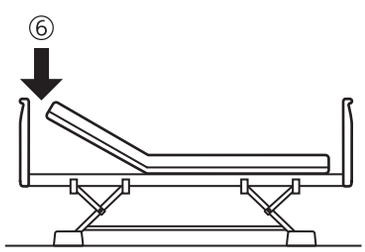


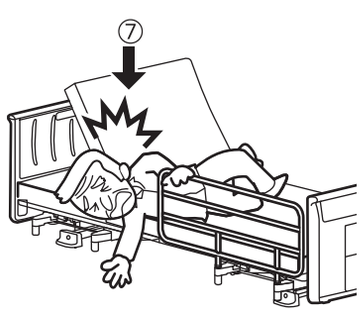












4. 設置についての注意事項　必ずお守りください。

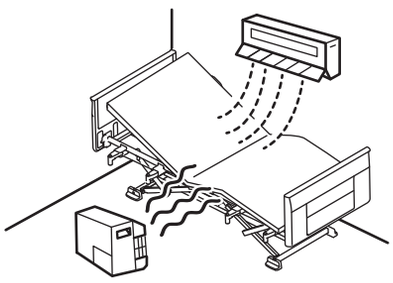
⚠ 警 告

分解禁止

■分解、修理、改造をしない
異常動作による事故や火災の原因となります。

禁 止

■湿気、砂、ほこりの多い場所や、熱機器の近くで使用しない
火災の原因となります。



必ず守る

■ベッドを組立、分解、運搬する際は2人で作業する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■ベッドを搬送する際は、足下に注意する
脚座などに足をぶつけたり足がはさまれて、けがをするおそれがあります。

必ず守る

■サイドアップや大腿長調整、ヘッドアップなど、ベッドが確実に固定されていることを確認する
事故やけがの原因となります。

必ず守る

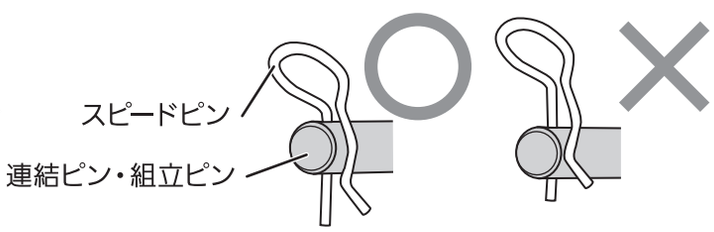
■電源コード、手元スイッチのコード類の配線は、組み立てかたの配線方法を守る
感電や火災の原因となります。

必ず守る

■背足連動切り換えレバーを操作する場合は、ひざ・足ボトムに手や腕や指などがはさまれないように注意する（2モーションタイプ）
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■組み立て時、スピードピンは連結ピン・組立ピンにしっかり差し込む
事故やけがの原因となります。



必ず守る

■各締め付け部分に緩みはないか点検する
事故やけがの原因となります。

4. 設置についての注意事項　必ずお守りください。

⚠ 注 意

禁 止

■マットレス止に抑制帯を取り付けた状態で、背あげやひざあげなどのベッド操作を行わない
身体が締め付けられてけがをしたり、ベッドが破損・変形するおそれがあります。

禁 止

■フットボード収納カバーに耐荷重（1kg）を超えるものを入れない
フットボード収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。

禁 止

■収納物がフットボード収納カバーから飛び出した状態にしない
ベッドの動作時に接触し、ヘッドや収納物が破損するおそれがあります。

禁 止

■フットボード収納カバーにものを引っかけたり、外側から力をかけたりしない
フットボード収納カバーがフットボードから外れたり、破損するおそれがあります。

禁 止

■収納物を取り出すときは、フットボード収納カバーに外向きの力を無理に加えない
フットボード収納カバーがフットボードから外れたり、破損するおそれがあります。

禁 止

■ベッドを押して移動する場合、段差を移動させない（キャスター使用時）
ベッドと段差が衝突し、ベッドや段差が破損・変形したりけがをするおそれがあります。

必ず守る

■収納カバーにメガネなど壊れやすいものを入れるときはケースなどに入れる
破損するおそれがあります。

必ず守る

■畳やじゅうたんの上で長時間使用する場合は、脚座やキャスターの下に
脚座ゴムシート（PN-S105038）を敷く
畳やじゅうたんがへこむおそれがあります。

必ず守る

■組立時は手袋をする
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■ベッドを移動する際は、ボード受金具を持って移動する
サイドレールなどを持つとサイドレールなどに大きな力がかかり、破損・変形するおそれがあります。

必ず守る

■スピードピンを扱うときはラジオペンチやプライヤーを使う
事故やけがの原因となります。

必ず守る

■施工時にヘッドアップボトム、サイドアップボトムの開閉に注意する
ヘッドアップボトム、サイドアップボトムはフリーホイール構造のため、
急な開閉により破損・落下、けがをするおそれがあります。

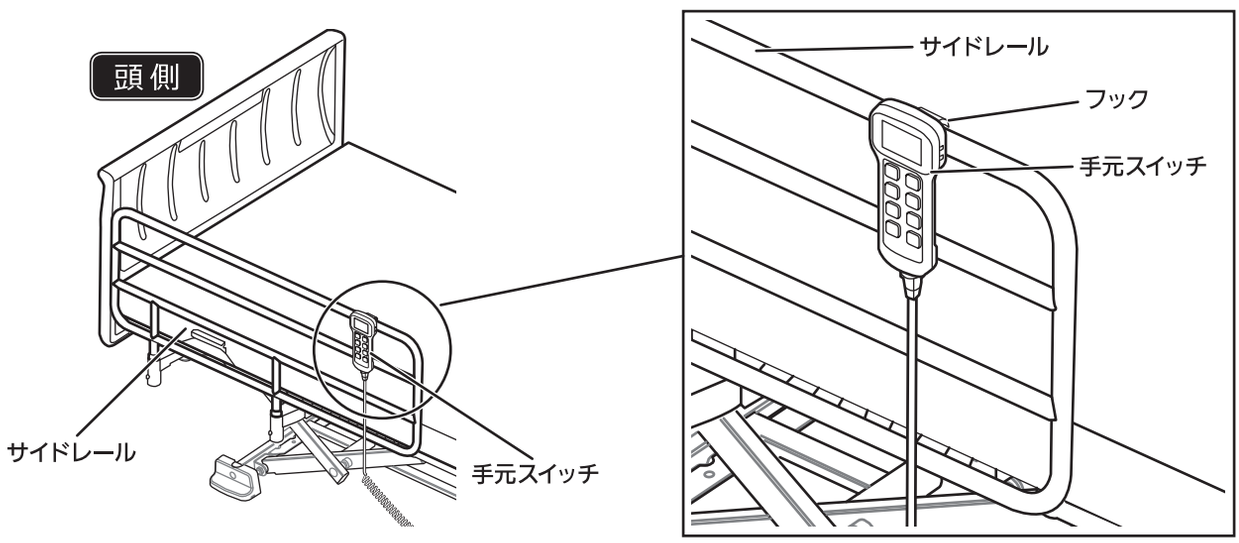
5. 手元スイッチの配置について

1. 手元スイッチの配線方向について

手元スイッチは、ベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。
62ページを参考にして、正しい配線方向に必ず配線してください。

2. 手元スイッチの取り付けかた

手元スイッチを使用しないときは、サイドレールまたはベッド用グリップなどの外側に
手元スイッチのフックを掛けてください。



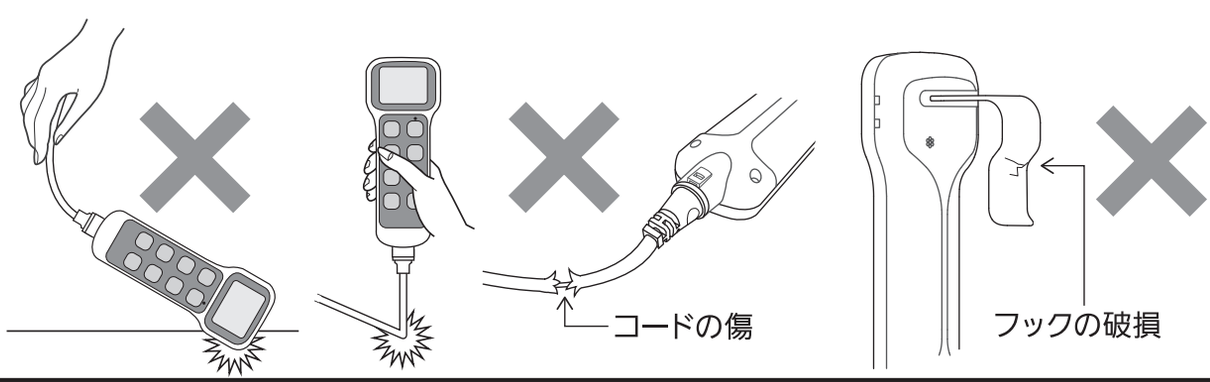
⚠ 警告

禁止

■手元スイッチの取り扱いに注意し、ぶつけたり、傷つけたりしない
■手元スイッチを落としたり、コードを無理に引っ張ったりしない
以上のことを守らないと、リモコンが破損する恐れがあります
■手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しない
ボトムとサイドレールなどのすき間に手（指）をはさまれてけがをしたり、
手元スイッチが破損・変形するおそれがあります。

必ず守る

■手元スイッチを使用しないときは、サイドレールもしくはベッド用グリップなどの
外側に掛ける
それ以外の場所に掛けたり置いたりすると誤って操作ボタンが押され、
意図しないベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
■傷んだ手元スイッチは修理（交換）を依頼する
事故やけがの原因となります。



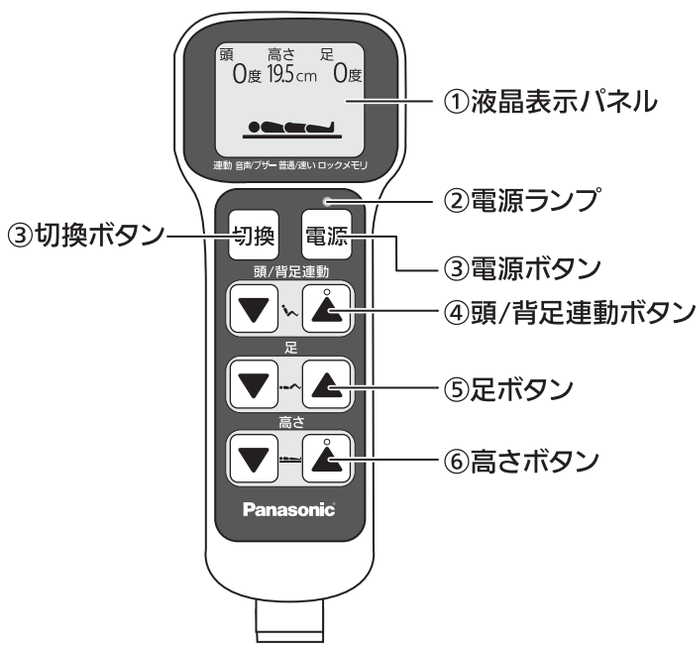
6. ベッドの使用方法

1.手元スイッチの各部のなまえ

■正面ボタン

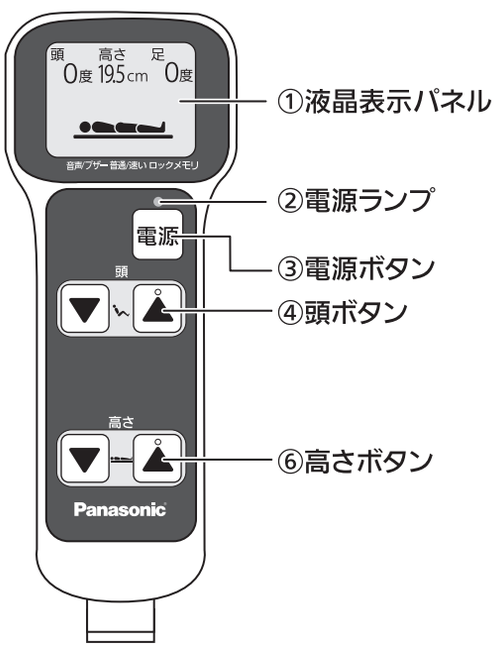
【3モーションタイプ】

頭・足・高さ



【2モーションタイプ】

頭・高さ



表示部

①液晶表示パネル
ベッドの角度や高さなどを表示します。
また、音声設定や動作ロック設定などの
各種機能の設定も表示します。

②電源ランプ
点灯（緑）：電源ONの状態です。
点灯（赤）：電源OFFの状態です。
点滅（緑）：背ボトムが0°を超え16°未満で
1時間放置した状態です。
（背をあげたままの状態をお知らせするための
機能で、故障ではありません）

操作ボタン

③切換ボタン
背ボトムのみの動作と、
背足連動の動作を切り換えます。

④頭 / 背足連動ボタン（3モーション）
切換ボタンの設定によって、背ボトムのみの調節
もしくは、背足連動で背および足ボトムを
調節します。

④頭ボタン（2モーション）
背ボトムの角度を調節します。

⑤足ボタン
ひざボトムの角度を調節します。

⑥高さボタン
ベッドの高さを調節します。

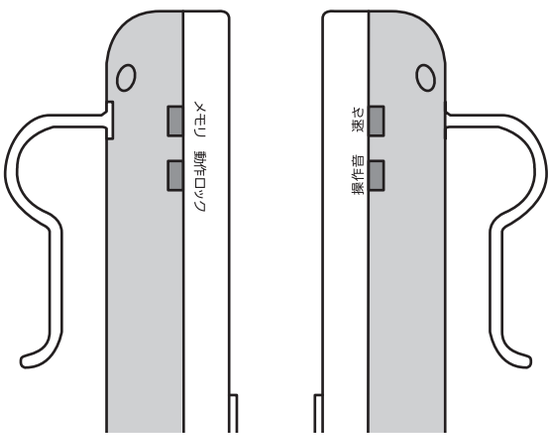
6. ベッドの使用方法

■側面ボタン

側面ボタン（左）

・メモリボタン
現在の位置を記憶し、ベッドを操作したときに、記憶した位置をブザー音でお知らせします
（→ 33ページ参照）

・動作ロックボタン
正面ボタンの頭・足・高さボタンの操作を無効にします。
（→ 31ページ参照）



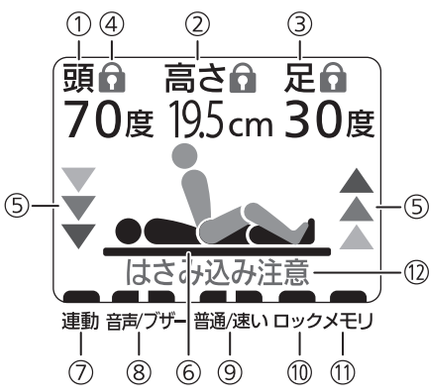
側面ボタン（右）

・速さボタン
ボトムの動作速度を普通/速いに切り換えます。
（→ 34ページ参照）

・操作音ボタン
ボタンを押したときの音を音声/ブザー、ブザー、切の三段階で切り換えます。
（→ 32ページ参照）

■液晶表示パネル

（3モーションタイプ）



【表示画面各部のなまえ】

①〜③動作部位の角度/高さ
ベッドの角度や高さを表示します。

④動作ロックの個別表示
操作を無効設定している、ボトムに対して🔒を表示します。

⑤動作方向表示
ベッドの動作方向を表示します。

⑥動作部位表示
現在のベッドの角度をイラストで表示します。

⑦連動動作表示
連動動作のON/OFFを表示します。

⑧操作音表示
音声の設定を表示します。

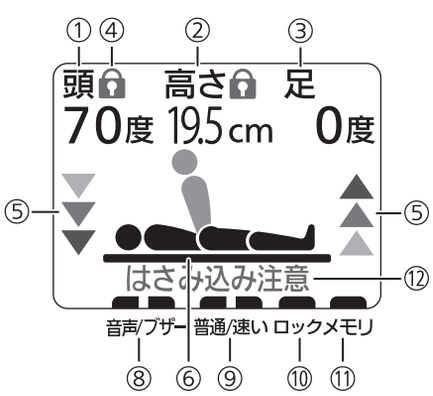
⑨動作速度表示
動作速度の設定を表示します。

⑩動作ロック表示
動作ロック設定のON/OFFを表示します。

⑪メモリ設定表示
メモリ設定のON/OFFを表示します。

⑫はさみ込み注意表示
ベッドが下降する際のはさみ込み注意を表示します。

（2モーションタイプ）



【表示画面各部のなまえ】

①〜③動作部位の角度/高さ
ベッドの角度や高さを表示します。
※足は0度のままです。

④動作ロックの個別表示
操作を無効設定している、ボトムに対して🔒を表示します。

⑤動作方向表示
ベッドの動作方向を表示します。

⑥動作部位表示
現在のベッドの角度をイラストで表示します。

⑧操作音表示
音声の設定を表示します。

⑨動作速度表示
動作速度の設定を表示します。

⑩動作ロック表示
動作ロック設定のON/OFFを表示します。

⑪メモリ設定表示
メモリ設定のON/OFFを表示します。

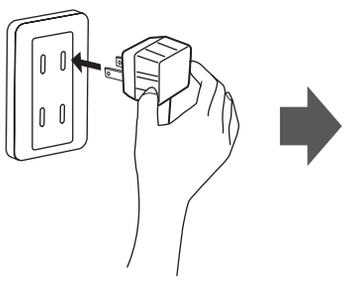
⑫はさみ込み注意表示
ベッドが下降する際のはさみ込み注意を表示します。

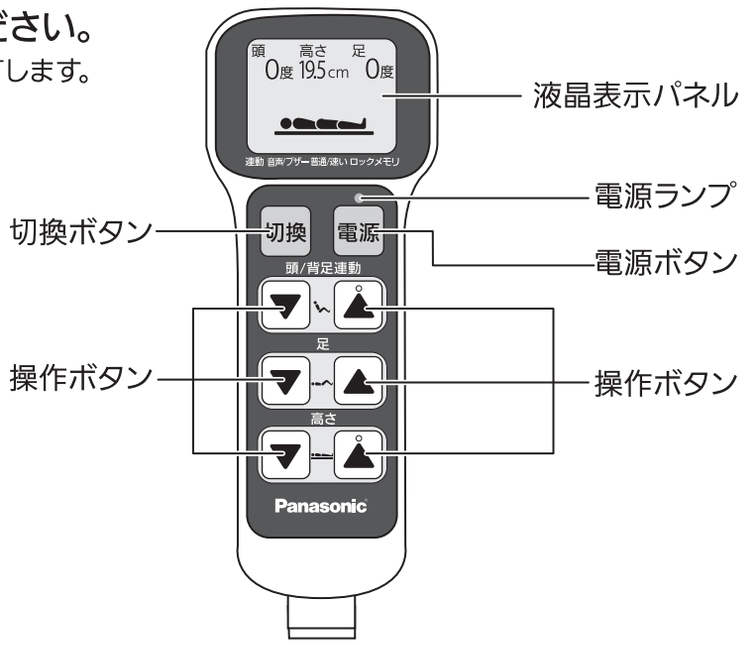
6. ベッドの使用方法

2.ベッドの電源を入れる / 切る

1.電源プラグをコンセントに差し込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色または赤色に点灯します。





■電源のONとOFF

電源ボタンを約2秒長押しすることで、電源のON/OFFが切り換わります。
電源ONの場合は、液晶表示パネルが点灯し電源ランプが緑点灯します。
電源OFFの場合は、液晶表示パネルが消灯し、電源ランプが赤点灯します。
また、電源OFFの場合は、電源ONにする以外の操作は受け付けません。



手元スイッチの表示について

- 電源ONの状態でも、手元スイッチを約30秒間操作しないと、液晶表示パネルが消灯します。
  いずれかのボタンを押すと、液晶表示パネルが点灯します。
- 背ボトムを少しあげた状態(0度を超え16度未満)で1時間操作がなかった場合、電源ランプが緑点滅し、背ボトムが上がっていることをお知らせします。
- 電源ONの状態でも、操作ボタンがロック(動作ロック設定)されている箇所は、背あげや高さあげなどのベッドの操作は行えません。
- 表示される角度や高さは目安としてください。
- 表示されている数値と実際のベッドの角度や高さがあっていない場合は、46ページの「故障かな?と思ったとき」を参考に操作してください。

6. ベッドの使用方法

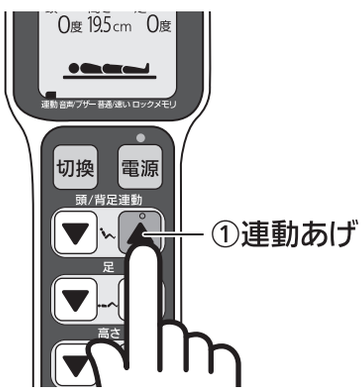
3.背と足を連動であげる（3モーション）

連動設定時（→ 35ページ）に頭ボタンを押すことで「背足連動あげ/背足連動さげ」ができます。
- 背ボトムの角度を0˚～約70˚、足ボトムの角度を0˚～約30˚の間で調節できます。
- 背ボトムと足ボトムが、同時に調節できます。
- 頭ボタンを押している間は下記の動作を続け、ボタンを離すとベッドの動作が停止します。
- 背ボトムや足ボトムを動作ロックしている場合、解除してから調節してください（→ 31ページ参照）
- 2モーションは、足連動ユニットを切り換えることで、背足連動動作ができます（→ 30ページ参照）

-操作ボタン-

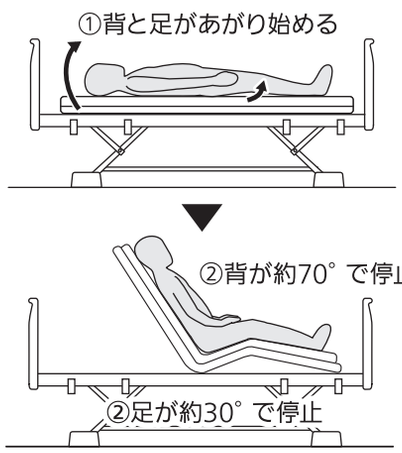
頭ボタン[▲]を押してください。

- 調整したい位置までボタンを押し続けてください。



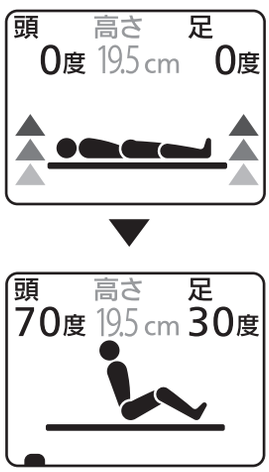
-ベッド動作-

- ボタンを押している間、背と足のボトムがあがります。
- 背が70˚、足が30˚になったときは、自動で停止します。



-液晶表示パネル-

- 角度は2˚ごとに表示されます。
- 1～3˚、67～69˚の間は「ー」と表示されます。

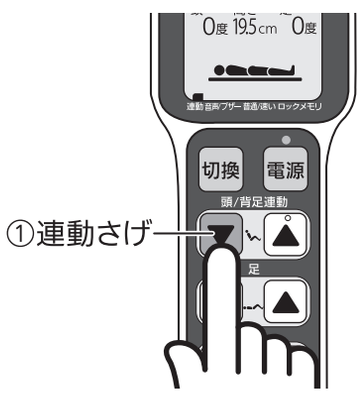


3.背と足を連動でさげる（3モーション）

-操作ボタン-

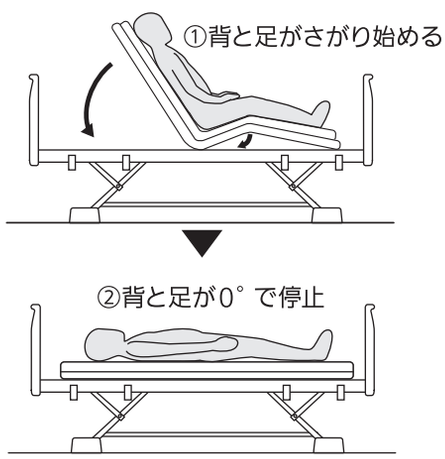
頭ボタン[▼]を押してください。

- 調整したい位置までボタンを押し続けてください。



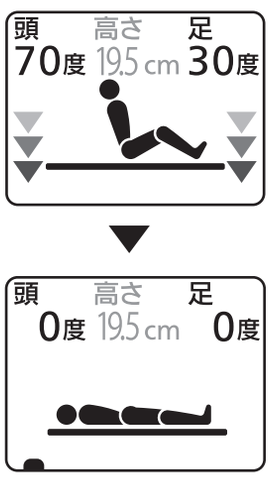
-ベッド動作-

- ボタンを押している間、背と足のボトムがさがります。
- 背が0˚、足が0˚になったときは、それぞれ自動で停止します。



-液晶表示パネル-

- 角度は2˚ごとに表示されます。
- 1～3˚、67～69˚の間は「ー」と表示されます。



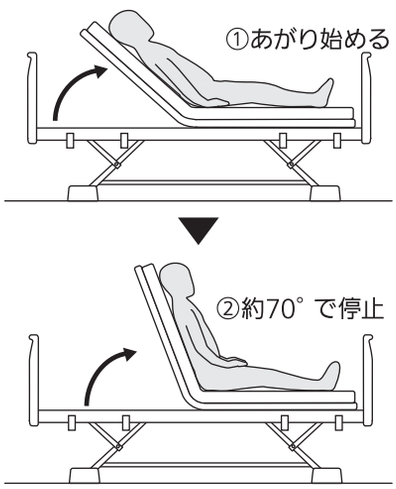
6. ベッドの使用方法

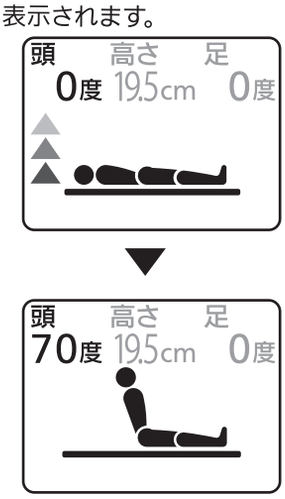
4.背をあげる（3モーション・2モーション）

頭ボタンを押すことで「背あげ/背さげ」ができます。
・背ボトムの角度を0°～約70°の間で調節できます。
・頭ボタンを押している間は下記の動作を続け、ボタンを離すとベッドの動作が停止します。
・連動設定がONの時は、背ボトムと足ボトムが同時に調節されます（→ 35ページ参照）
・背ボトムを動作ロックしている場合、解除してから調節してください（→ 31ページ参照）

-操作ボタン-	-ベッド動作-	-液晶表示パネル-
頭ボタン[▲]を押してください。 ・調整したい位置までボタンを押し続けてください。	・ボタンを押している間、背ボトムがあがります。 ・70°になった時は自動で停止します。	・角度は2°ごとに表示されます。 ・1～3°、67～69°の間は「ー」と表示されます。

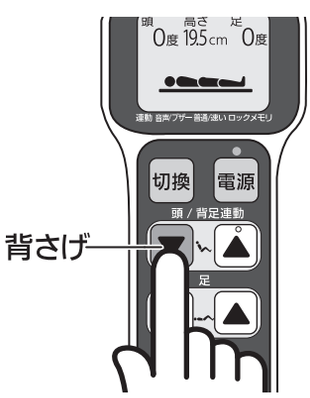


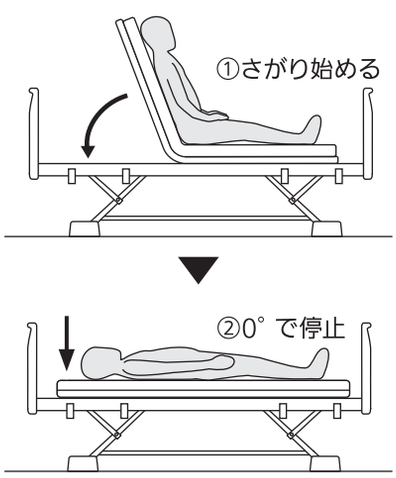




4.背をさげる（3モーション・2モーション）

-操作ボタン-	-ベッド動作-	-液晶表示パネル-
頭ボタン[▼]を押してください。 ・調整したい位置までボタンを押し続けてください。	・ボタンを押している間、背ボトムがさがります。 ・0°になった時は自動で停止します。	・角度は2°ごとに表示されます。 ・1～3°、67～69°の間は「ー」と表示されます。







・背ボトムを少しあげた状態(0度を超え16度未満)で1時間操作がなかった場合、電源ランプが緑点滅し、背ボトムがあがっていることをお知らせします。

6. ベッドの使用方法

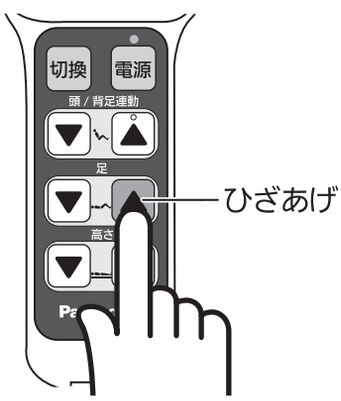
5.ひざ・足をあげる（3モーション）

足ボタンを押すことで「ひざあげ/ひざさげ」ができます。
・ひざボトムの角度を0°～約30°の間で調節できます。
・足ボタンを押している間は下記の動作を続け、ボタンを離すとベッドの動作が停止します。
・足ボタンを動作ロックしている場合、解除してから調節してください（→ 31ページ参照）

-操作ボタン-

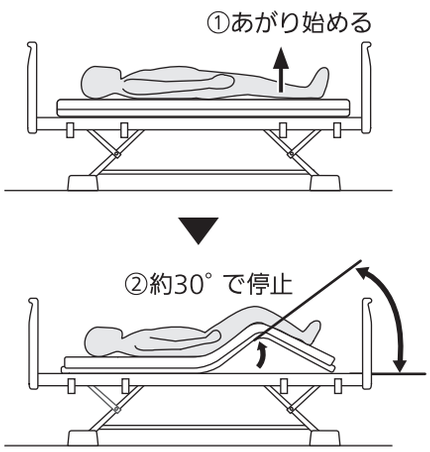
足ボタン[▲]を押してください。

・調整したい位置までボタンを押し続けてください。



-ベッド動作-

・ボタンを押している間、足ボトムがあがります。
・30°になった時は自動で停止します。



-液晶表示パネル-

・角度は2°ごとに表示されます。
・1～3°、27～29°の間は「ー」と表示されます。

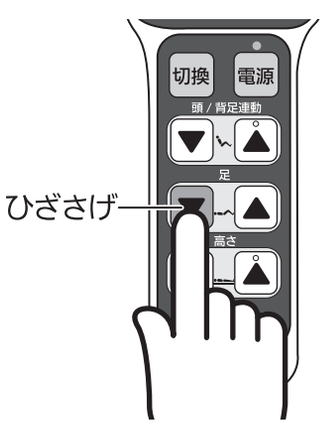


5.ひざ・足をさげる（3モーション）

-操作ボタン-

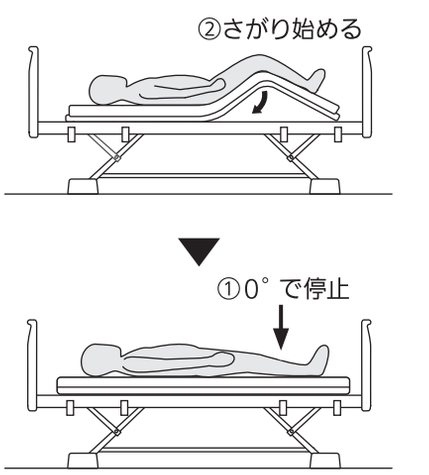
足ボタン[▼]を押してください。

・調整したい位置までボタンを押し続けてください。



-ベッド動作-

・ボタンを押している間、足ボトムがさがります。
・0°になった時は自動で停止します。



-液晶表示パネル-

・角度は2°ごとに表示されます。
・1～3°、27～29°の間は「ー」と表示されます。

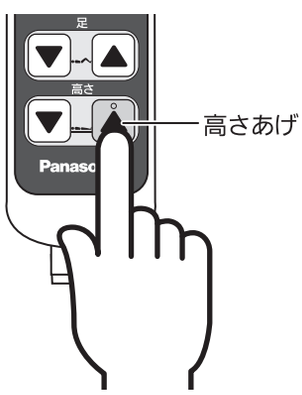


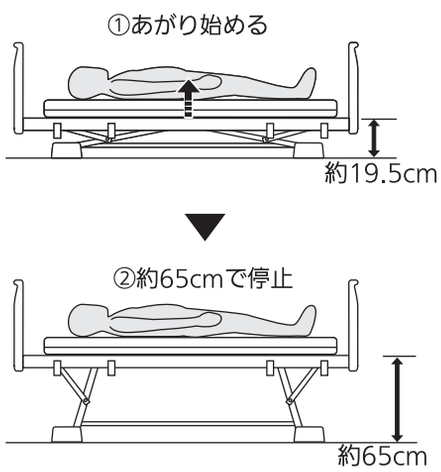
6. ベッドの使用方法

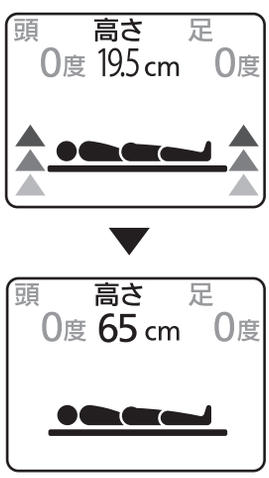
6.ベッドの高さをあげる（3モーション・2モーション）

高さボタンを押すことで「高さあげ/高ささげ」ができます。
- ベッドの高さを19.5～65cmの間で調節できます。
- ご利用者が一人になる場合は、落下による傷害のリスクを軽減するために最低床にしてください。
- 延長脚座取り付け時は、ボトム上面までの高さが表示されている値より約3cm高くなります。
- 高さ調節を動作ロックしている場合、解除してから調節してください（→ 31ページ参照）。
- 34cm以下での高ささげは、はさみ込み注意のためにベッド速度「普通」より低速で動作し、注意音が鳴ります。

-操作ボタン-	-ベッド動作-	-液晶表示パネル-
高さボタン[▲]を押してください。 ・調整したい位置までボタンを押し続けてください。	・ボタンを押している間、ベッドの高さがあがります。 ・65cmになった時は自動で停止します。	・高さは2cmごとに表示されます。 ・20～23cm , 63cm～64cmの間は「ー」と表示されます。



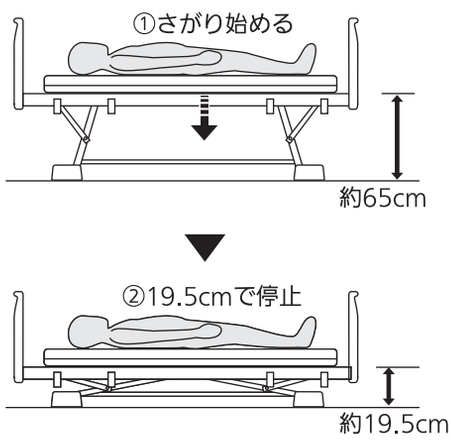


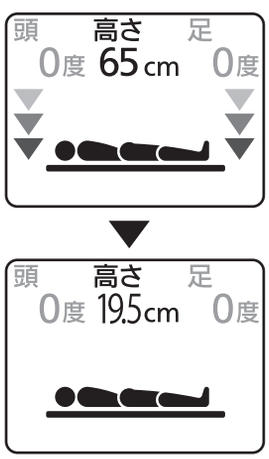


6.ベッドの高さをさげる（3モーション・2モーション）

-操作ボタン-	-ベッド動作-	-液晶表示パネル-
高さボタン[▼]を押してください。 ・調整したい位置までボタンを押し続けてください。	・ボタンを押している間、ベッドの高さがさがります。 ・19.5cmになった時は自動で停止します。	・高さは2cmごとに表示されます。 ・20～23cm , 63cm～64cmの間は「ー」と表示されます。

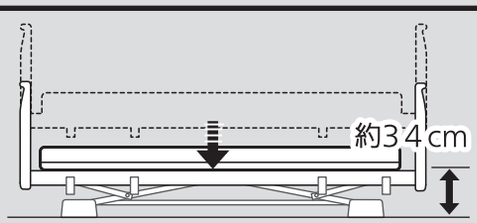






■低床位置について

- 床からの高さが34cm以下になると設定に関係なく注意音が鳴ります。
- 最低高さ（約19.5cm）までブザーが鳴りつづけます。
- 通常の速度より低速でさがります。





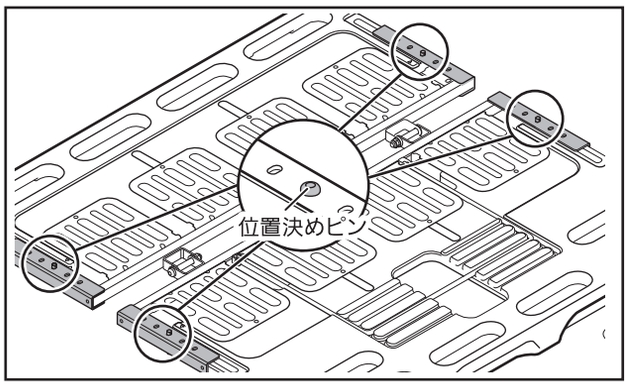
7. ベッド本体でできる設定について

1.大腿長を調節する

ご利用者の身体に合わせ、ひざボトムの長さを5段階で調節できます。
※ 必ずひざ・足ボトムを水平(手元スイッチの表示が「足0°」)にしてから調節してください。
※ 必ず本体組み立て後に実施してください。

1.位置決めピンを抜いてください（4箇所）

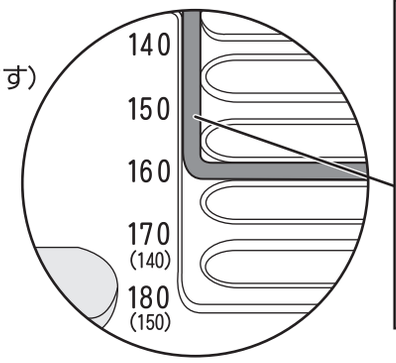
ひざ・足ボトムの位置決めピン（4箇所）を抜いてください。
（ボトムの裏面から位置決めピンを押し、位置決めピンの頭を少し浮かせると抜きやすくなります。）

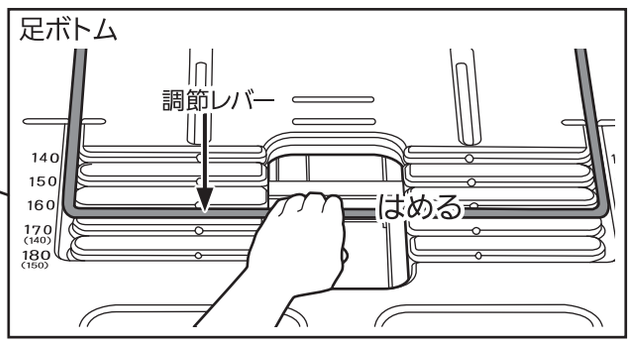


2.ご利用者の身長を目安に、レバーを調節してください

（約140cm～180cmの身長の方に合わせ、
5段階で設定できます）

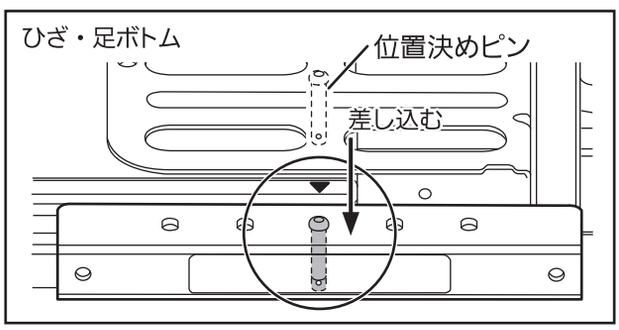
（ショートタイプは約140cmと
約150cmの2段階で設定できます）





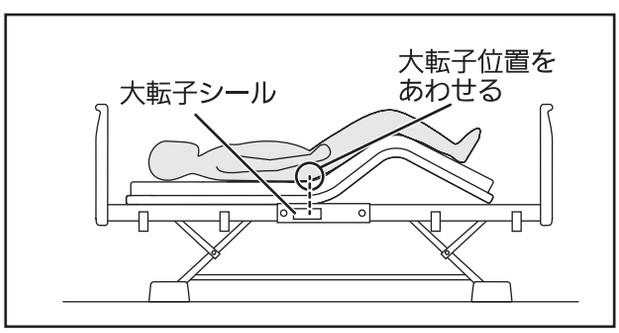
3.位置決めピンを挿入してください（4箇所）

手順1で抜いた、ひざ・足ボトムの
位置決めピン（片側2箇所・計：4箇所）を
ボトムの「▼」を目印に挿入してください。

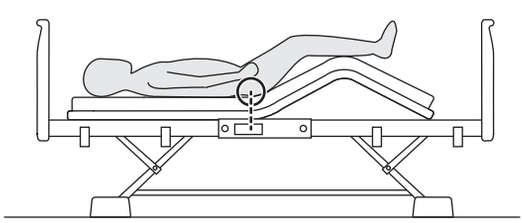


4.ご利用者のベッド上のひざの位置を確認してください。

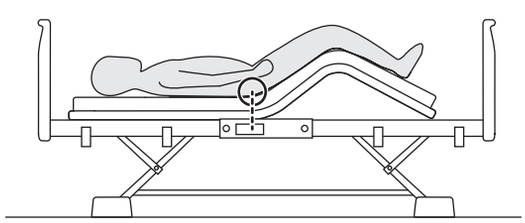
ベッドにマットレスを乗せ、ご利用者に寝ていただき、
ひざあげを行ってください。
ご利用者に寝ていただく際は、ベッド側面の大転子シールを
確認し、大転子位置を合わせてください。
ひざの位置があっていない場合は、再度1～4を行い、
調節してください。



ひざ位置調整前



ひざ位置調整後

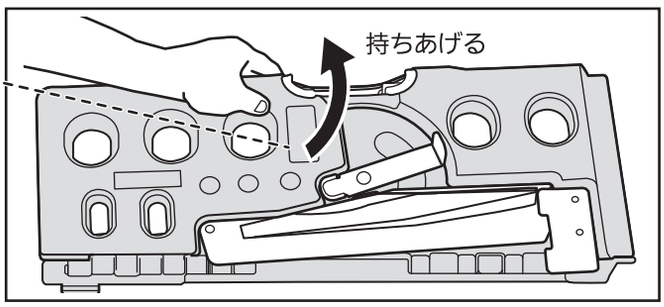


7. ベッド本体でできる設定について

2.サイドアップを切り換える

※ 切り換えレバーとレールが動かなくなるところまで、しっかりと切り換えてください。
※ 当社製マットレス ステラフィット以外を使用する場合は販売店にご相談ください。

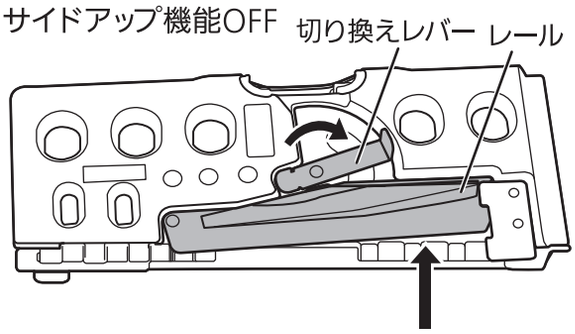
⚠警告
ベッドが破損してケガをするおそれあり
推奨マットレス以外ではサイドアップを使用しない。
取扱説明書を確認する前にサイドアップを使用しない。



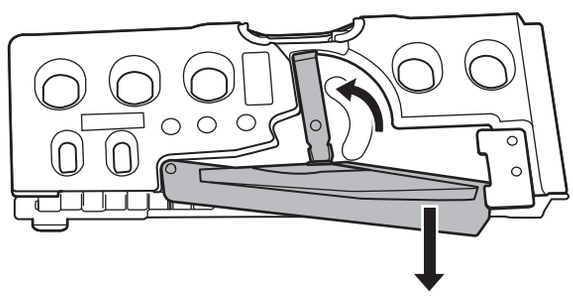
1.サイドアップボトムを持ちあげてください

2.切り換えレバーとレールを下図の位置に設定してください

サイドアップ機能OFF

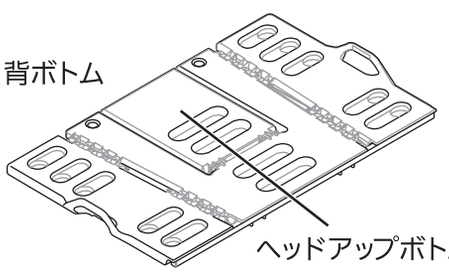


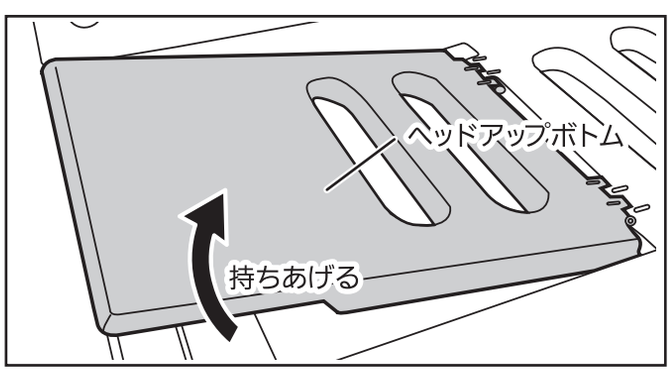
サイドアップ機能ON



3.ヘッドアップを切り換える

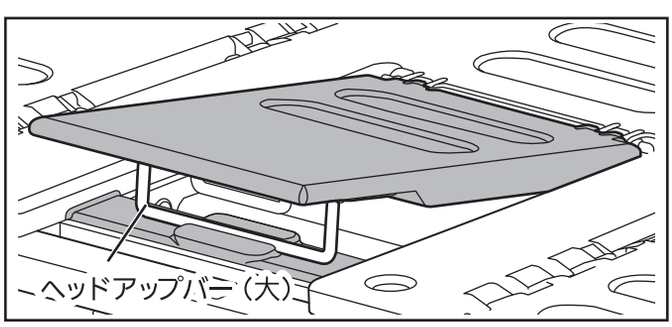
1.ヘッドアップ部を持ちあげてください



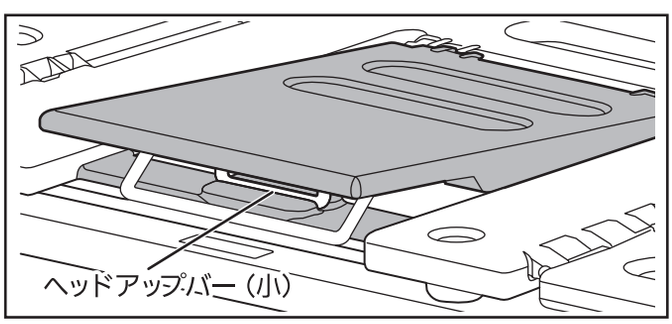


2.角度を設定してください

1.角度を10度に設定する場合、右図のように
ヘッドアップバー（大）を溝にはめてください。



2.角度を5度に設定する場合、右図のように
ヘッドアップバー（小）を溝にはめてください。

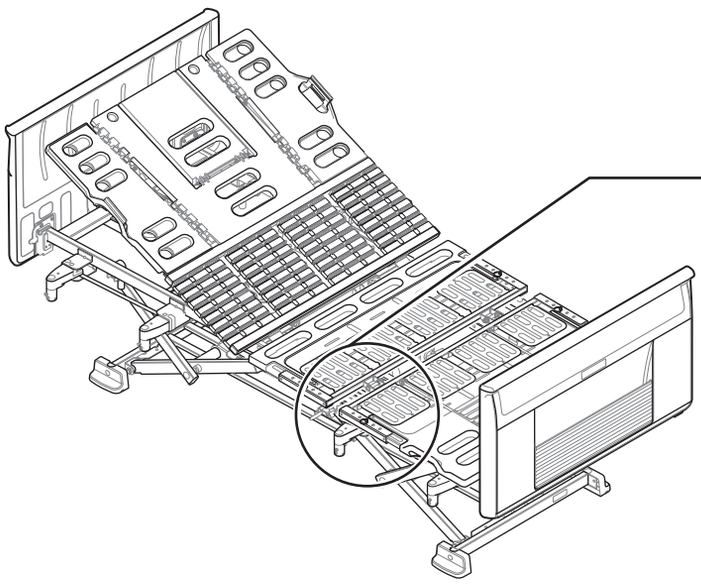


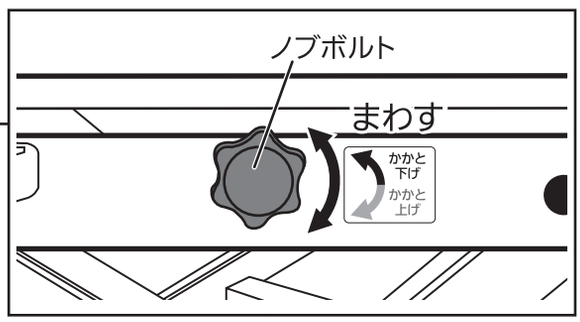
7. ベッド本体でできる設定について

4.フットアップを切り換える

ノブボルトを回してください

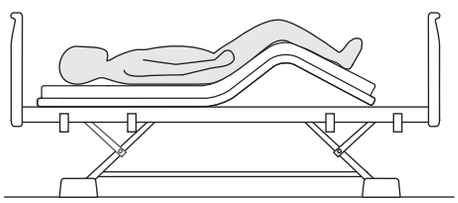
※ 必ずひざ・足ボトムを水平(手元スイッチの表示が「足0度」)にしてから切り換えてください。
※ これ以上ノブボルトが動かなくなるところまで、しっかりノブボルトを回してください。



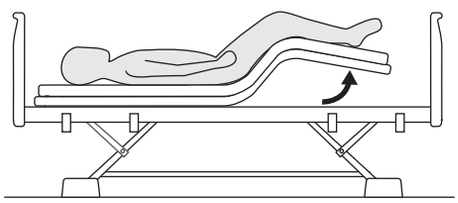


右回り：フットアップON
左回り：フットアップOFF
※図の方向から設定した場合

【フットアップOFF状態】
ひざ・足ボトムのかかと部分はあがりません



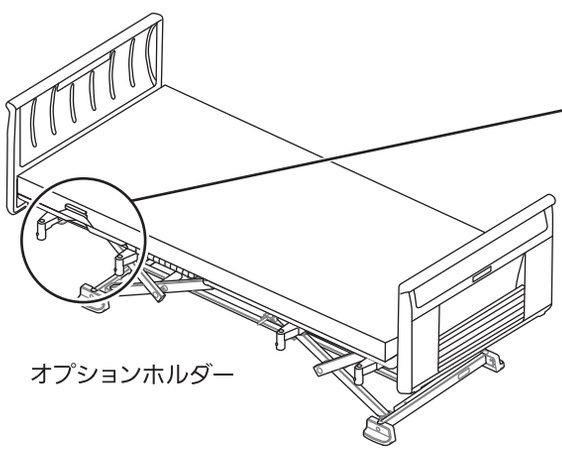
【フットアップON状態】
ひざ・足ボトムのかかと部分があがります

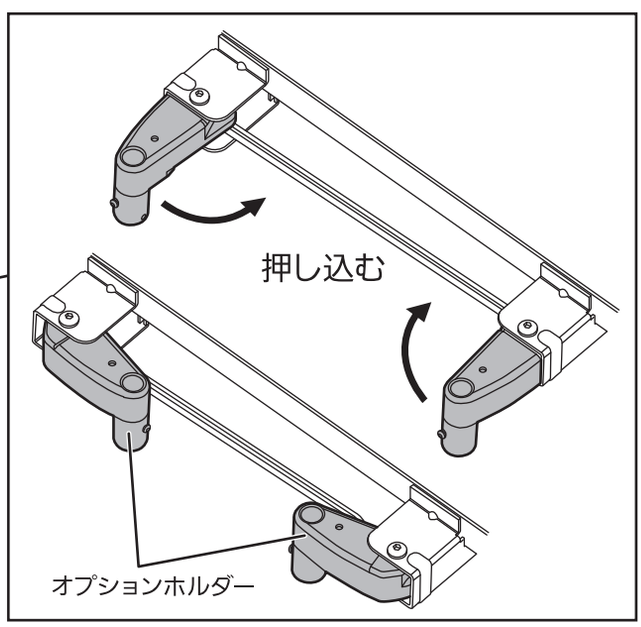


5.オプションホルダーを収納する

サイドレールやベッド用グリップを使用しないとき、オプションホルダーを収納することができます。

オプションホルダーを右図のように押し込んでください





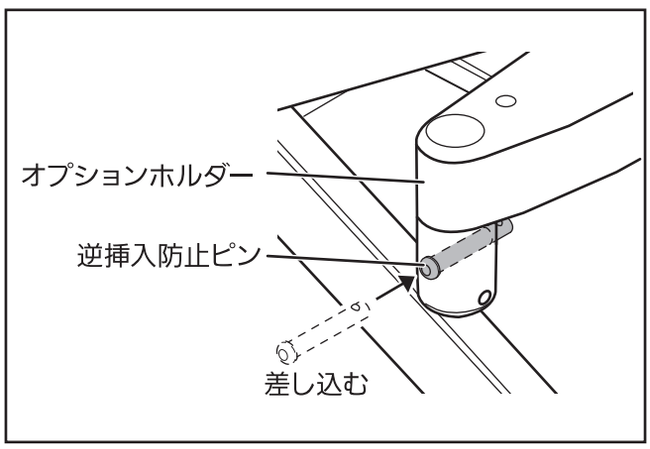
7. ベッド本体でできる設定について

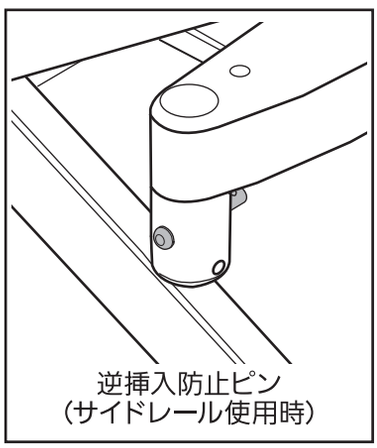
6.逆挿入防止ピンを使う

逆挿入防止ピンの挿入位置で、サイドレールが逆向きに取り付かないように設定できます。
※商品出荷時の逆挿し防止ピンの位置は、サイドレール使用時の位置です。

1.逆挿入防止ピンを使用するとき（サイドレール使用時）

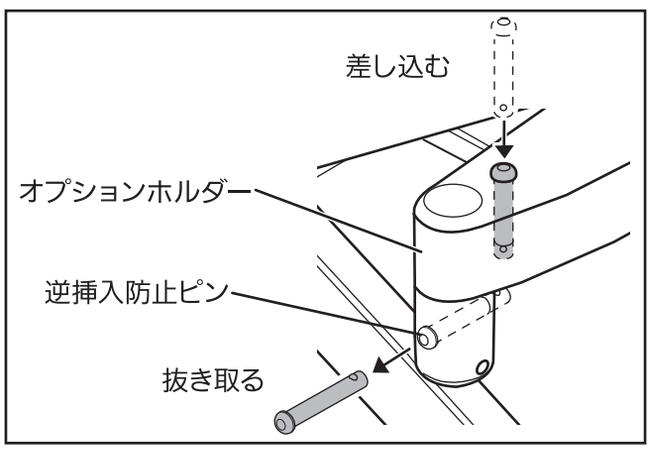
サイドレールを取り付けたい位置のオプションホルダーに
逆挿入防止ピンを差し込んでください。

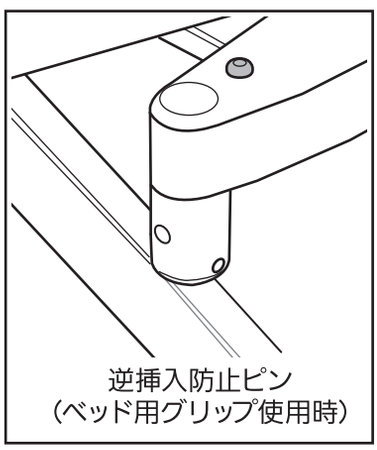




2.逆挿入防止ピンを使用しないとき（ベッド用グリップ使用時）

ベッド用グリップを取り付けたい位置のオプションホルダーから
差し込んだ逆挿入防止ピンを抜き、下図の穴に差し込んでください。





⚠警告

必ず守る

■逆挿入防止ピンは飲み込まないように注意する
飲み込むと、事故やけがの原因となります。

■ベッド用グリップを使用するときは、逆挿入防止ピンを外す
グリップが正しく取り付けできず、オプションホルダーが破損したり、
転倒するおそれがあります。

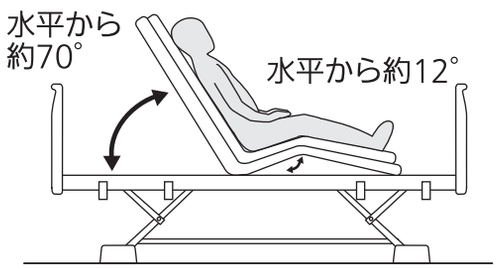
7. ベッド本体でできる設定について

7.頭 / 背足連動を手動で切り換える（2モーションのみ）

背あげのときの動作を背ボトムとひざ・足ボトムが連動してあがる、
［背足連動］か、背ボトムのみ単独で調整できる［頭］に切り換えることができます。
・連動時のひざ・足ボトムは、背あげ動作にあわせて0～12°の範囲で動作します。

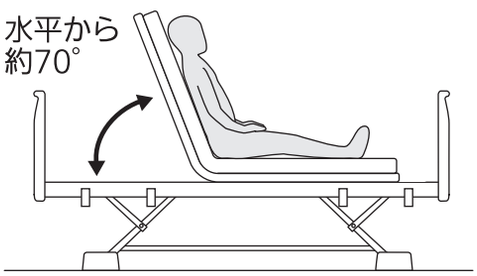
【連動している状態】

背ボトムの角度調整に連動して、
ひざ・足ボトムが動きます。



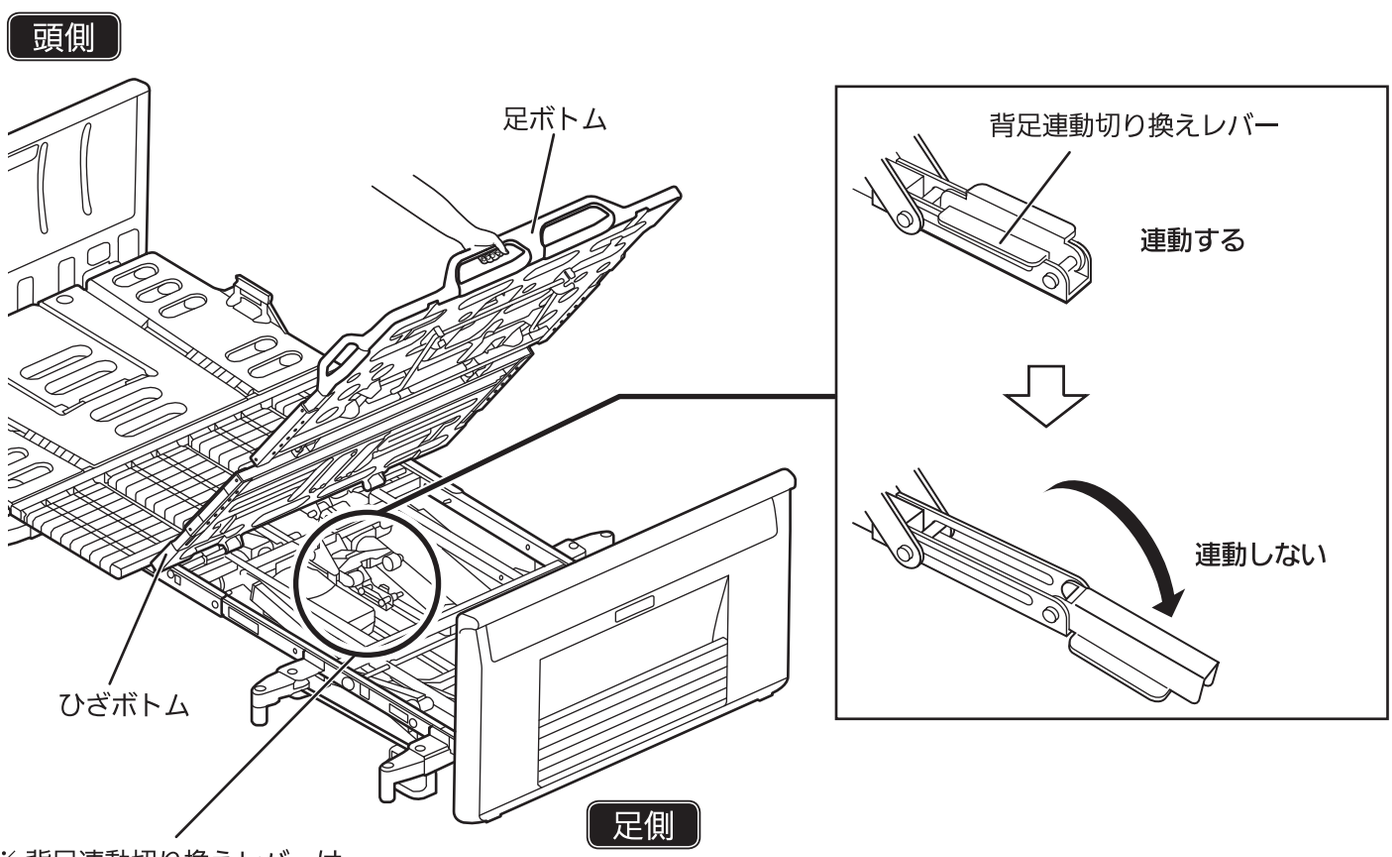
【連動していない状態】

背ボトムを単独で調整できます。



設定のしかた

①ベッド上のご利用者と寝具などをおろしてください。
②ひざ・足ボトムを持ちあげてください。
※足ボトムをゆっくりと持ちあげ、連動するひざボトムも持ちあがった状態にしてください。
③背足連動切り換えレバーを切り換えてください。



※ 背足連動切り換えレバーは
ひざ・足ボトムの裏側にあります。

8. 手元スイッチでできる設定について

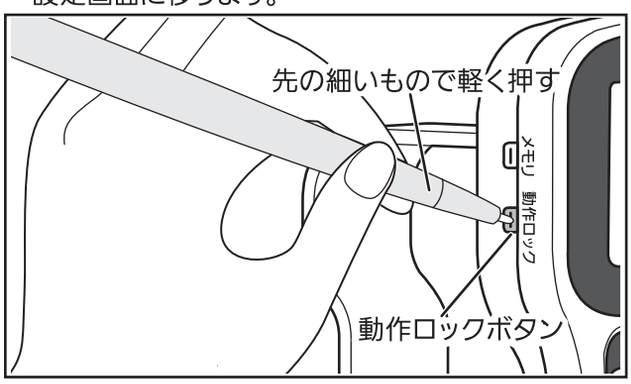
1.動作ロックを使う

手元スイッチの操作ボタンを無効にできます。
・初期状態では、全ての操作が可能になっています。
・設定画面で約20秒間操作されない場合は、設定を完了せずにもとの設定に戻ります。

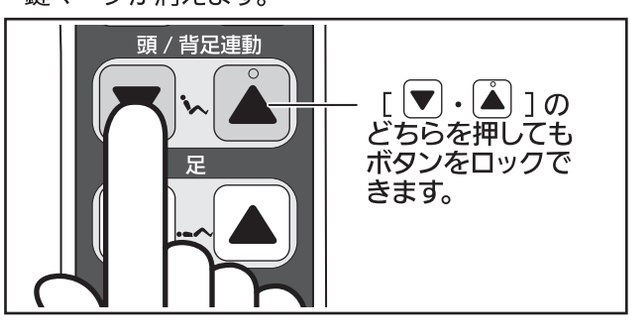
設定のしかた

-操作ボタン-

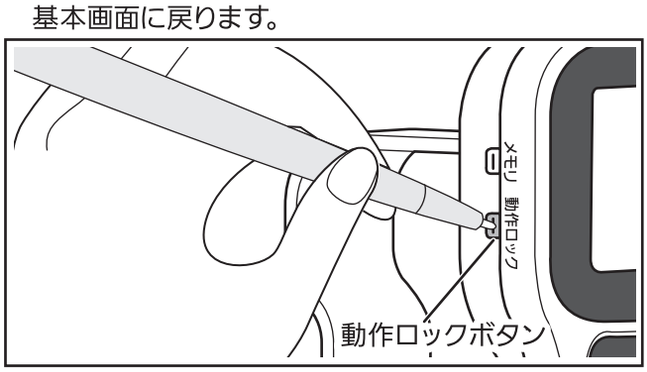
1.［動作ロック］ボタンを約2秒長押ししてください。
設定画面に移ります。



2.ロックしたい操作ボタンを短押ししてください。
液晶表示パネルのロックしたボタンの横に、
鍵マークがつきます。もう一度操作ボタンを押すと、
鍵マークが消えます。

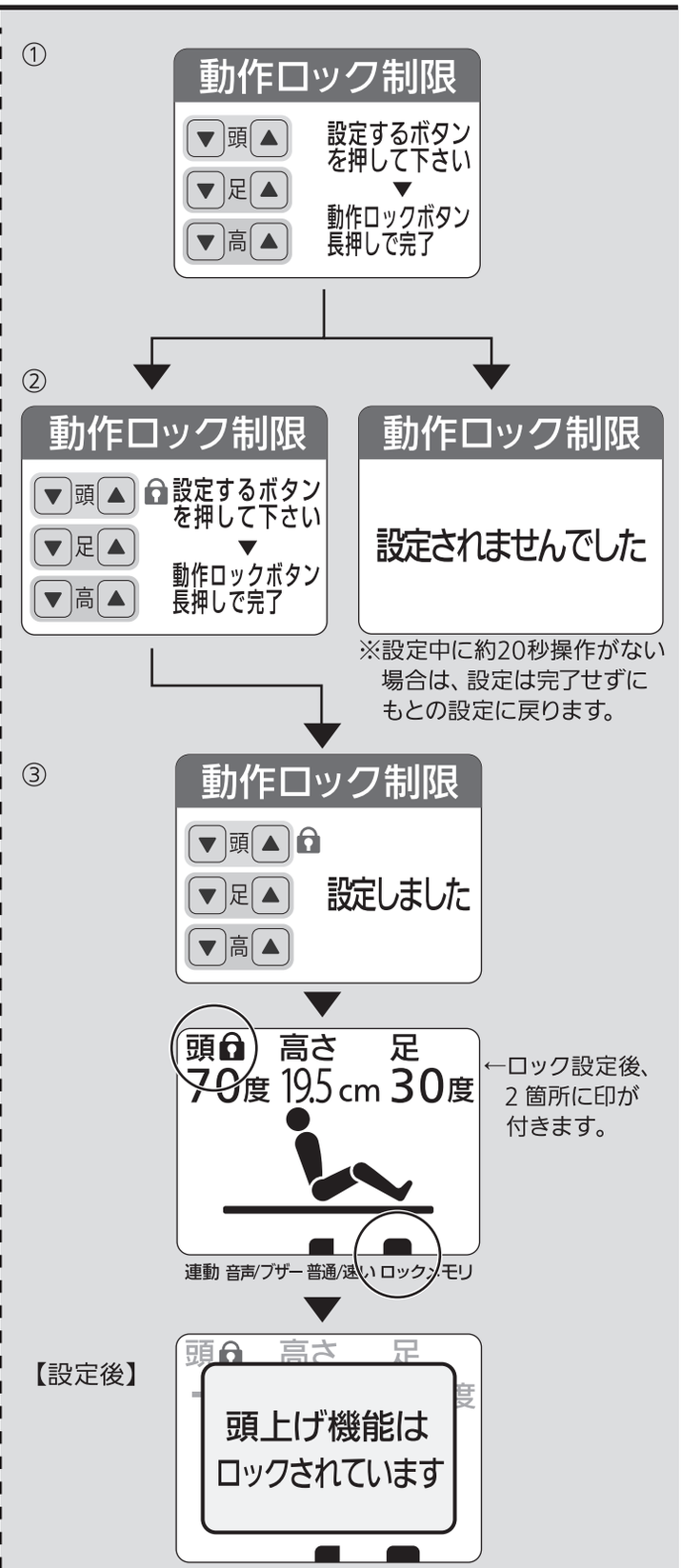


3.［動作ロック］ボタンを約2秒長押しして設定を
完了してください。「設定しました」を表示後、
基本画面に戻ります。



【設定後】
動作ロックしたボタンを押したときは、
ボタンが押されている間、「ロックされています」と
表示されます。

-液晶表示パネル-



8. 手元スイッチでできる設定について

2.音声設定を切り換える

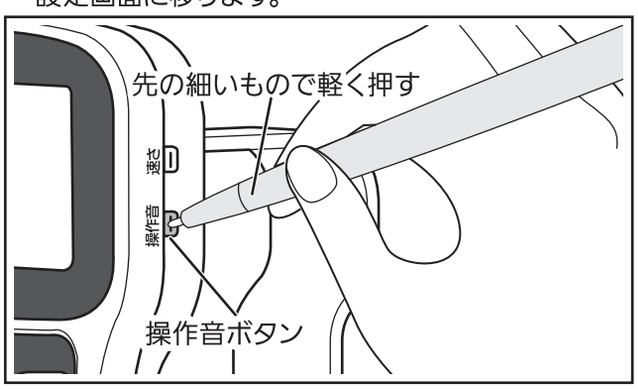
手元スイッチの操作ボタンを押したときの音声を「音声/ブザー」「ブザー」「切」の3段階で変更できます。
初期設定は「音声/ブザー」設定です。

「音声/ブザー」設定のとき	：	「頭があがります/さがります」「足があがります/さがります」など、ベッドの動作を音声で案内します。
「ブザー」設定のとき	：	操作ボタンを押したとき「ピッ」とブザー音が鳴りますが、音声は案内しません。
「切」の設定のとき	：	操作ボタンを押したときの音声とブザー音を鳴らないようにします。

設定のしかた

-操作ボタン-

1. [操作音] ボタンを約2秒長押ししてください。
設定画面に移ります。



2. [操作音] ボタンを短押ししてください。
短押しするたびに、音声設定が切り換わります。

3. [操作音] ボタンを約2秒長押しして、
設定画面を完了してください。
「変更しました」を表示後、基本画面に戻ります。

【設定後】
基本画面では、「音声/ブザー」の上にある「■」で、
現在の設定が確認できます。
- 「切」設定のとき、メモリ機能 (→ 33ページ参照) は使用できません。
- 「切」設定でも、安全のため高ささげの低床時の注意音 (→ 25ページ参照) は鳴ります。

-液晶表示パネル-

①
操作音設定
音声/ブザー▶ブザー▶切
操作音ボタンを押して変更
（長押しで設定）

②
操作音設定
音声/ブザー▶ブザー▶切
操作音ボタンを押して変更
（長押しで設定）

操作音設定
設定されませんでした

※設定中に約20秒操作がない場合は、設定は完了せずにもとの設定に戻ります。

③
操作音設定
音声/ブザー▶ブザー▶切
操作音ボタンを押して変更
（変更しました）

【設定後】



操作音を設定後、画面下部に印が付きます。
「■■」：音声 / ブザー設定
「 ■」：ブザー設定
「 」：切設定

8. 手元スイッチでできる設定について

3.メモリ機能を使う

現在のボトムの位置を記憶します。
・ベッドを動作させ、記憶した位置の4度（cm）前で「ピ！」とブザーでお知らせし、
記録した位置で「ピピピ！」とお知らせします。（ブザー設定OFF時は、メモリ機能は使用できません。）

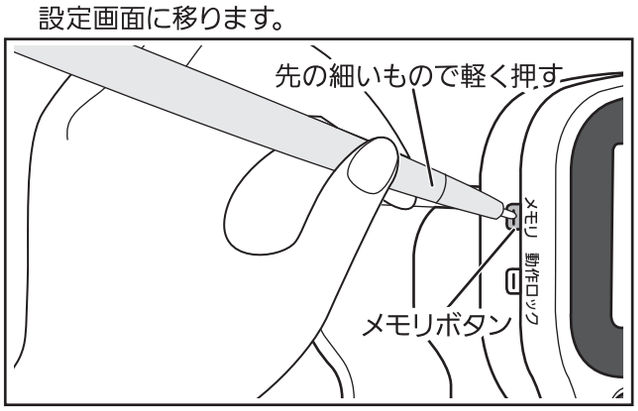
設定のしかた

-操作ボタン-

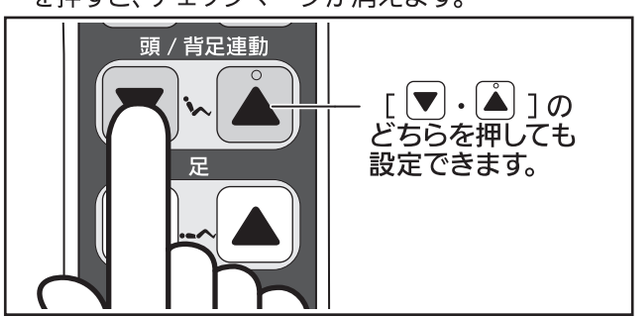
【設定条件】

メモリ機能をおこなえるのは、
ベッドが次の範囲のときです。
・背ボトム　4～66度
・足ボトム　4～26度
・高さボトム　22～60cm

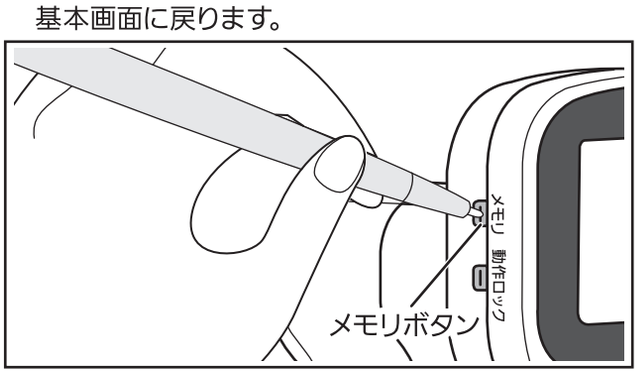
1. [メモリ] ボタンを約2秒長押ししてください。
設定画面に移ります。



2.設定したい操作ボタンを短押ししてください。
液晶表示パネルの設定したボタンの横に、
チェックマークがつきます。もう一度操作ボタン
を押すと、チェックマークが消えます。

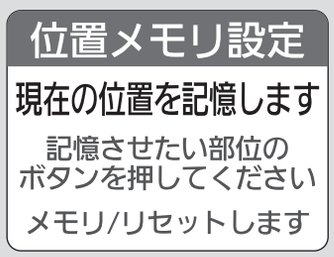


3. [メモリ] ボタンを約2秒長押しして設定を
完了してください。「設定しました」を表示後、
基本画面に戻ります。

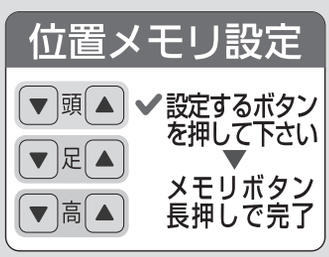


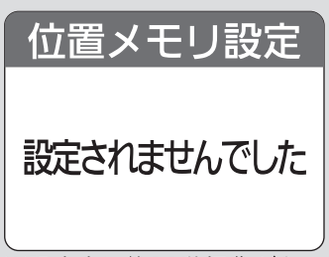
-液晶表示パネル-

①



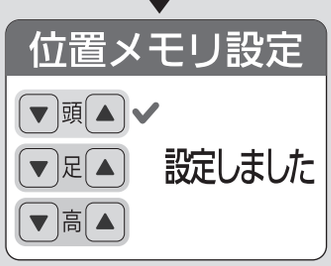
②





※設定中に約20秒操作がない
場合は、設定は完了せずに
もとの設定に戻ります。

③



【設定後】



←メモリ設定後、
画面下部に印が
付きます。

8. 手元スイッチでできる設定について

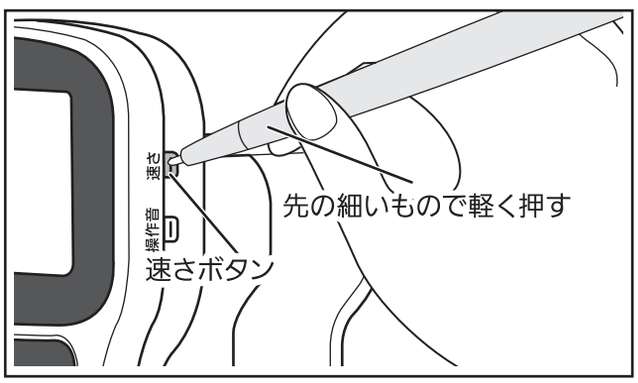
4.動作速度を切り換える

ベッドの動作速度を切り換えます。初期設定速度は「普通」設定です。

設定のしかた

-操作ボタン-

1. [速さ] ボタンを約2秒長押ししてください。
   短押しするたびに速度設定が切り換わり、
   「変更しました」を表示後、基本画面に戻ります。



【設定後】
基本画面では、「普通/速い」の上にある「■」で、
現在の設定が確認できます。

-液晶表示パネル-



【設定後】



動作速度を設定後、
画面下部に印が付きます。
「■　」: 普通
「　■」: 速い

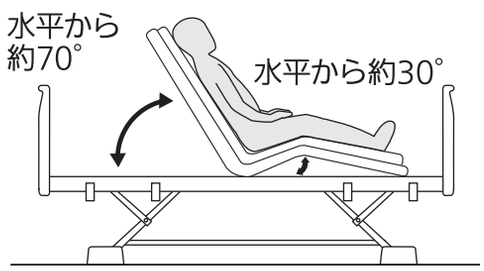
8. 手元スイッチでできる設定について

5.頭 / 連動動作を手元スイッチで切り換える（3モーションのみ）

・背あげのときの動作を背ボトムとひざ・足ボトムが連動してあがる、
［背足連動］か、背ボトムを単独で調整できる［ 頭 ］に切り換えることができます。
・連動時のひざ・足ボトムは、背あげ動作にあわせて0～30˚の範囲で動作します。
・初期設定は［ 頭 ］設定です。

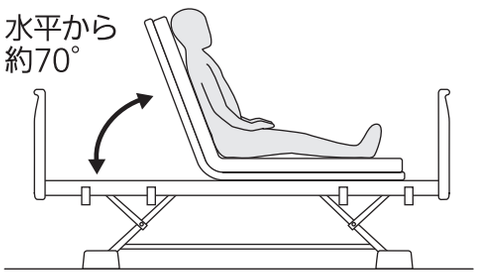
【連動している状態】

背ボトムの角度調整に連動して、
ひざ・足ボトムが動きます。



【連動していない状態】

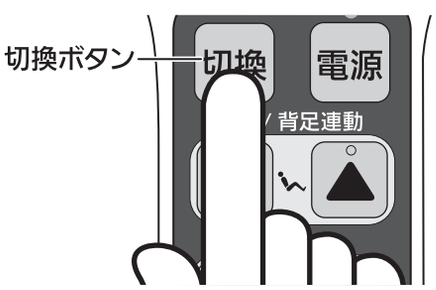
背ボトムを単独で調整できます。



設定のしかた

-操作ボタン-

［切換］ボタンを約2秒長押ししてください。
長押しするたびに連動設定が切り換わり、
「変更しました」を表示後、基本画面に戻ります



【設定後】
基本画面では、「連動」の上にある「▬」で、
現在の設定が確認できます。

-液晶表示パネル-





【設定後】



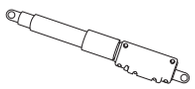
連動に設定後、画面下部に
印が付きます。

9. 手動でボトムをさげる

※停電などにより背ボトムやひざ・足ボトムをさげられなくなったときに、手動でボトムをさげられます。

背ボトムのさげかた

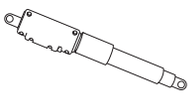
ここに取り付けられた
背あげモーターを外す。



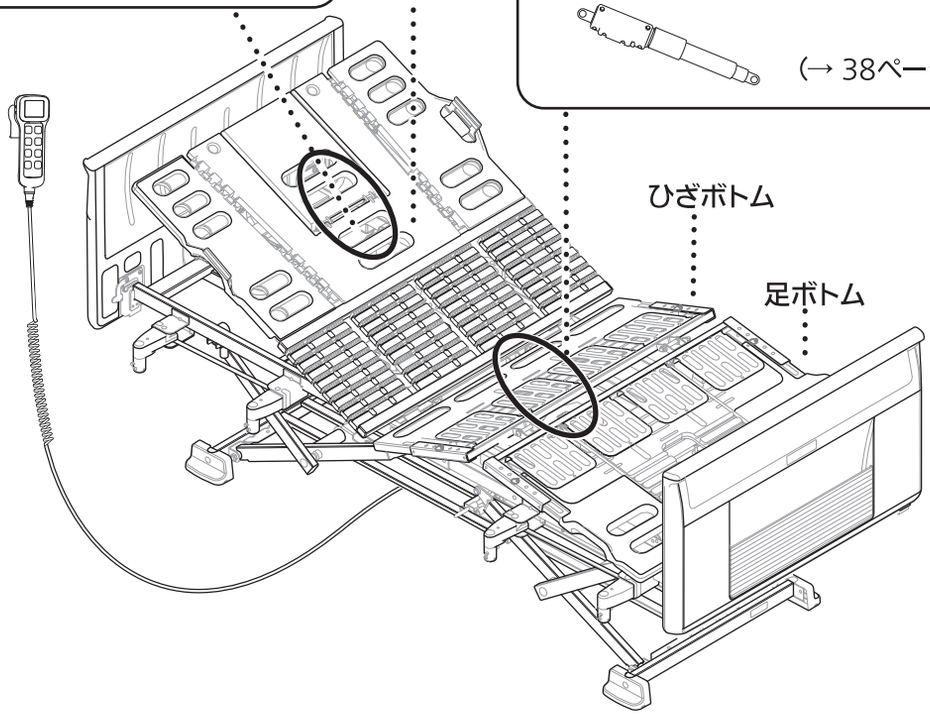
（→ 37ページ参照）

ひざ・足ボトムのさげかた

ここに取り付けられた
足あげモーターを外す。



（→ 38ページ参照）



⚠ 注意

必ず守る

■スピードピンを扱うときはラジオペンチやプライヤーを使う
けがの原因となります。

⚠ 警告

禁 止

■モーターを外した状態で、背ボトムやひざ・足ボトムを動作させたり、
ベッドを昇降させたりしない
事故やけがの原因となります。

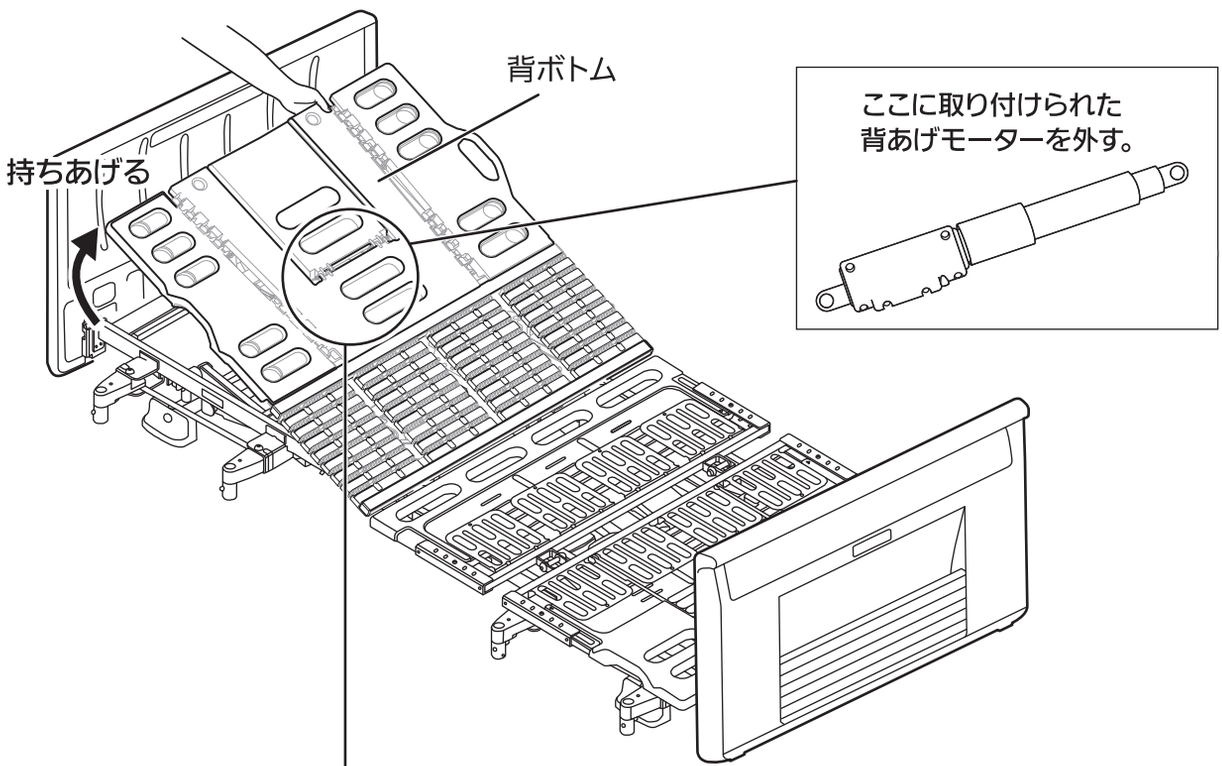
必ず守る

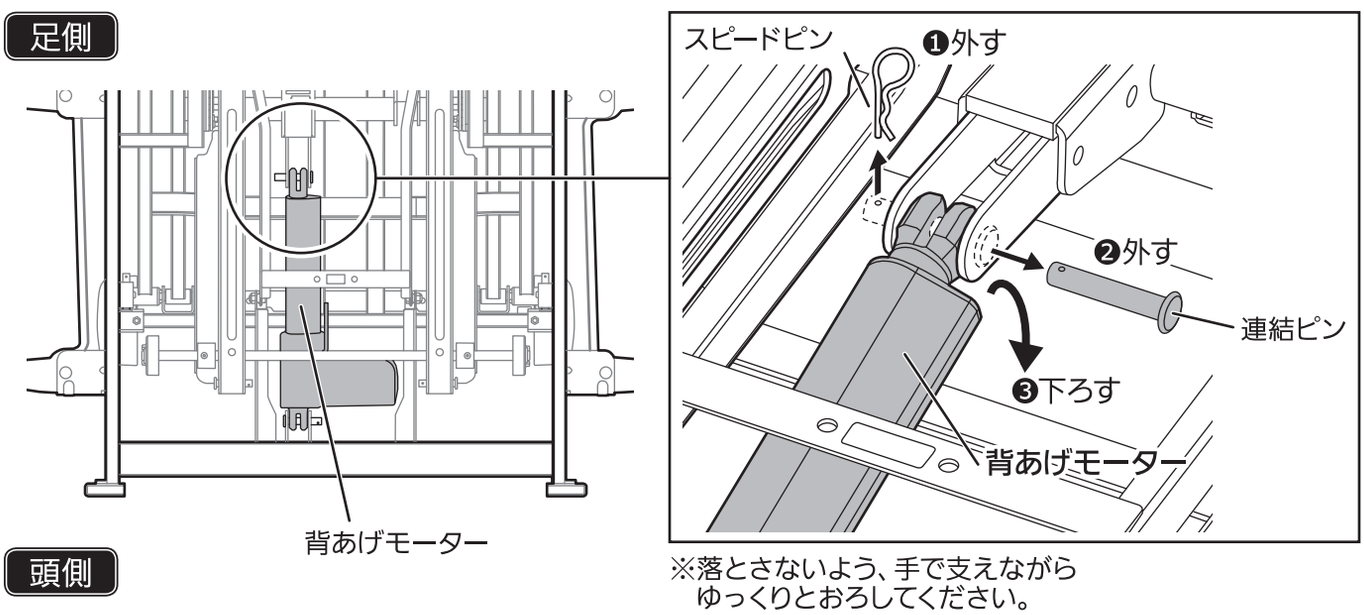
■作業は必ず2人以上で行う
■背あげモーターの連結ピンを取り外すときは、必ず背ボトムを支えてから取り外す
■足あげモーターの連結ピンを取り外すときは、必ずひざ・足ボトムを支えてから取り外す
以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

9. 手動でボトムをさげる

1.背ボトムを手動でさげる

①電源プラグをコンセントから抜いてください。
②ベッド上のご利用者と寝具をおろしてください。
③一人が背ボトムを持ち、もう一人が背あげモーター頭側のスピードピンと連結ピンを引き抜いてください。
　※背あげモーターの接続部が落下しますので、床に落とさないよう、手で支えながら連結ピンを引き抜いてください。
④背あげモーターを外してから、背ボトムをゆっくりとおろしてください。
　※背あげモーターを外した状態で背ボトムを支える手を離すと、背ボトムは落下します。
　　落とさないよう、ゆっくりとおろしてください。



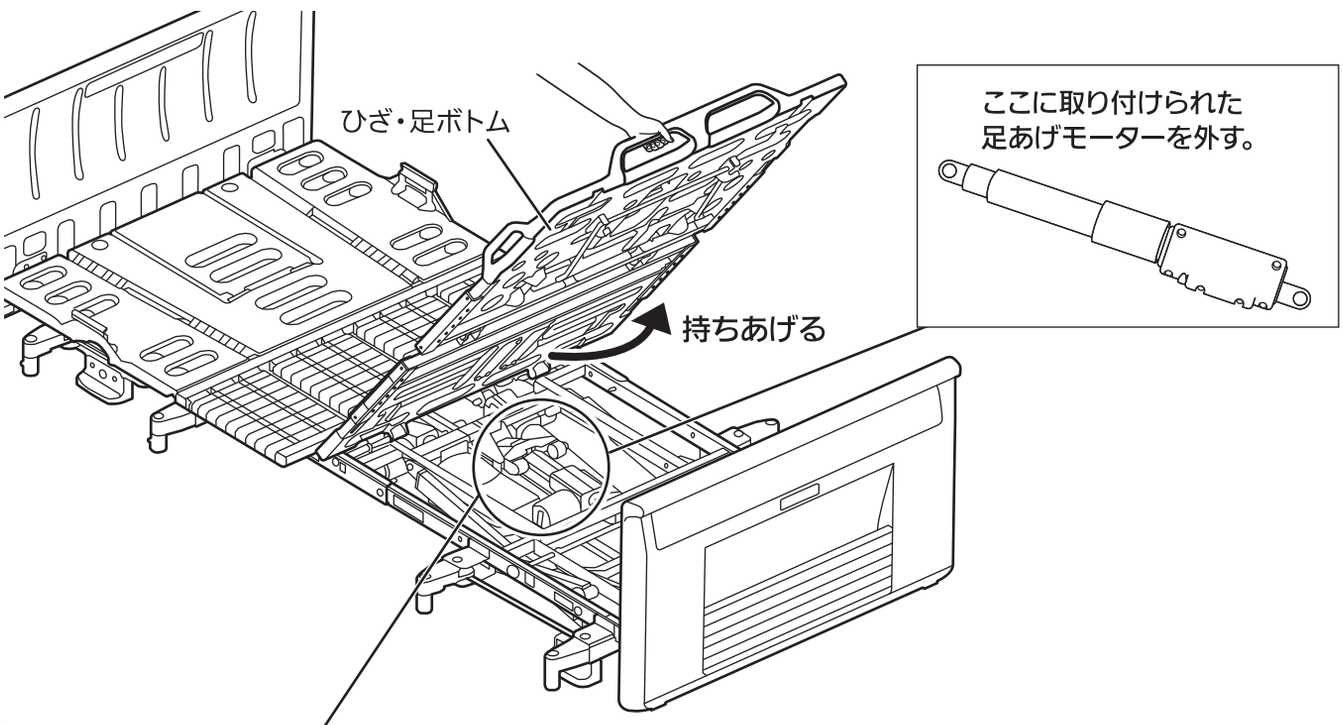


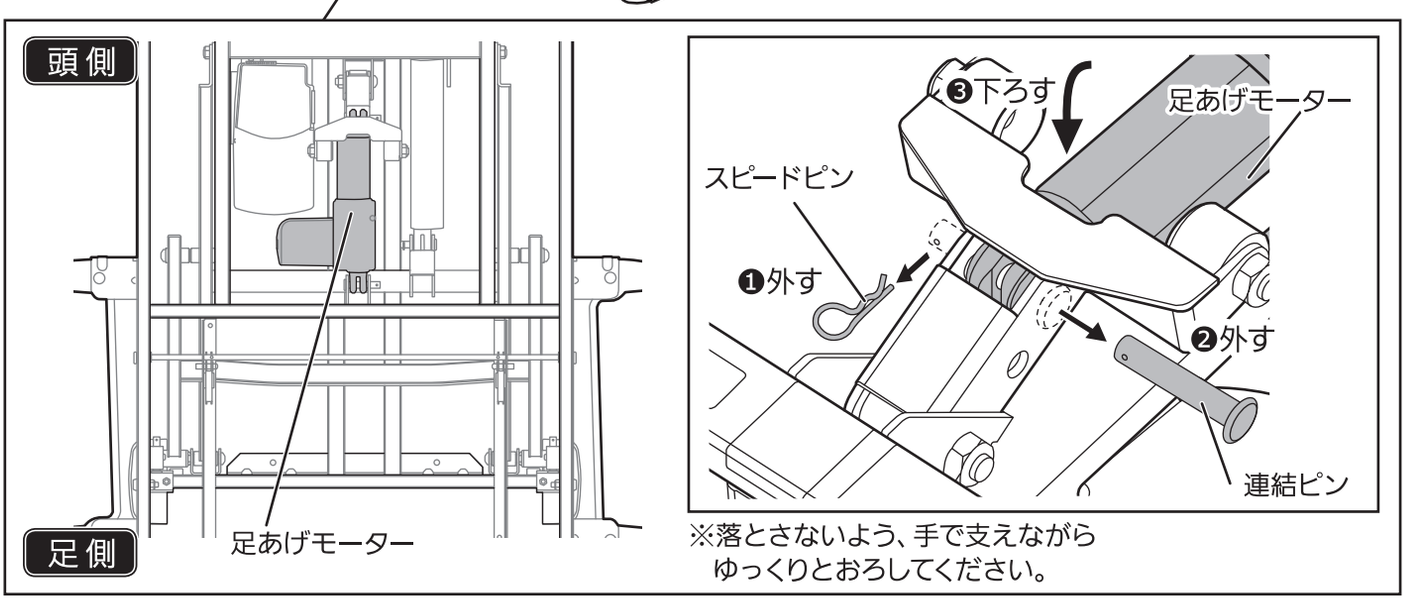
※落とさないよう、手で支えながら
　ゆっくりとおろしてください。

9. 手動でボトムをさげる

2.ひざ・足ボトムを手動でさげる

①電源プラグをコンセントから抜いてください。
②ベッド上のご利用者と寝具をおろしてください。
③一人が足ボトムを持ち、もう一人が足あげモーター頭側のスピードピンと連結ピンを引き抜いてください。
※足あげモーターの接続部が落下しますので、床に落とさないよう、手で支えながら連結ピンを引き抜いてください。
④足あげモーターを外してから、ひざ・足ボトムをゆっくりとおろしてください。
※足あげモーターを外した状態でひざ・足ボトムを支える手を離すと、ひざ・足ボトムは落下します。
落とさないよう、ゆっくりとおろしてください。





※落とさないよう、手で支えながら
ゆっくりとおろしてください。

■戻しかた

※電源が回復してから元に戻してください。

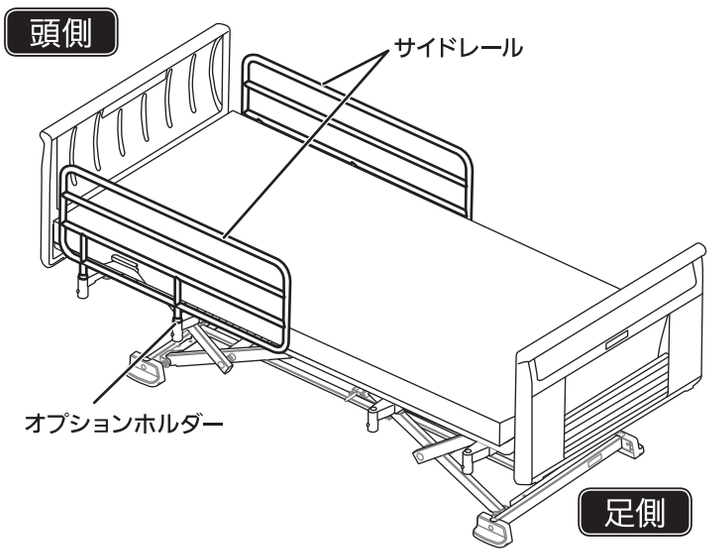
①前ページの「背ボトムのさげかた」または上記の「ひざ・足ボトムのさげかた」と逆の手順で
背あげモーターまたは足あげモーターを取り付けてください。

②電源プラグをコンセントに差し込んでください。

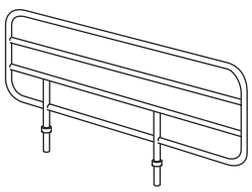
10. 適合オプションについて

1.サイドレール JIS認証対象

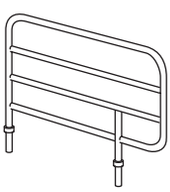
・ベッド両サイドのオプションホルダーを利用して、サイドレールが使用できます。
・オプションホルダーの逆挿入防止機能を設定した状態でお使いください。(→ 29ページ参照)
・サイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
・立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合はベッド用グリップをお使いください。
・適合オプション品以外のサイドレールと組み合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



厚みのあるマットレス (厚み13cmを超え18cmまで) の場合は、
サイドレールLより5cm高い サイドレールLH (PN-S105033) または、
サイドレールSより5cm高い サイドレールSH (PN-S105034) を
ご使用ください。



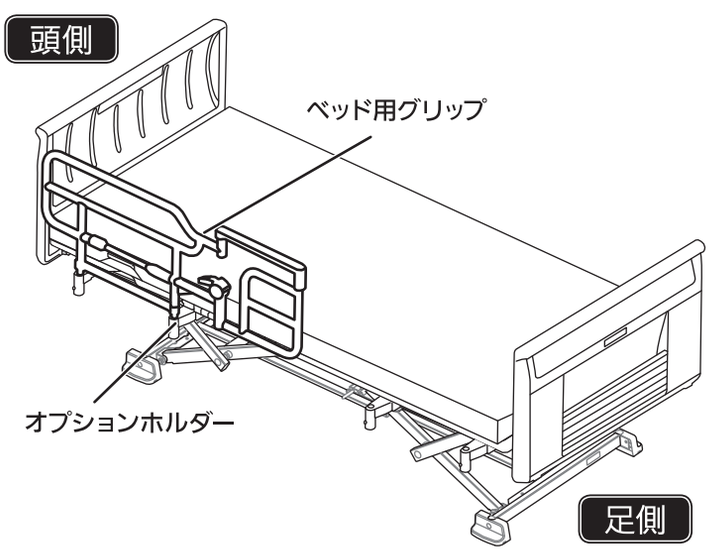
サイドレールL
PN-S105031 (2本入り)
・就寝中の思わぬ落下や寝具のずり落ちを
防ぎます。

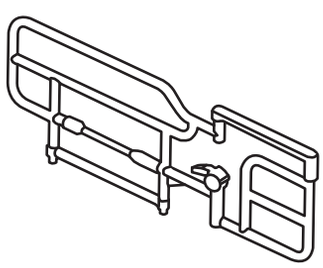


サイドレールS
PN-S105032 (2本入り)
・ベッド用グリップと合わせて使用できます。

2.ベッド用グリップ JIS認証対象

・ベッドのオプションホルダーを利用して、ベッド用グリップが使用できます。
・オプションホルダーの逆挿入防止機能を解除した状態でお使いください。(→ 29ページ参照)
・安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などには、ベッド用グリップと併用して、
サイドレールSまたはサイドレールSHをご使用ください。
・適合オプション品以外のベッド用グリップと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。





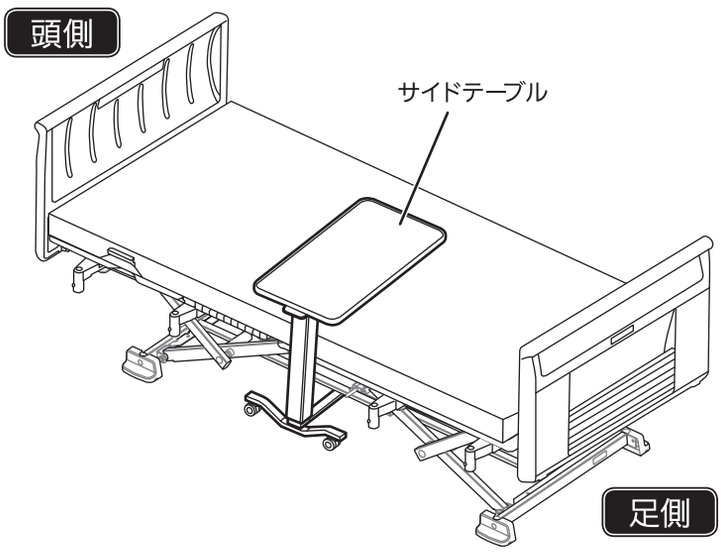
ベッド用グリップ
PN-S105035

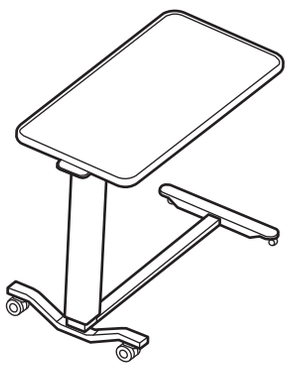
※この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

10. 適合オプションについて

3.サイドテーブル

・サイドテーブルは、ベッド上での食事や読書などをするときに使用する製品です。
※サイドテーブルに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
※ 脚の高さ4.5cm以下のサイドテーブルを使用してください。
※ 別売の延長脚座を用いて脚高さ7cmまでのサイドテーブルが使用できます。
（床が沈み込む場合は、別途延長脚座が必要となります。）





サイドテーブル
PN-S105039

⚠警告

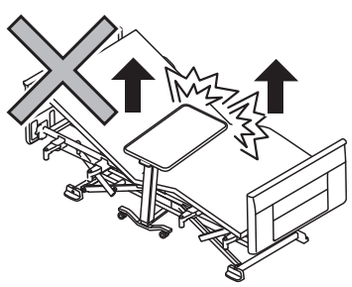
必ず守る

■回転部や駆動部に指を巻き込まれないように注意する
■ベッドの高さをあげるときに、サイドテーブルなどで体をはさまないよう注意する
事故やけがの原因となります。

⚠注意

必ず守る

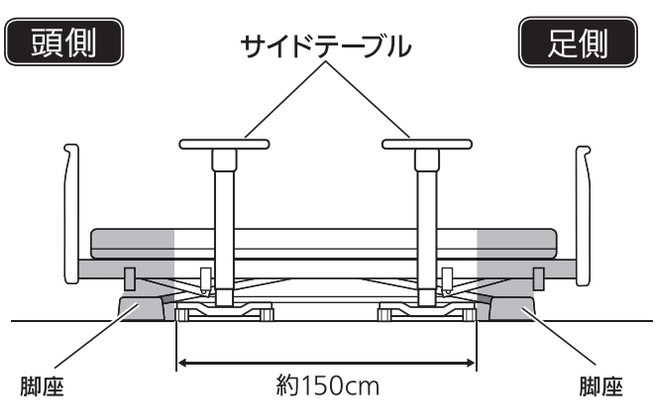
■サイドテーブルの脚とベッドのベースユニットが接触しないように注意する
サイドテーブルが転倒してけがをしたり、
ベッドやサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。



■サイドテーブルの使用範囲について

●右図は、サイドテーブルの使用範囲を示しています。（　　）部分は使用できません。右図の範囲外で使用すると、サイドテーブルやベッドが破損・変形するおそれがあります。

●サイドレールやベッド用グリップを設置している場合、サイドテーブルと接触しないように注意してください。

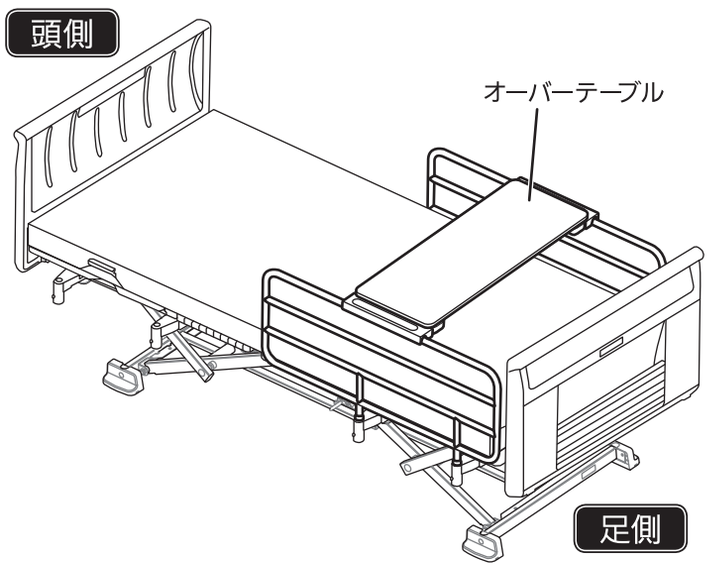


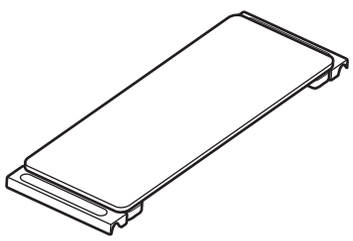
※この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

10. 適合オプションについて

4.オーバーテーブル

・サイドレールの上に乗せることにより使用できます。
※オーバーテーブルに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。

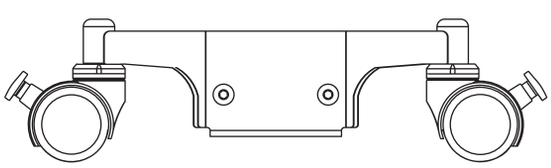




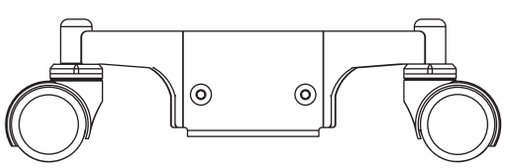
オーバーテーブル
VA1316039

5.キャスター JIS認証対象

・キャスターを取り付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなど、ベッドの移動を補助します。
・適合オプション品以外のキャスターと組み合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



ロック付キャスター



ロックなしキャスター

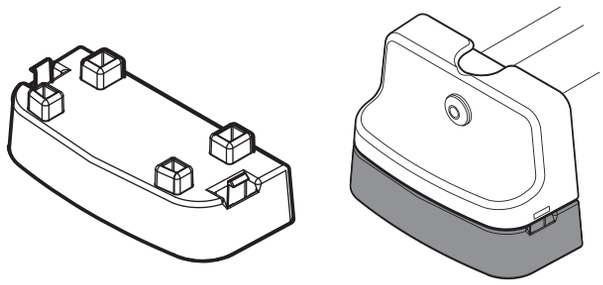
PN-S105036

※この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

10. 適合オプションについて

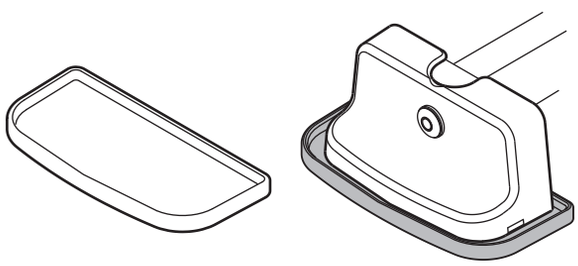
6.延長脚座 JIS認証対象

・ベッドフレームの高さをあげたい場合に使用します。
・ベッドの高さが約3cm高くなります。



7.脚座ゴムシート JIS認証対象

・じゅうたんや畳の上で、ベッドをご利用いただく場合に使用します。



8.オプション品一覧（JIS認証取得表）

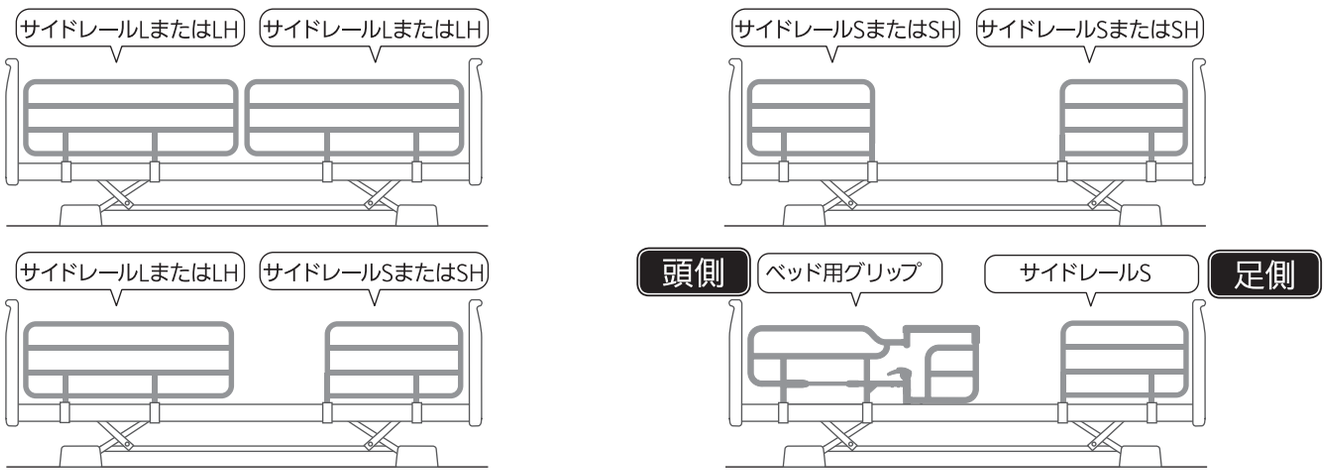
	名　称	品　番
JIS認証対象	サイドレールL	PN-S105031
	サイドレールS	PN-S105032
	サイドレールLH	PN-S105033
	サイドレールSH	PN-S105034
	ベッド用グリップ	PN-S105035
	キャスター	PN-S105036
	延長脚座	PN-S105037
	脚座ゴムシート	PN-S105038
	オーバーテーブル	VA1316039
	サイドテーブル	PN-S105039

※この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

11. 適合オプションの組み合わせと取り付け位置について

・適合オプションの組み合せと取り付け位置は、下図を参照して正しく取り付けてください。

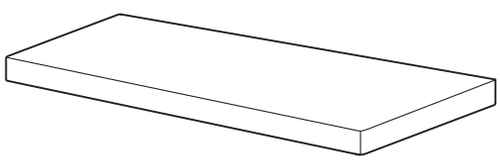
サイドレール・ベッド用グリップの組み合わせと取り付け方向
各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です
※厚みのあるマットレス（厚み13cmを超え18cmまで）の場合は、
サイドレールLより5cm高い サイドレールLH（PN-S105033）または、
サイドレールSより5cm高い サイドレールSH（PN-S105034）をご使用ください。
マットレスの厚みがサイドレールと合っていない場合、サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。



12. マットレス（別売）について

■当社製マットレス ステラフィット

当商品には当社製マットレス ステラフィットを推奨します。



マットレスサイズ	品番	対応ベッド幅	対応ベッド全長
レギュラータイプ	PN-S120001	91cm幅	レギュラー
ショートタイプ	PN-S120002	91cm幅	ショート
ナロータイプ	PN-S120003	83cm幅	レギュラー
ナローショートタイプ	PN-S120004	83cm幅	ショート

⚠警告

禁止

■マットレスを設置しない状態ではベッドを使用しない
ボトムのすき間や通気穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。

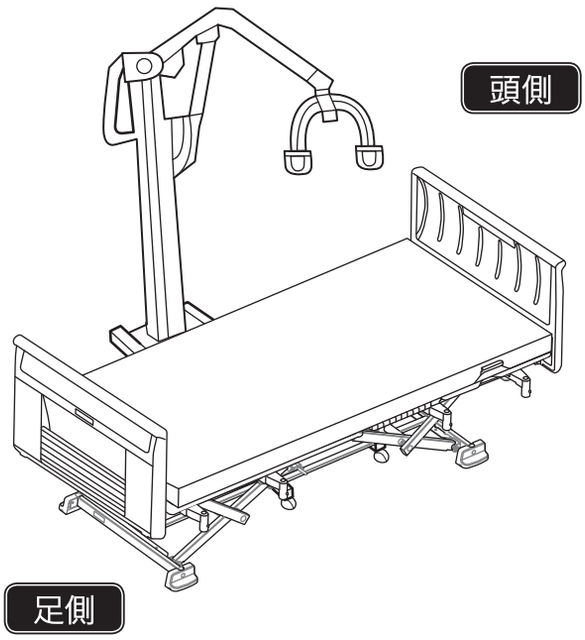
必ず守る

■当社製マットレス ステラフィット以外を使用する場合は、お買い上げの販売店に相談する
当社製マットレス ステラフィット以外と組み合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、サイドレール・ベッド用グリップにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担がかかり、故障する原因となります。

※この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口までお問い合せください。

13. 電動介護リフトを使用するときのご注意

・必ず延長脚座（PN-S105037）を使用してください。
・電動介護リフトにはさまざまな商品があります。詳しくは使用されるメーカーの取扱説明書を必ずお読みください。
※ 使用可能な介護リフトは脚の高さ7cm以下です。



⚠ 警告

禁 止

■リフトの脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしない
電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

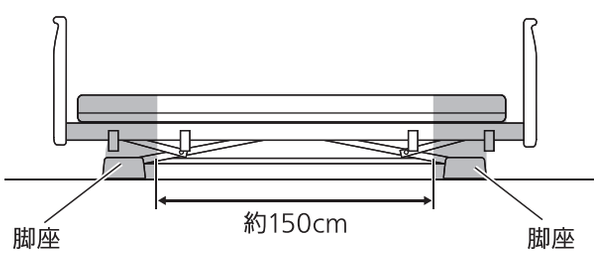
必ず守る

■ベッド操作時およびリフト操作時はリフトの周囲に注意する
・ベッドとリフトの間にはさまれるおそれがあります。
・リフトが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たって破損するおそれがあります。
・リフトがサイドレールなどに引っ掛かり、リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
・ベッドとリフトの脚部やモーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。

■電動介護リフトの使用範囲について 頭側 足側

●右図は、リフトの使用範囲を示しています。（　　）部分は使用できません。右図の範囲外で使用すると、リフトやベッドが破損・変形するおそれがあります。

●サイドレールやベッド用グリップを設置している場合、リフトと接触しないように注意してください。



14. 定期点検と日常のお手入れ

1.定期点検・愛情点検

「組み立て後の点検」（→ 72, 73ページ参照）の点検リストに沿って点検してください。
異常がある場合は、販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

コンフォーネ安全チェックシート　※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。								
安全点検項目		点検結果（該当には○） 日付						処理手順
愛情点検	電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする							
	電源プラグや電源コードが異常に熱い							○印があるときは、危険な状態になっていますので、使用を中止しお買い上げの販売店にご相談ください。
	こげ臭い匂いがする							
	触ると電気(ピリピリ)を感じる							
	購入後8年以上経過している							
	レンタル後1年以上経過している							
	フレームに変形が見られる							○印があるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	高さ・角度調整範囲が狭くなった							
	キャスターが固定状態にならない							
	動作時に異常な音がする							※場所や状態によってはお客様で注油を行うことが出来ます。

上記の点検項目以外でも不具合があれば、販売店などの専門家にご相談ください。（品番により該当しない項目があります。）

■製品の長期使用について

1.本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、
製造年月日を本体に表示しております。

2.想定安全使用期間とは

一般家庭用にてご使用いただく介護用ベッドにおいて、標準的な条件の下で、適正な取り扱いで使用し、
適正な維持管理（消耗部品の交換）が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、
想定される期間です。無償保証期間とは異なります。また、偶発的な事故を保証するものではありません。
※一般家庭以外（病院、施設など、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、
使用条件により、想定安全期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3.経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

【想定安全使用期間】 8年（一般家庭にて使用いただく場合）
想定安全使用期間を超えてお使いただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

2.お手入れのしかた

【お手入れ上のご注意】

・ベッドに直接水を掛けないでください。
・シンナーやベンジンなどの揮発性の溶剤、みがき粉は使用しないでください。
・たわし、硬いブラシは使用しないでください。
・コンセントにたまったほこりは、コンセントを一旦はずして定期的に取り除いてください。
・オゾン消毒はしないでください。（変質・変色・傷みの原因となります。）



※つねに清潔に保つように清掃してください。

①中性洗剤を指定の濃度に薄め、スポンジか柔らかい布に含ませ、汚れをきれいにふき取る。
その後水に浸した布をよく絞って、残った洗剤分をふき取る。狭い部分には、歯ブラシや綿棒を使用する。

②乾いた布でからぶきし、自然乾燥する。

⚠ 警告

必ず守る

■電源プラグをコンセントから抜いてお手入れを行う
電源プラグを抜かないと、感電の原因となります。

■消毒剤を使用する場合は、必ず指定の濃度に薄めて使用する
守らないと、破損の原因となります。

15. 故障かな?と思ったとき

・故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に、もう一度、以下の項目をチェックしてください。
・チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、直ちにベッドの使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
・以下の症状により、電動でボトムを操作できない場合は、手動でボトムをさげてください。(→ 36〜38ページ参照)

状態(症状)	手元スイッチの電源ランプ	チェック	処理	参照ページ
実際のベッドの位置と、液晶表示パネルに表示されている数値があわない	緑点灯	ー	[電源][頭▲][頭▼]ボタンを同時に押し、モーターがこれ以上動かなくなるところまで、押し続けてください。	-
ベッドが水平になっていない	緑点灯	ベッドの下に物がはさまっていない。	[電源][頭▲][頭▼]ボタンを同時に押し、モーターがこれ以上動かなくなるところまで、押し続けてください。	-
		ベッドの下に物がはさまったり、つかえたりしている。	はさまっている物を取り除いてください。	-
音声が出ない	緑点灯	音声設定が、「ブザー」や「切」になっていませんか?	音声設定を「音声/ブザー」にしてください。	32
操作ボタンを押してもベッドが動作しない(電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えて5秒以上経ってから、再度電源プラグを差し込んでください。それでも改善しないとき、右表をチェックしてください)	消灯	電源プラグがコンセントに差しこまれていますか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	21
		電源プラグをコンセントに差し込んでいても、手元スイッチの電源ランプが消えていますか?	コンセントに他の電気機器を接続して、コンセントに電気が来ていることを確認してください。	--
		手元スイッチのコネクターが、電源ボックスから抜けていませんか?	手元スイッチのコネクターを電源ボックスに差し込んでください。	62
		モーターのコネクターが抜けていませんか?	モーターのコネクターを電源ボックスに差し込んでください。	60, 61
	赤点灯	手元スイッチの電源がOFFになっていませんか?	電源をONにしてください。電源ランプが緑点灯します。	21
	ボタンを押した時に緑点滅	ボタンを押した時、液晶表示パネルに「ロックされています」と表示されていますか?	ロック機能を解除してください。	31
	緑点灯	操作ボタンが押されたままになっていませんか?	操作ボタンを離してください。	-
		ベッドを連続で使用しましたか?(モーターが過熱すると、冷めるまで動作が停止します)	約20分間放置して、モーターが冷えるのをお待ちください。	-
	緑点滅	ベッドの可動部分に障害物があったり、挟まっていたり、総重量を超えていませんか?	障害物を取り除いてから、また総重量を減らしてから、操作してください。	-

16. 長期保管について

■ 長期にわたりベッドをご使用にならない場合

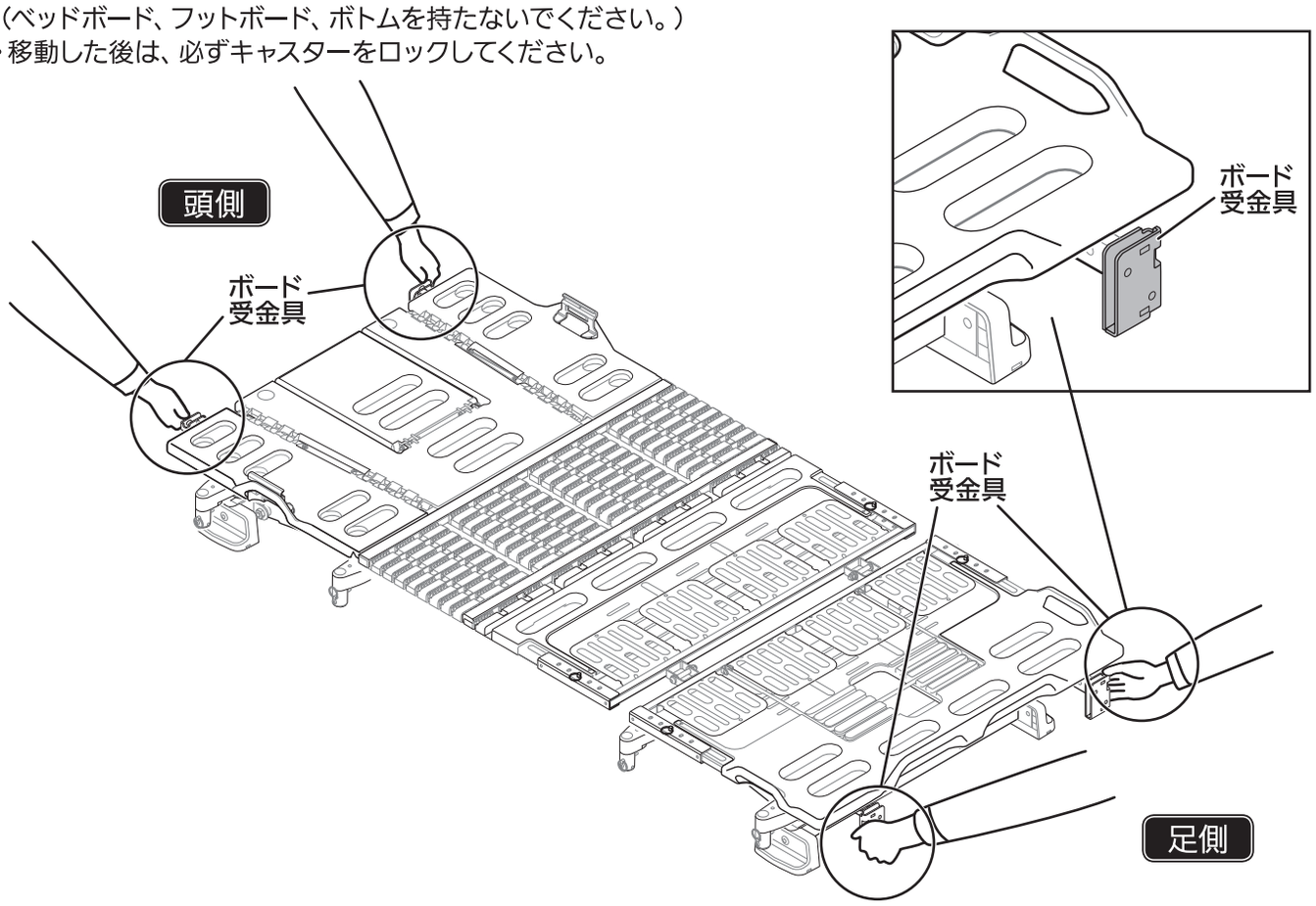
① 背ボトム、ひざ・足ボトムを水平にしてください。
② ベッドの高さを最下降位置までおろしてください。
③ ベッドの上にはマットレス以外のものを乗せないでください。
④ マットレスの上には何も乗せないでください。
⑤ 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
⑥ ベッドは壁に立てかけたりせず、水平な床に水平のまま保管してください。
⑦ 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねてください。

17. ベッドの移動と設置について

1.ベッドを移動させる

■ ベッドを移動するときは以下の項目を確認してください。

・マットレス、オプション品、ボードなど何も乗せないでください。
・電源プラグをコンセントから抜いてください。
・電源コード、手元スイッチを束ねて、傷付けないようにしてください。
・キャスターのロックを解除してください。（キャスター使用時）
・ベッドのボード受金具を持ってください。（頭側/足側：各2箇所）（下図参照）
（ベッドボード、フットボード、ボトムを持たないでください。）
・移動した後は、必ずキャスターをロックしてください。



⚠ 警告	
必ず守る	■スロープのある路面での移動はしない ■作業は必ず2人以上で行う 以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

※ベッドを分解する必要がある場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

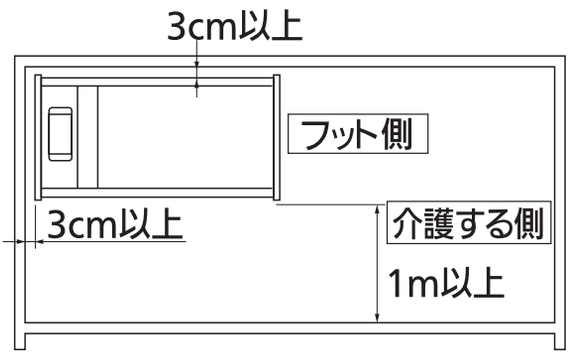
17. ベッドの移動と設置について

2.ベッドの設置について

■ ベッドを設置する前に以下の項目を確認してください。

【設置条件】

・ベッドへの乗り降り・介護するためのスペースがある。（右図参照）
・冷暖房機からの冷風・温風に直接当たらない。
・ベッドの角度・高さを調節するスペースがある。
・床が水平である。
・床に十分な強度がある。
（ベッド本体＋体重＋寝具＋オプション品の質量に耐えられる）
・電源プラグを抜き差ししやすい。
・電源コード付近にテレビを設置しない。
（まれに、テレビの画像に影響を及ぼす場合があります。）



⚠警告

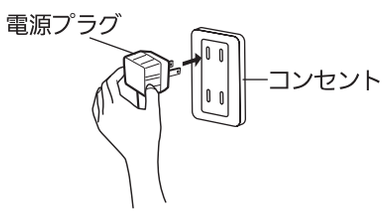
必ず守る

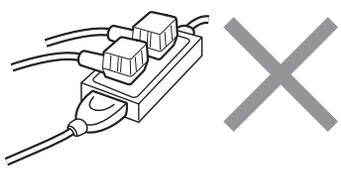
■ベッドの電源は直接コンセントからとる
コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

■電源プラグは直接コンセントに差し込む
延長コード・テーブルタップなどを使用すると、火災の原因となります。

禁 止

■タコ足配線は行わない
単相交流100 V・15 A以上のコンセントをご使用になり、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



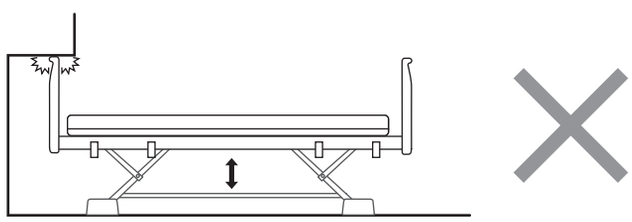


⚠注意

必ず守る

■ベッドを移動するとき以外はキャスターのロックをかける（キャスター使用時）
■作業時は手袋をする
以上のことを守らないと、事故やけがの原因となります。

■ベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などと当たらないよう注意する
特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。
ベッドや家具備品・構造物などが破損するおそれがあります。



組立・分解

-もくじ-

1.各部のなまえ ・・・ 50

2.部材を確認する ・・・51～53

3.ベッドを組み立てる ・・・54～71

1.ベースユニットを組み立てる ・・・・・・・・ 54
2.フロントユニットを取り付ける ・・・・・・・・ 55
3.リアユニットを取り付ける ・・・・・・・・ 56
4.フロント・リアユニットを連結する ・・・・・・・・ 57
5.フロント・リアユニットとベースユニットを連結する ・・・・・ 58
6.昇降モーターを取り付ける ・・・・・・・・ 59
7.背あげモーターのコードを配線する（BACK） ・・・・・・・・ 60
8.昇降モーターのコードを配線する（Hi-Lo1/Hi-Lo2） ・・・・ 61
9.手元スイッチのコードを配線する ・・・・・・・・ 62
10.電源コードを配線する ・・・・・・・・ 63～64
11.足連動ユニットを取り付ける（2モーションタイプのみ） ・・・ 65
12.ひざ・足ボトムを取り付ける ・・・・・・・・ 66
13.ぴったりラインを取り付ける ・・・・・・・・ 67
14.背ボトム取り付ける ・・・・・・・・ 68～69
15.ボードを取り付ける ・・・・・・・・ 70
16.マットレスストッパーを取り付ける ・・・・・・・・ 71
17.脚座を取り付ける ・・・・・・・・ 71

4.組み立て後の点検 ・・・72～73

5.ベッドを分解する ・・・74～89

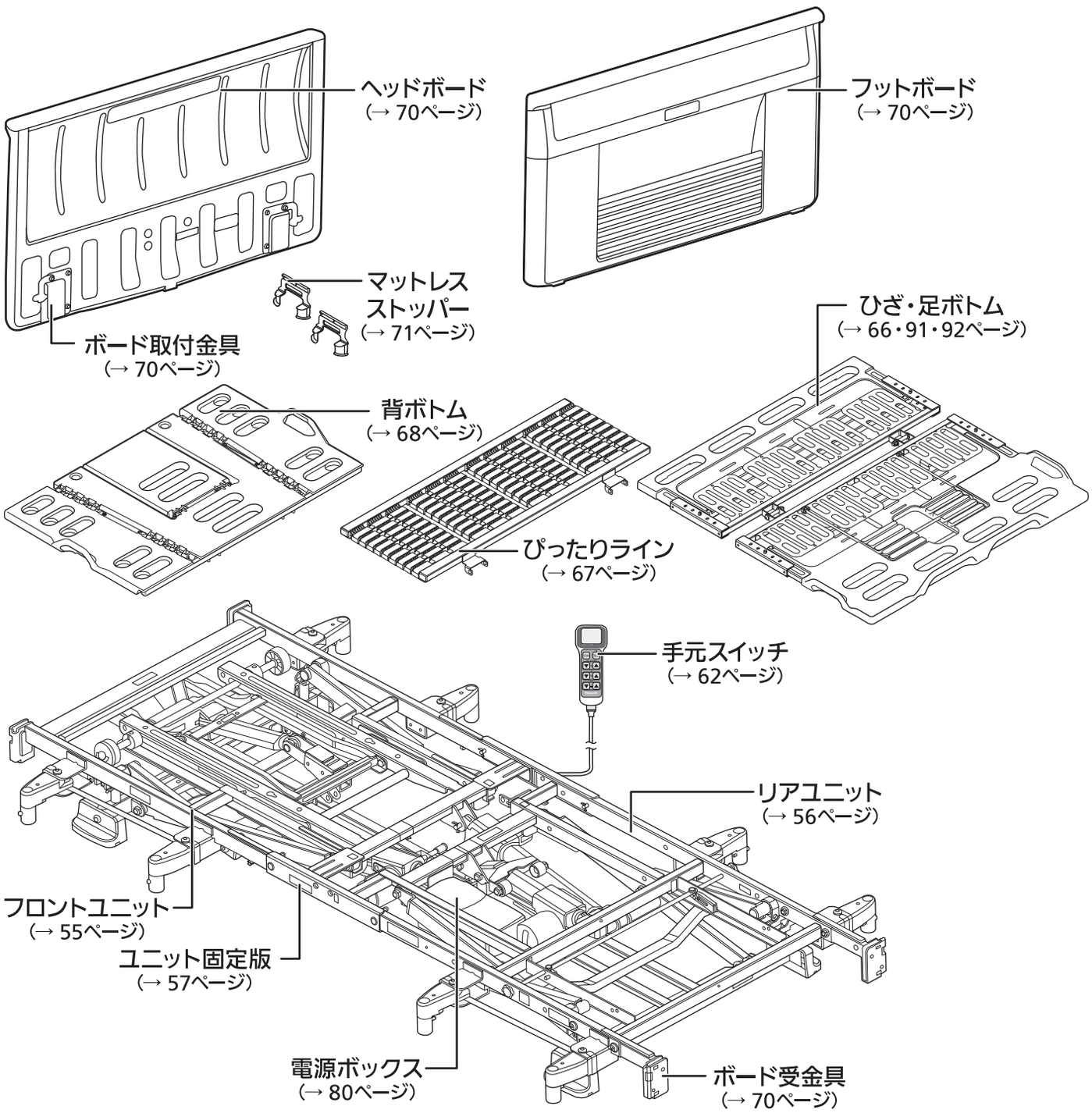
1.分解前の準備 ・・・・・・・・ 74
2.ボードを取り外す ・・・・・・・・ 75
3.マットレスストッパーを取り外す ・・・・・・・・ 76
4.背ボトムを取り外す ・・・・・・・・ 77
5.ぴったりラインを取り外す ・・・・・・・・ 78
6.ひざ・足ボトムを取り外す ・・・・・・・・ 79
7.電源ボックスカバーを開ける・閉める ・・・・・・・・ 80
8.足連動ユニットを取り外す（2モーションタイプのみ） ・・・ 81
9.電源コードを取り外す ・・・・・・・・ 82
10.手元スイッチのコードを取り外す ・・・・・・・・ 83
11.昇降モーターのコードを取り外す（Hi-Lo1/Hi-Lo2） ・・・・ 84
12.背あげモーターのコードを取り外す（BACK） ・・・・・・・・ 85
13.昇降モーターを取り外す ・・・・・・・・ 86
14.フロント・リアユニットを取り外す ・・・・・・・・ 87
15.ベースユニットを取り外す ・・・・・・・・ 88

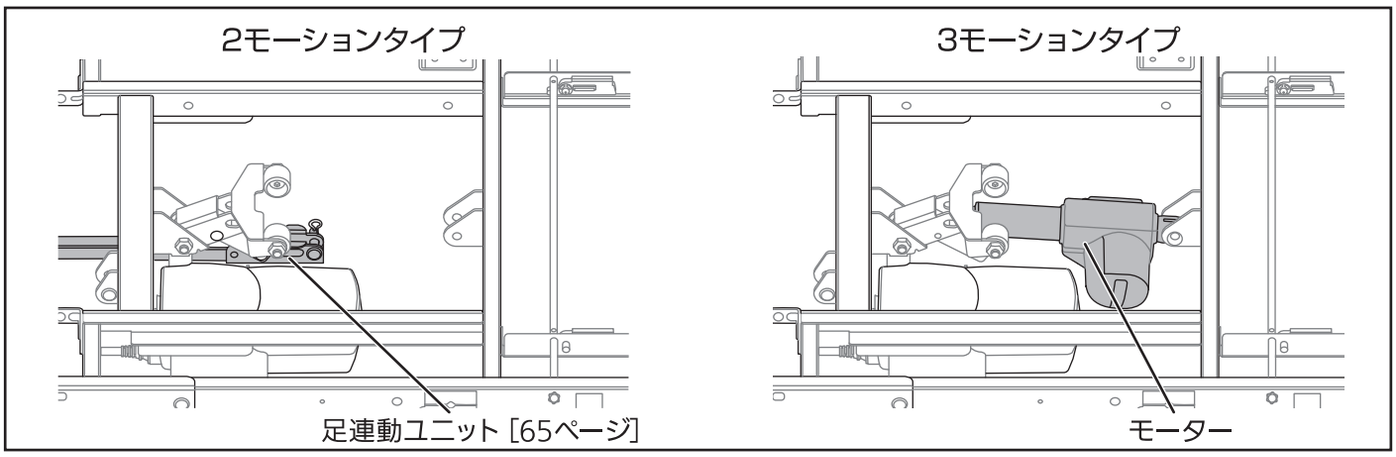
6.ショートタイプへ切り換える ・・・89～92

1.切り換え前の準備 ・・・・・・・・ 89
2.本体（リアユニット）側を切り換える ・・・・・・・・ 90
3.足ボトム側を切り換える ・・・・・・・・ 91～92

1. 各部のなまえ

※イラストは3モーションタイプです。



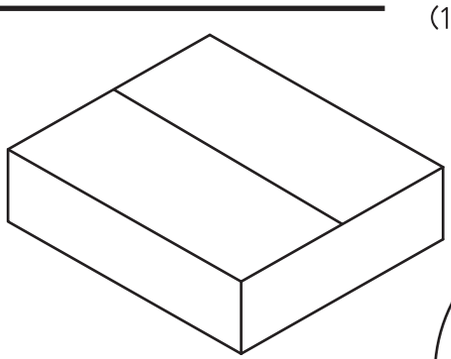


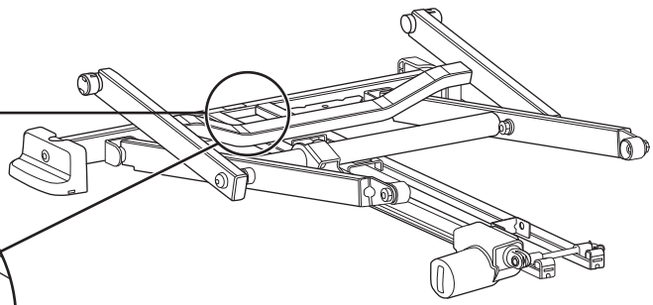
2. 部材を確認する

・ベッドを組み立てる前に、以下の部品・部材が揃っているか確認してください。
※部品・部材の不足や破損がある場合は、販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。
※ベッドの組立・分解は、販売店へ依頼することをおすすめします。万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。
※必ず2人以上で運搬してください。

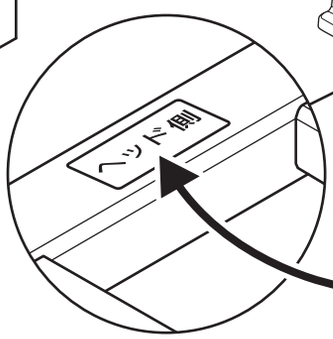
①頭側ベースユニット

品番：PN-S105001
（13.5kg）





頭側ベースユニット



「ヘッド側」のシールがあります。

※ 足側（フット側）と
間違えないようにご注意ください。

付属部品

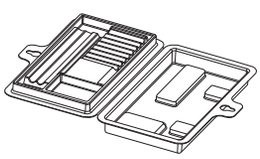


取扱説明書×1

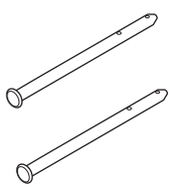


保証書×1

組立付属部品



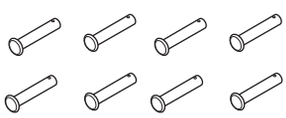
パーツケース×1



組み立てピン×2



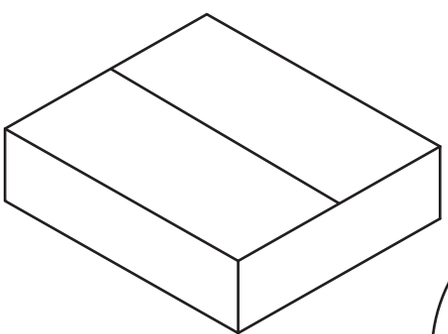
スピードピン×10

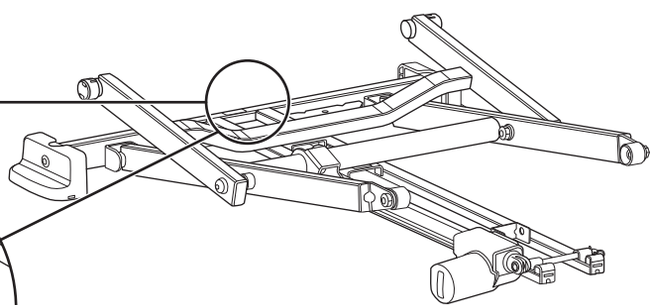


連結ピン×8

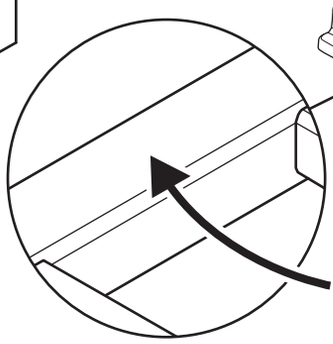
②足側ベースユニット

品番：PN-S105002
（13.5kg）





足側ベースユニット



シールはありません。

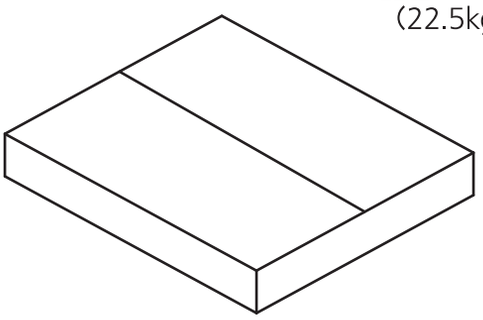
※ 頭側（ヘッド側）と
間違えないようにご注意ください。

2. 部材を確認する

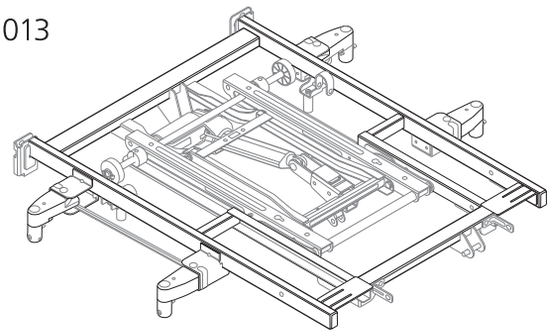
③フロントユニット

91cm幅
品番：PN-S105003
（22.5kg）

83cm幅
品番：PN-S105013
（21.5kg）



フロントユニット91cm幅
もしくは
フロントユニット83cm幅

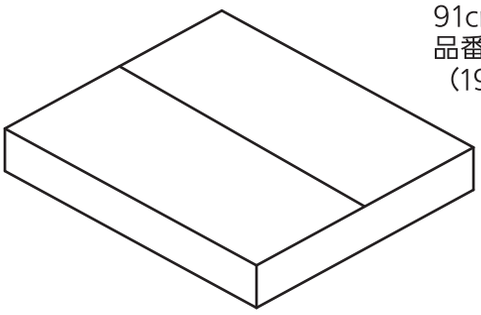


フロントユニット

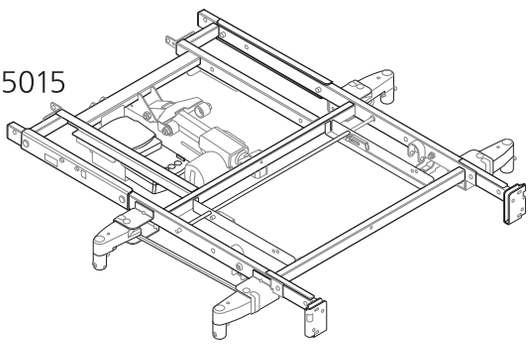
④リアユニット（3モーションタイプ）

91cm幅
品番：PN-S105005
（19.0kg）

83cm幅
品番：PN-S105015
（18.0kg）

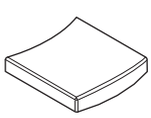


リアユニット91cm幅
（3モーションタイプ）
もしくは
リアユニット83cm幅
（3モーションタイプ）



リアユニット
（電源コード付）

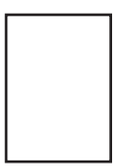
付属部品



電源ボックスカバー



手元スイッチ
（3モーションタイプ）

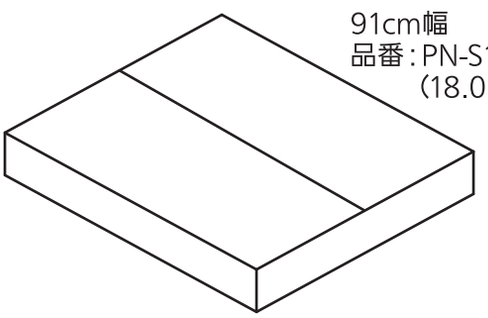


手元スイッチ
簡易取扱説明書

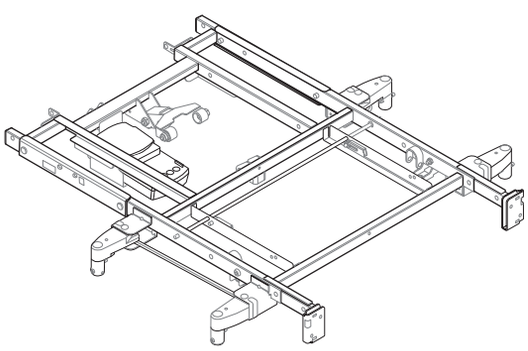
④リアユニット（2モーションタイプ）

91cm幅
品番：PN-S105004
（18.0kg）

83cm幅
品番：PN-S105014
（17.0kg）

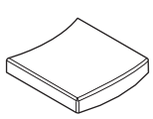


リアユニット91cm幅
（2モーションタイプ）
もしくは
リアユニット83cm幅
（2モーションタイプ）

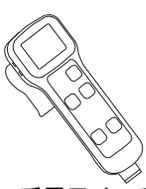


リアユニット
（電源コード付）

付属部品



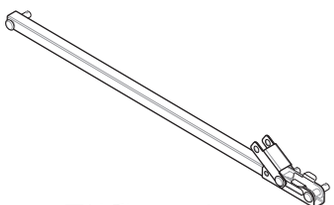
電源ボックスカバー



手元スイッチ
（2モーションタイプ）



手元スイッチ
簡易取扱説明書



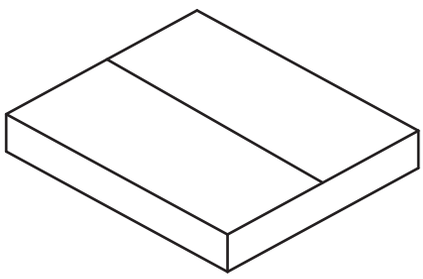
足連動ユニット

2. 部材を確認する

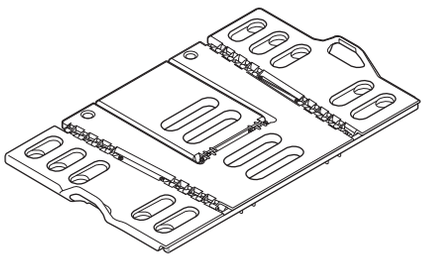
⑤ボトムユニット

91cm幅
品番：PN-S105006
（23.0kg）

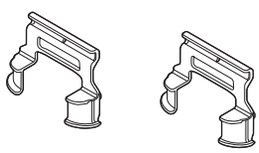
83cm幅
品番：PN-S105016
（21.0kg）



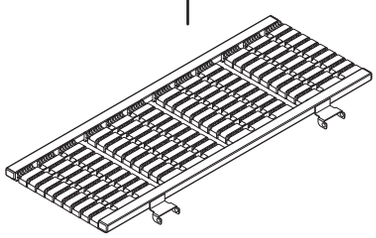
フロントユニット91cm幅
もしくは
フロントユニット83cm幅



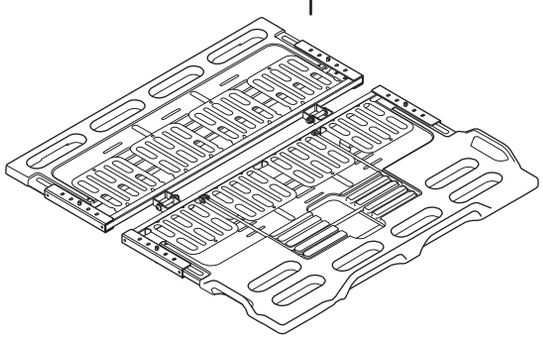
背ボトム
（91cm幅・83cm幅）



マットレスストッパー×2



ぴったりライン
（91cm幅・83cm幅）



ひざ・足ボトム
（91cm幅・83cm幅）

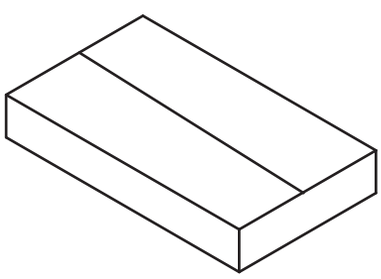
⑥ボードユニット

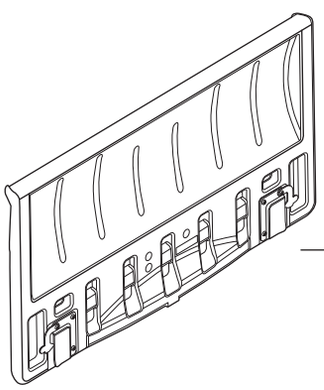
91cm幅, 樹脂タイプ
品番：PN-S105007B
（10.0kg）

83cm幅, 樹脂タイプ
品番：PN-S105017B
（9.0kg）

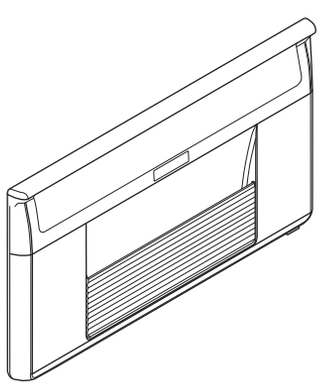
91cm幅, 木調タイプ
品番：PN-S105007M
（20.0kg）

83cm幅, 木調タイプ
品番：PN-S105017M
（18.0kg）





ヘッドボード
（91cm幅・83cm幅）

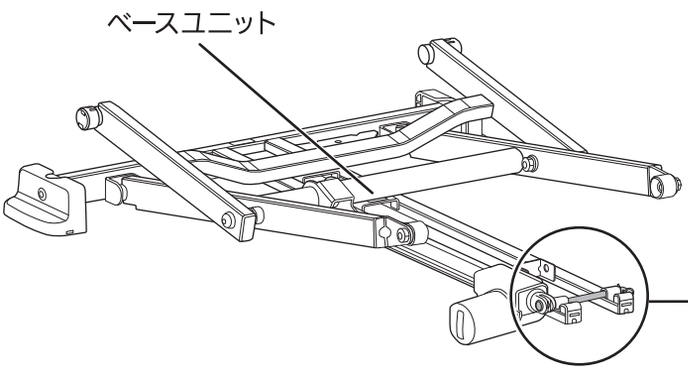


フットボード
（91cm幅・83cm幅）

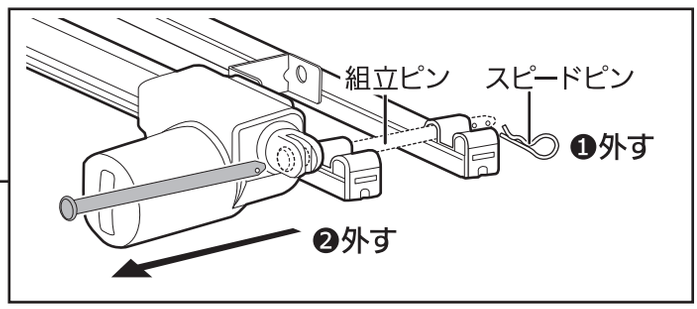
3. ベッドを組み立てる

1.ベースユニットを組み立てる

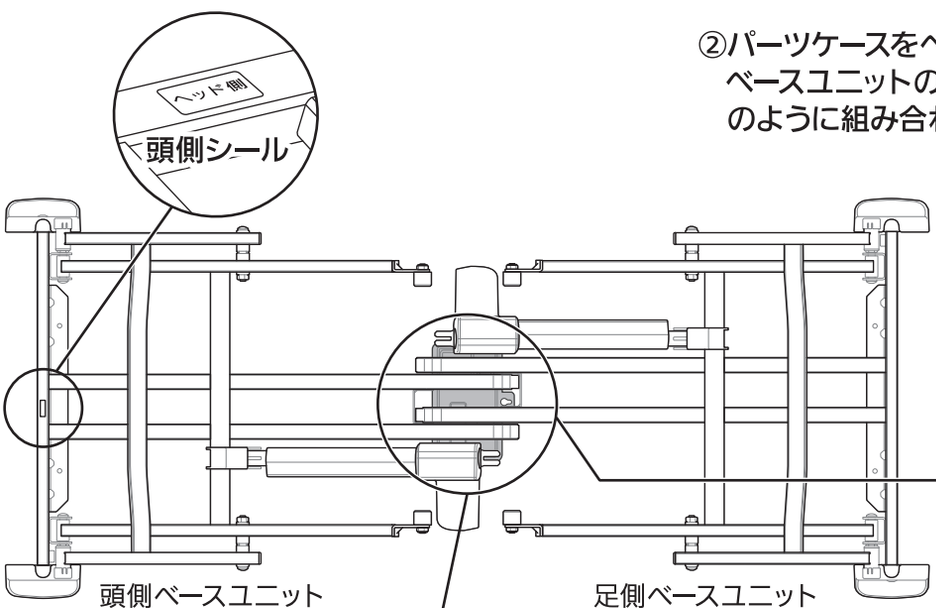
※モーターを外す際はモーターとベースユニットが落下しないように、手で支えながら取り外してください。

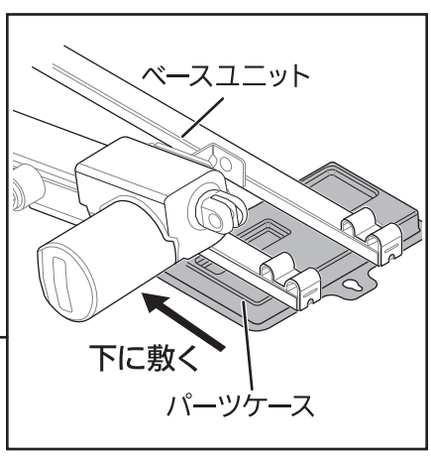


①頭側ベースユニット、足側ベースユニットから組み立てピンを外してください。（頭側・足側各1箇所：計2本）

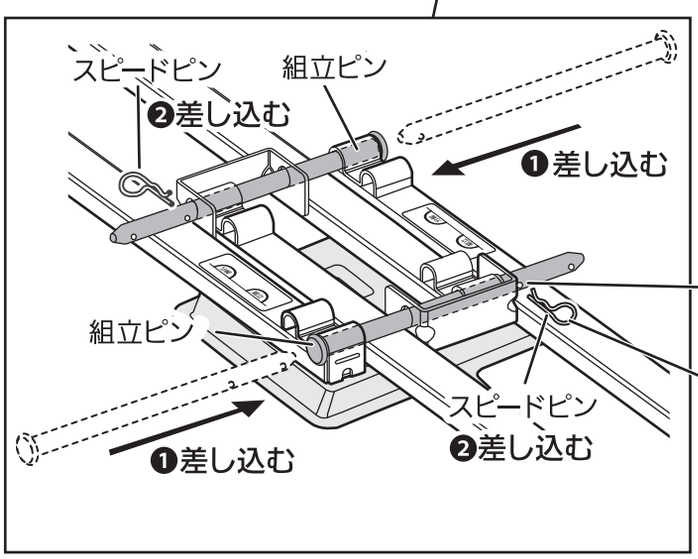


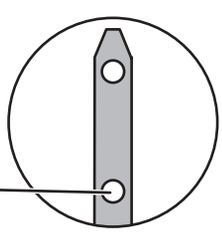
②パーツケースをベースユニットの下に敷き、ベースユニットの高さを合わせながら下図のように組み合わせてください。



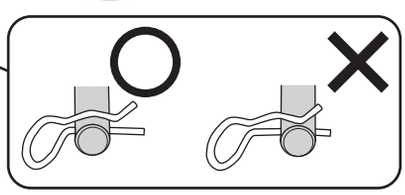


③組み合わせたベースユニットに組立ピンを差し込み、スピードピンで固定してください。





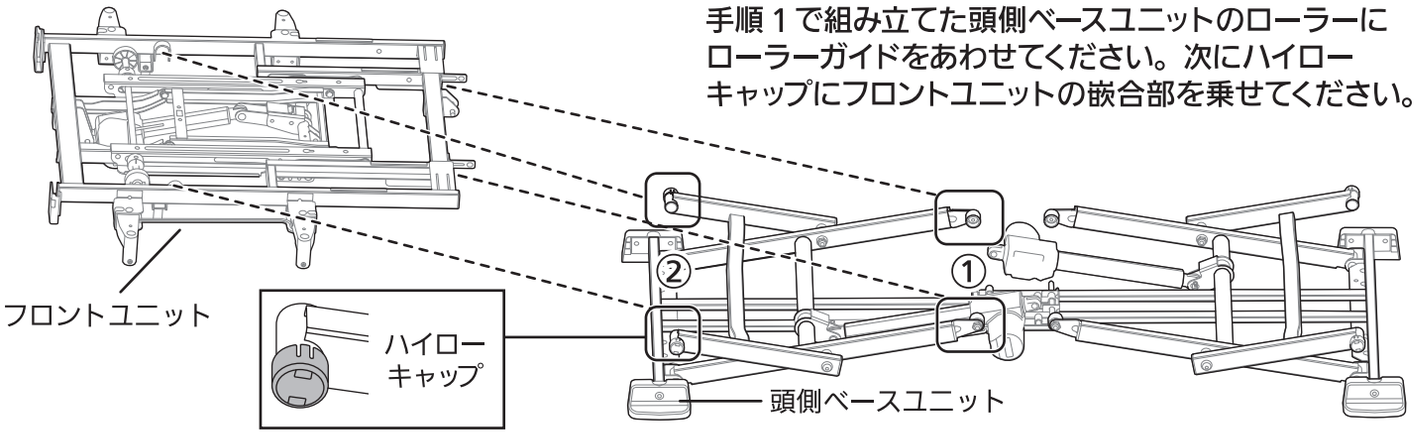
※スピードピンは組み立てピンの根元側の穴に差し込みます。
※先端の穴は梱包時のベースユニットとモーターの固定用です。



※スピードピンは確実に差し込んでください。

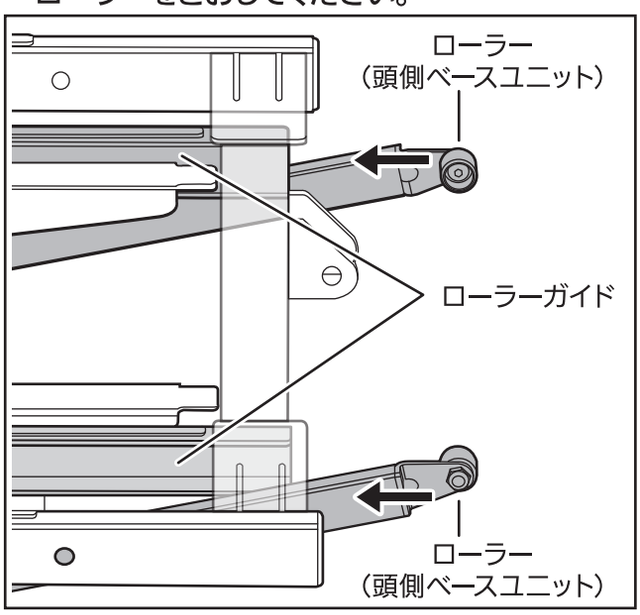
3. ベッドを組み立てる

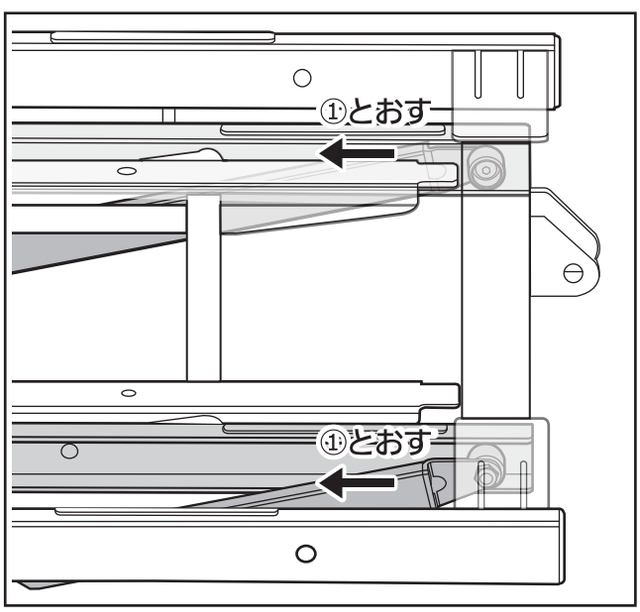
2.フロントユニットを取り付ける



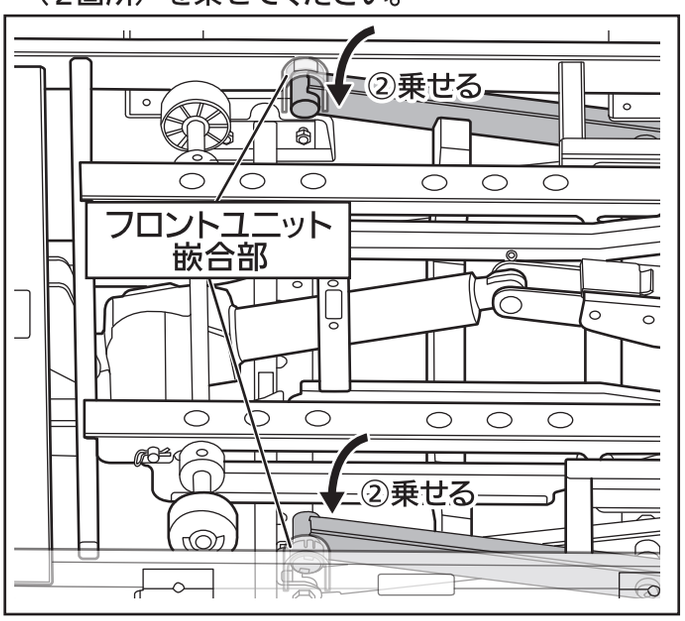
手順 1 で組み立てた頭側ベースユニットのローラーに
ローラーガイドをあわせてください。次にハイロー
キャップにフロントユニットの嵌合部を乗せてください。

①フロントユニットのローラーガイドに
ローラーをとおしてください。

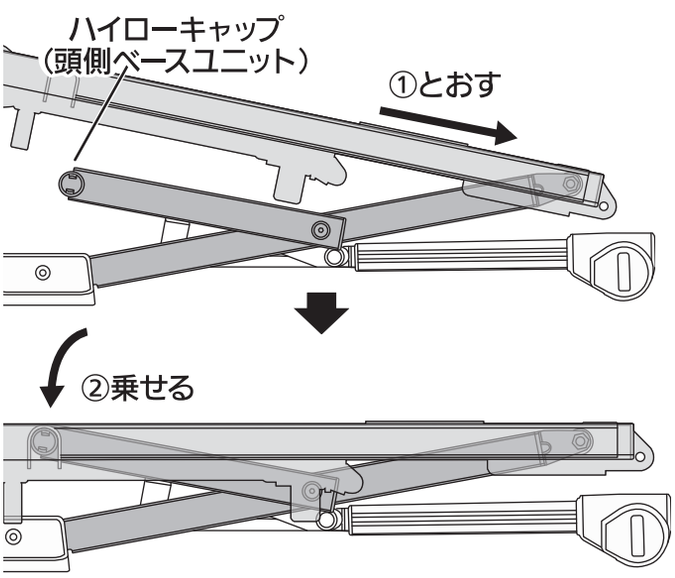




②ハイローキャップ 2 箇所にフロントユニット嵌合部
（2箇所）を乗せてください。



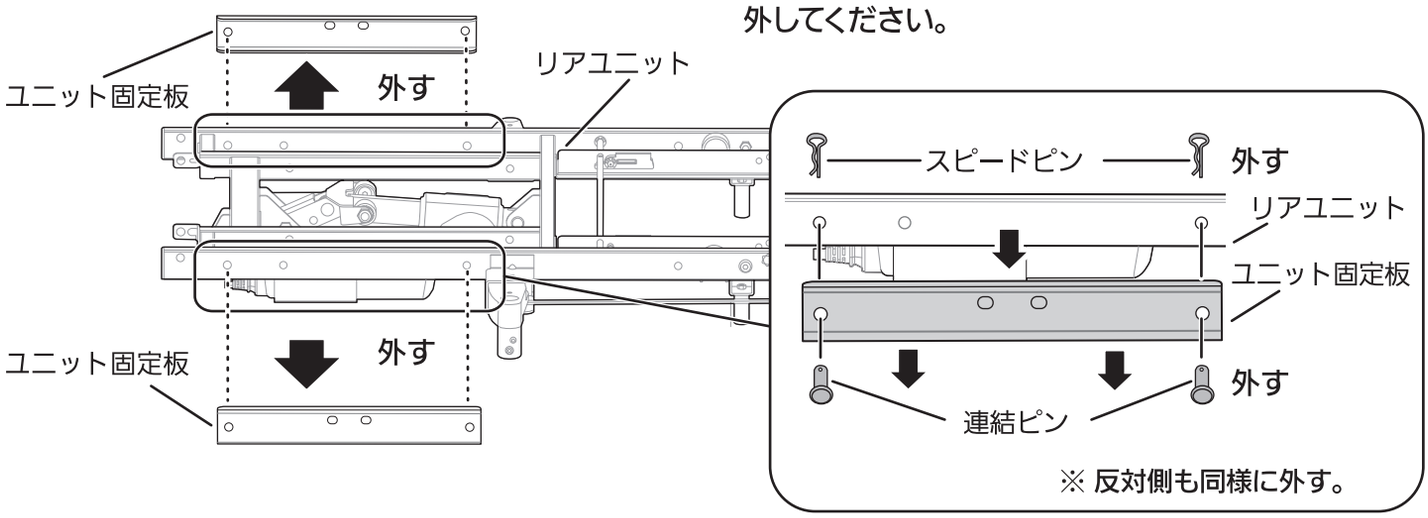
※横から見た場合



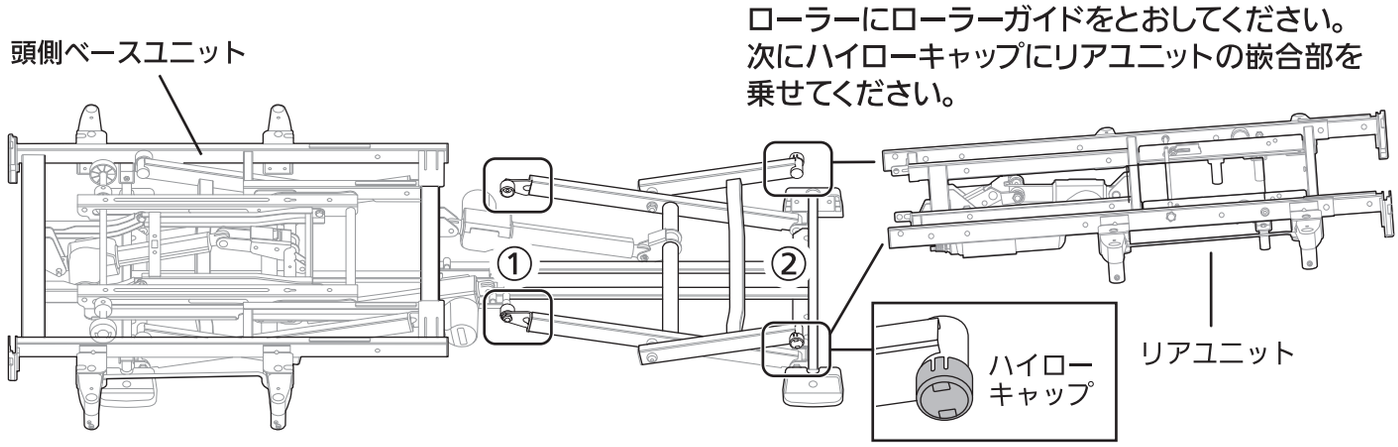
3. ベッドを組み立てる

3.リアユニットを取り付ける

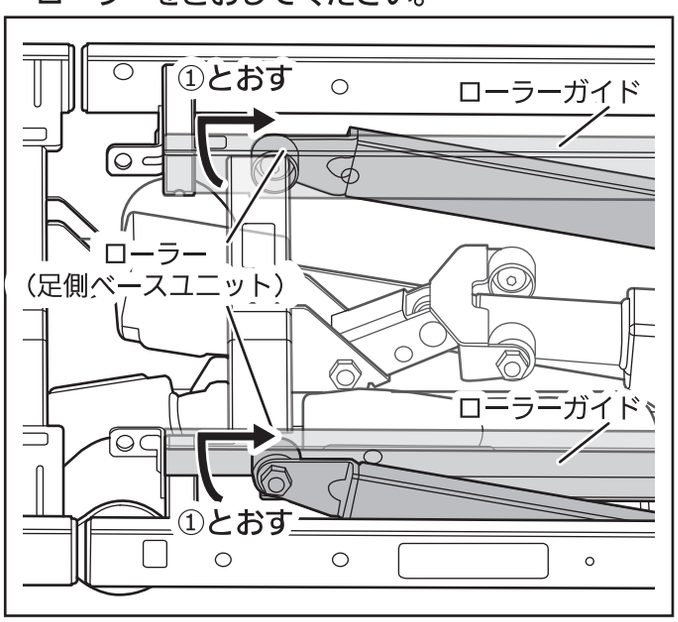
①リアユニットからユニット固定板と、連結ピンを
外してください。



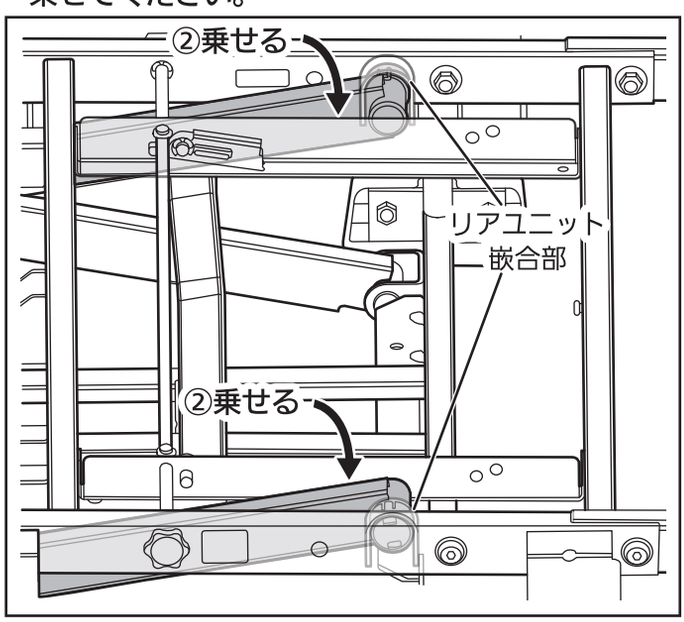
②手順2で組み立てた足側ベースユニットの
ローラーにローラーガイドをとおしてください。
次にハイローキャップにリアユニットの嵌合部を
乗せてください。



リアユニットのローラーガイドに
ローラーをとおしてください。



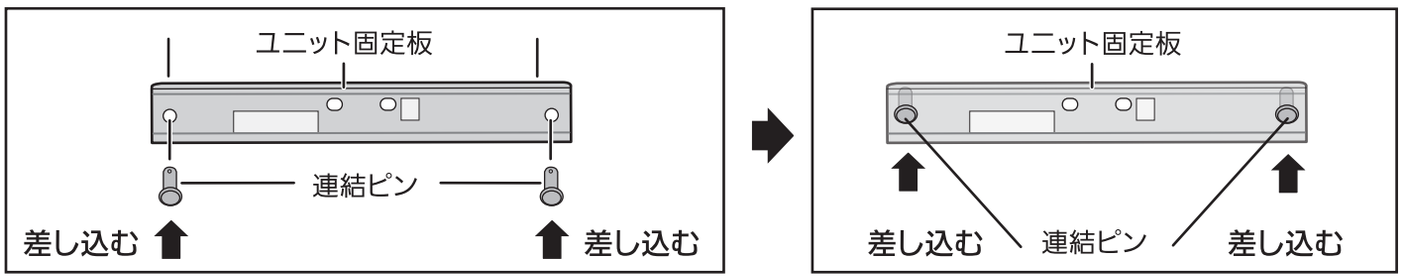
ハイローキャップ（2 箇所）にリアユニット嵌合部を
乗せてください。



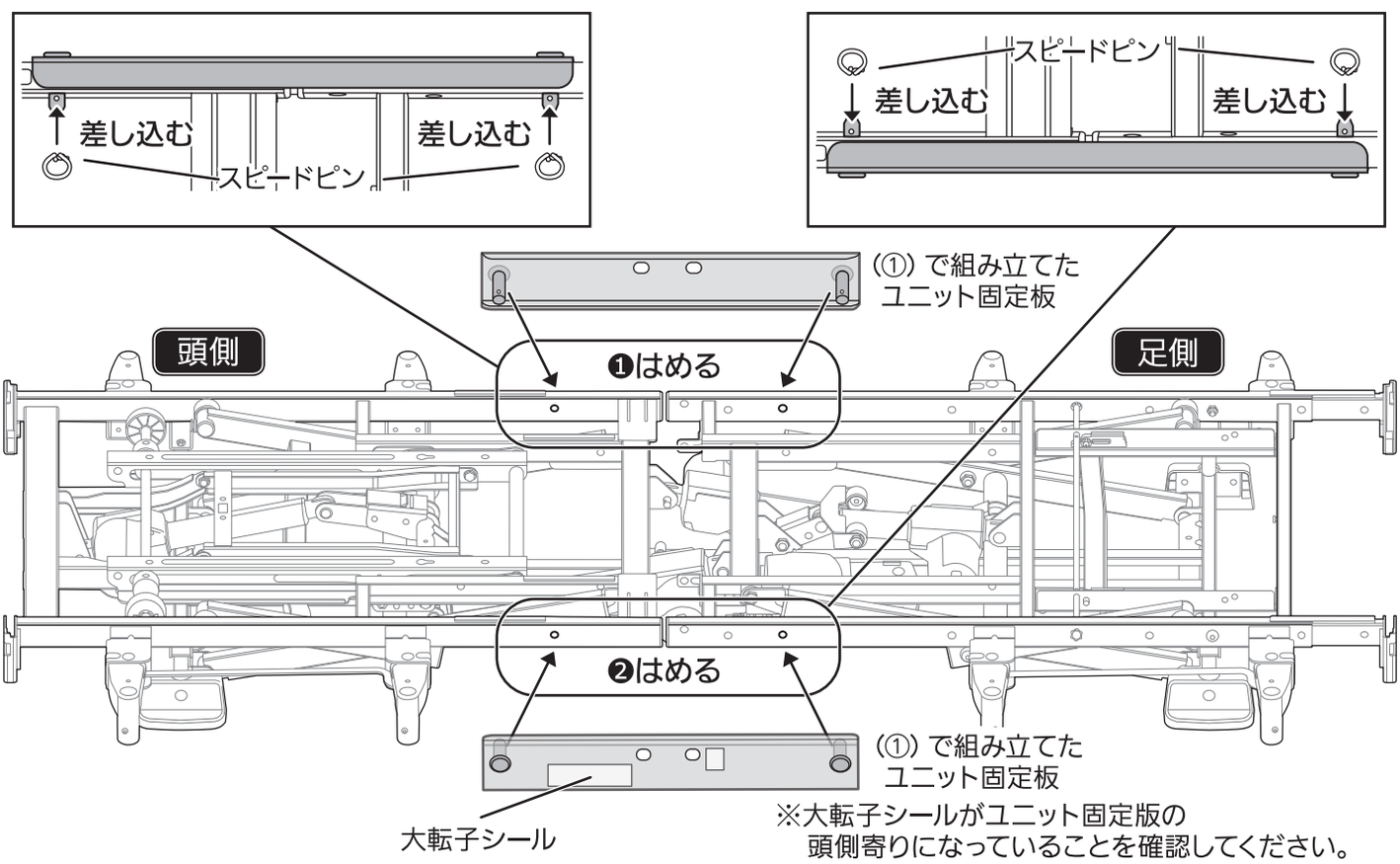
3. ベッドを組み立てる

4.フロント・リアユニットを連結する

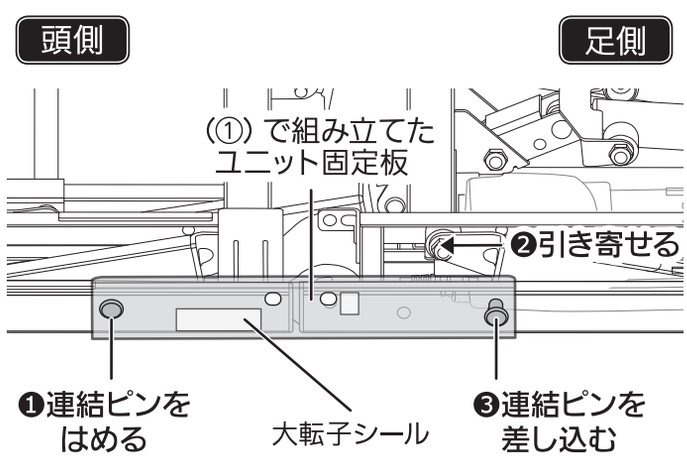
①ユニット固定板に連結ピンを差し込んでください。
（片側2本：計4本）



②ユニット固定板を手順3のユニットにはめ込み、
スピードピンを差し込んでください。



※大転子シールがユニット固定版の
頭側寄りになっていることを確認してください。



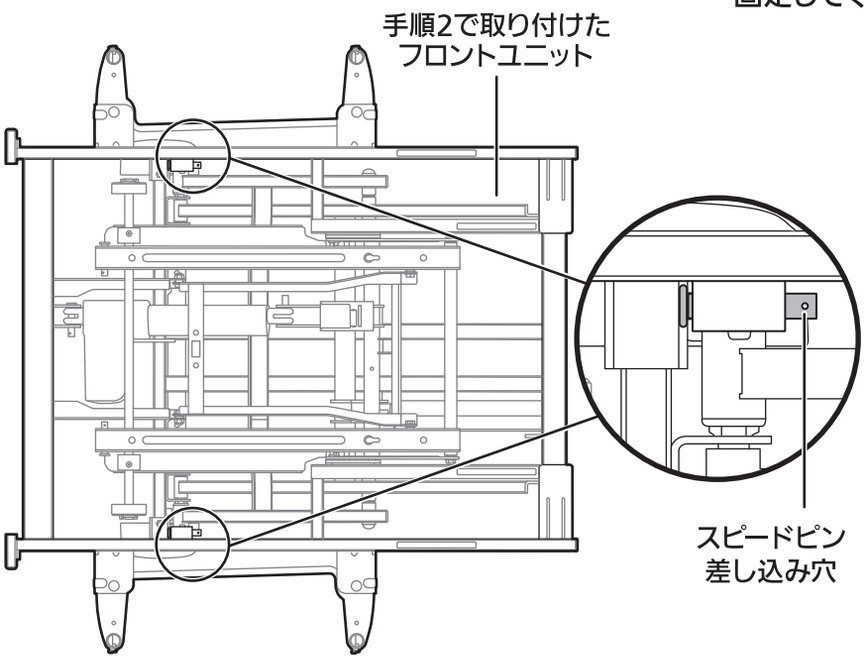
■ユニット固定版と組立ピンがうまくはまらないとき

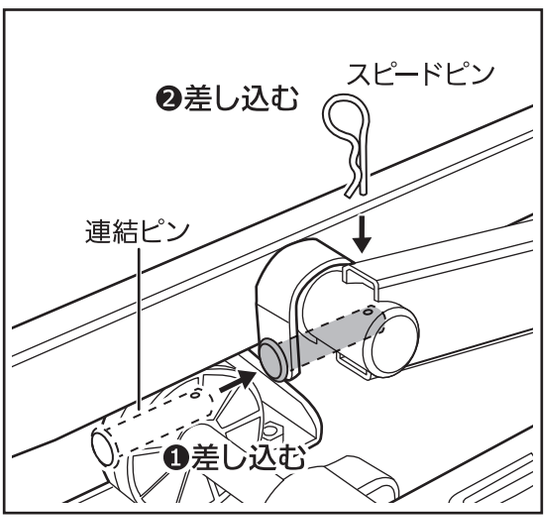
※フロントユニット（もしくはリアユニット）に
ユニット固定板と片側の連結ピンを
取り付けた状態で、もう一片のユニットを
手で引きながら、もう片方のユニット固定版の
連結ピンを押し入れてください。

3. ベッドを組み立てる

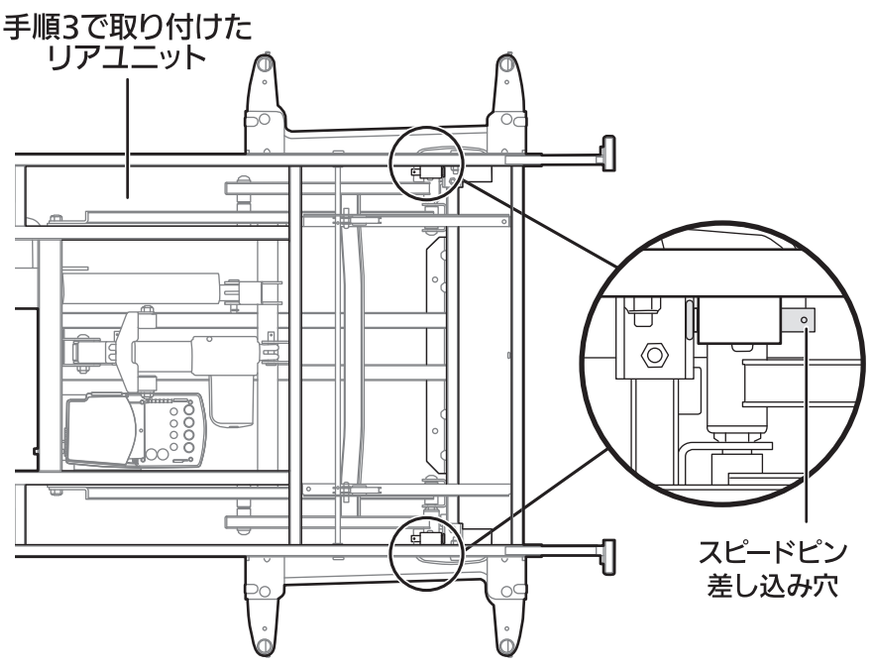
5.フロント・リアユニットとベースユニットを連結する

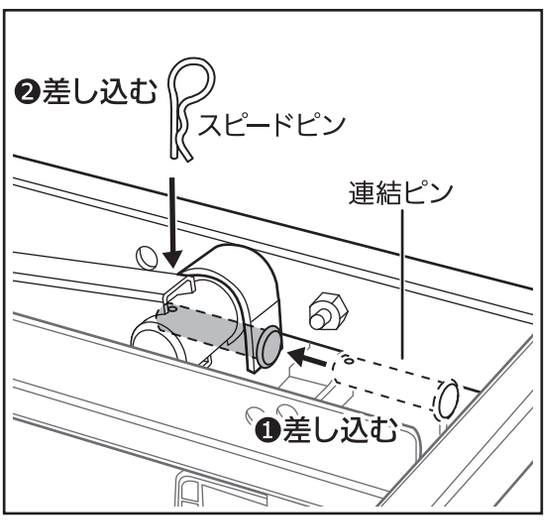
①手順２で取り付けたフロントユニットの嵌合部に、下図のように連結ピンを差し込み、スピードピンで固定してください。（2箇所：計2本）





②手順 3 で取り付けたリアユニットの嵌合部に、下図のように連結ピンを差し込み、スピードピンで固定してください。（2 箇所：計 2 本）

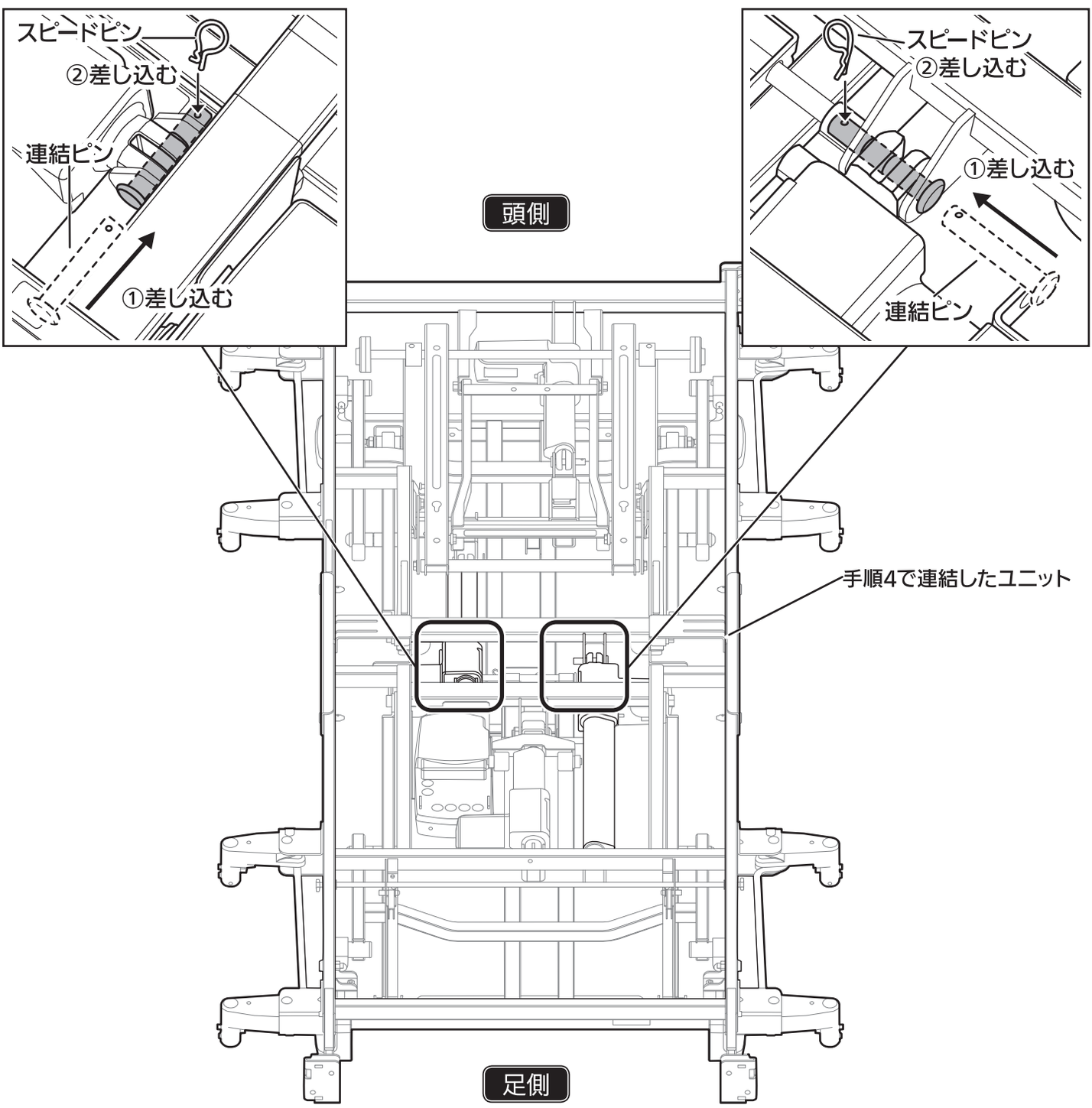




3. ベッドを組み立てる

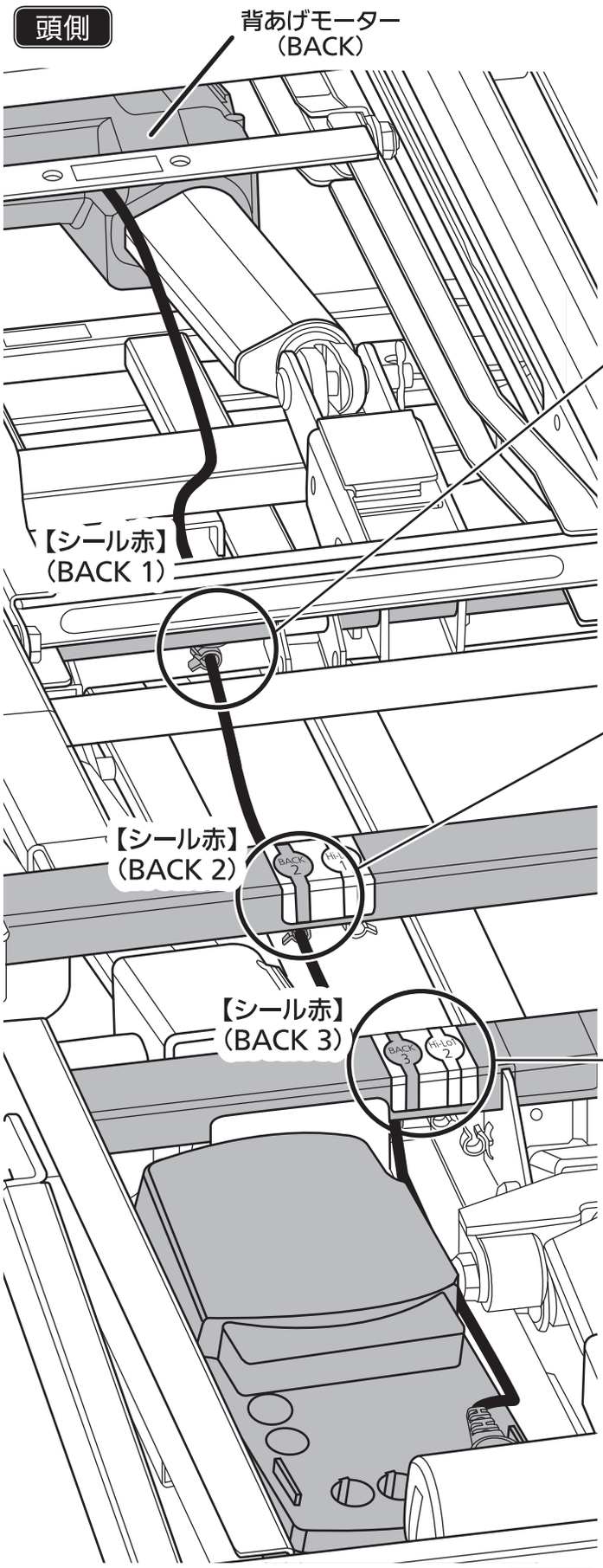
6.昇降モーターを取り付ける

ベースユニットのモーター２本をフロントユニット、
リアユニットに下図のように連結ピンを差し込み、
スピードピンで 固定してください。



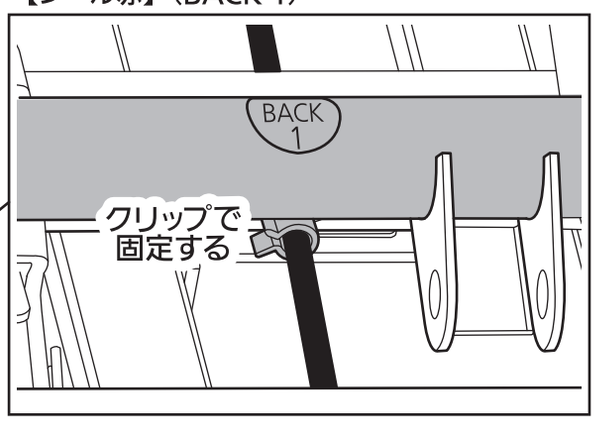
3. ベッドを組み立てる

7.背あげモーターのコードを配線する（BACK）

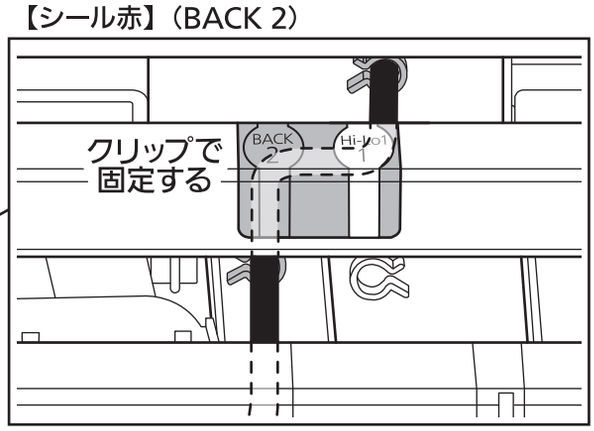


①背あげモーターのコード（BACK）を配線してください。【シール赤】（BACK 1～3）の番号順にコードをクリップで固定してください。

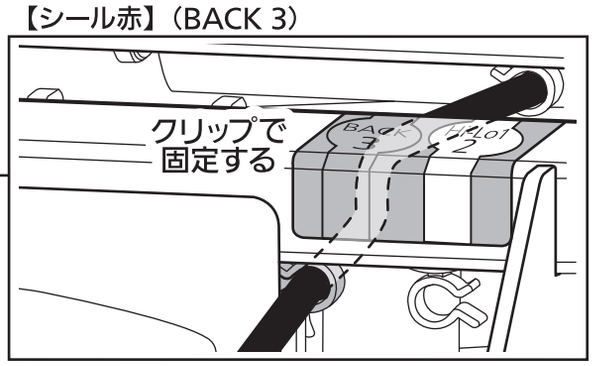
【シール赤】（BACK 1）



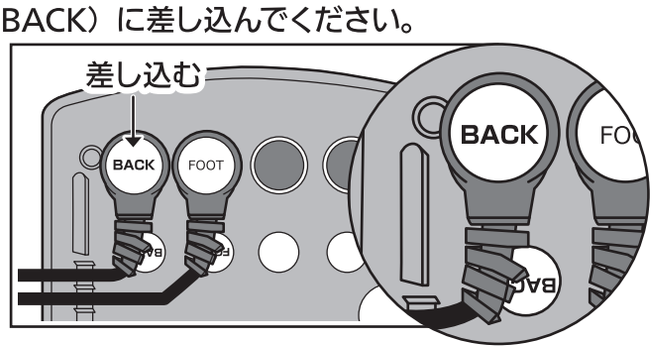
【シール赤】（BACK 2）



【シール赤】（BACK 3）



②（①）で配線した背あげモーター（BACK）のコードのコネクタを電源ボックス側のコネクタ（BACK）に差し込んでください。

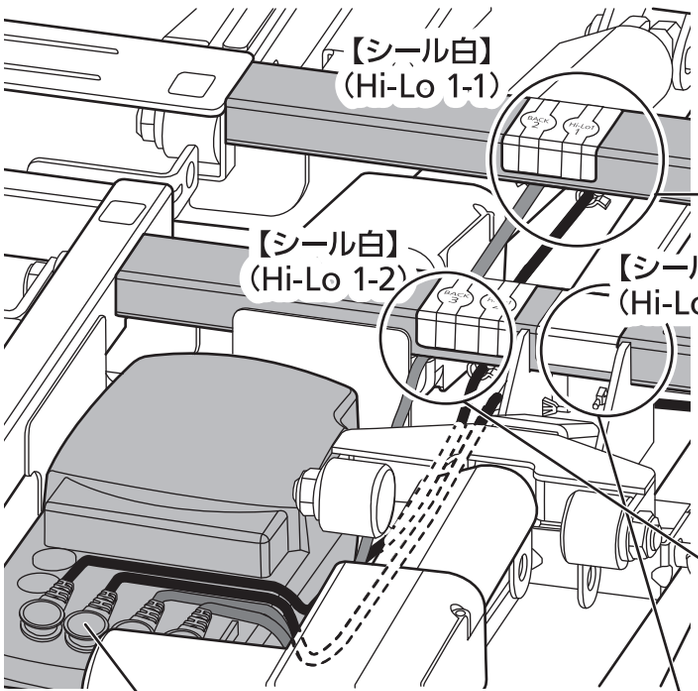


3. ベッドを組み立てる

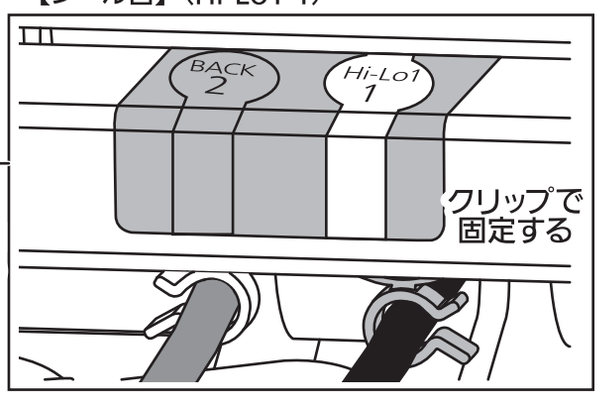
8.昇降モーターのコードを配線する（Hi-Lo1 / Hi-Lo2）

①昇降モーターのコード（Hi-Lo1）【シール白】、
（Hi-Lo2）【ラベル黄】 を番号順に配線してください。

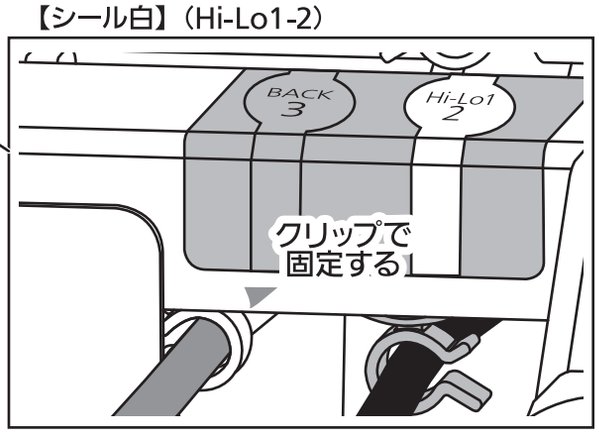
頭側



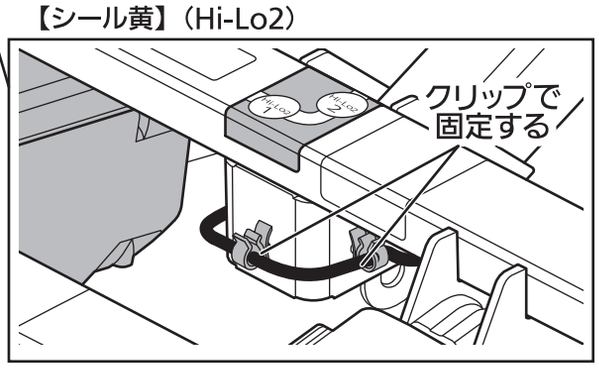
【シール白】（Hi-Lo1-1）



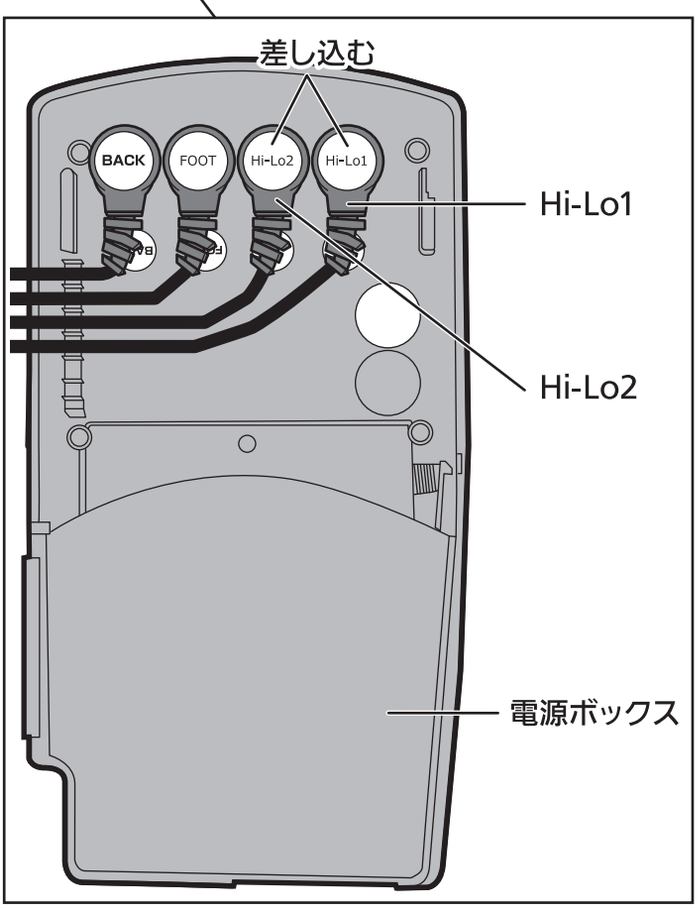
【シール白】（Hi-Lo1-2）



【シール黄】（Hi-Lo2）



足側



②（①）で配線したコードの（Hi-Lo1）（Hi-Lo2）
コネクタを電源ボックス側のコネクタ（Hi-Lo1）
（Hi-Lo2）の 穴に差し込んでください。

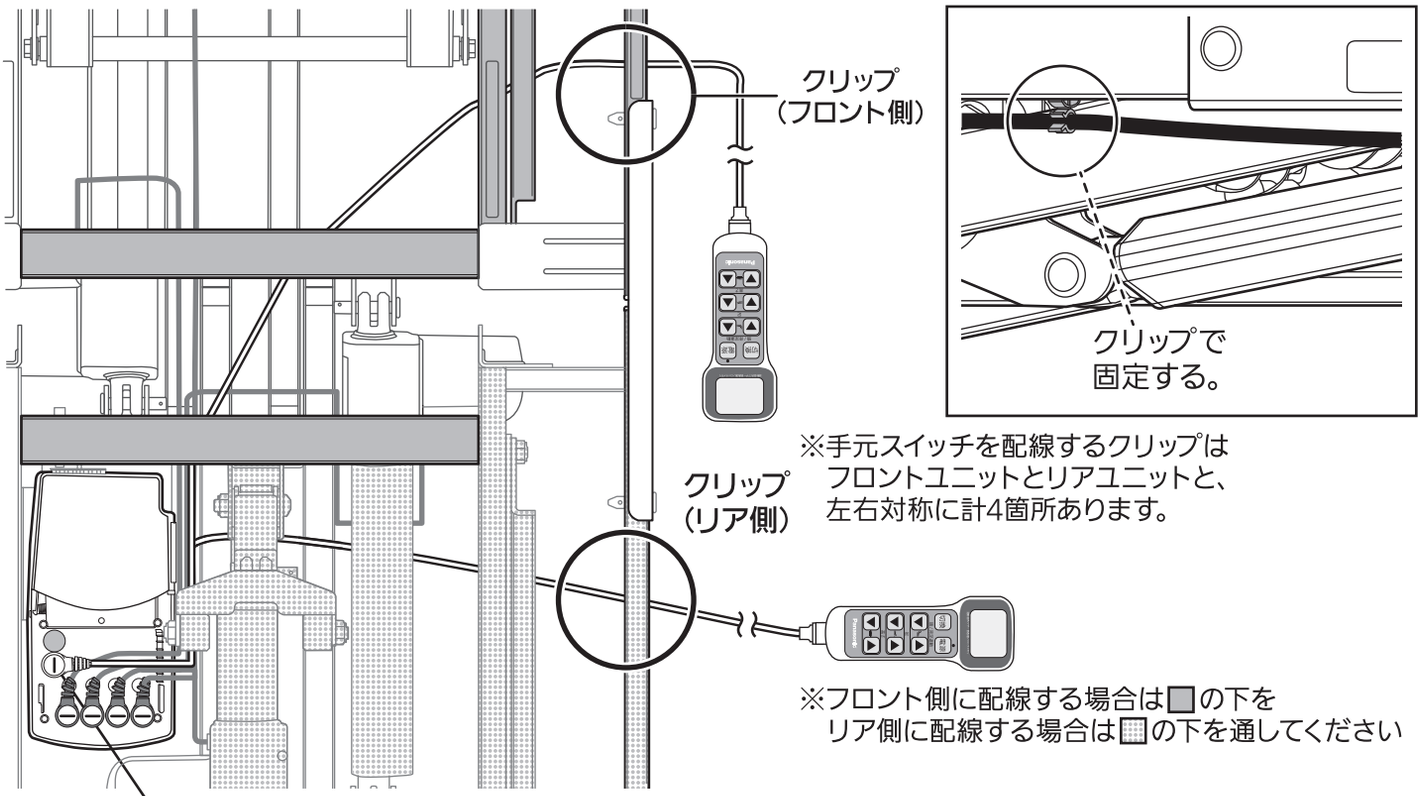
※各モーターのコネクタが奥まで挿入できていることを
確認してください。

3. ベッドを組み立てる

9.手元スイッチのコードを配線する

頭側

①手元スイッチのコードを配線してください。

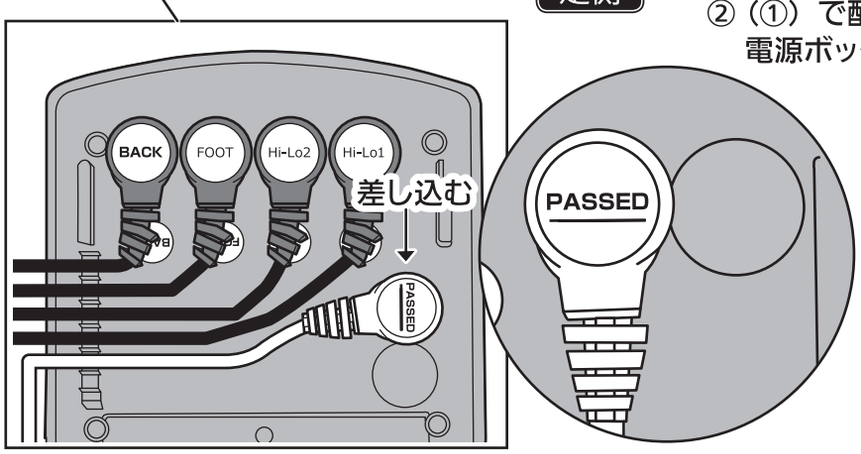


※手元スイッチを配線するクリップは
フロントユニットとリアユニットと、
左右対称に計4箇所あります。

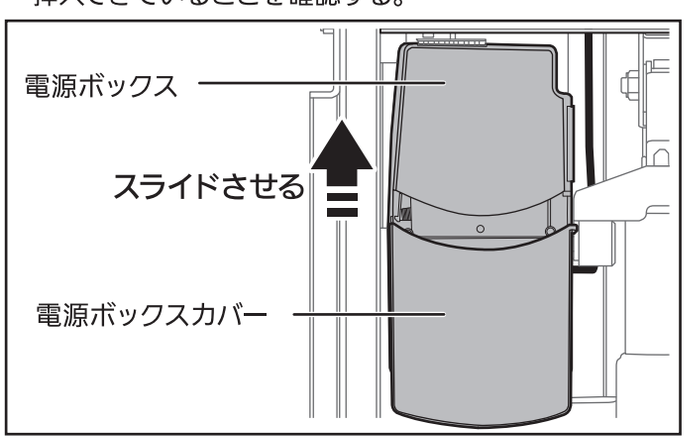
※フロント側に配線する場合は■の下を
リア側に配線する場合は▦の下を通してください

足側

②（①）で配線したコードのコネクタを左図の
電源ボックスの位置に差し込んでください。



※各モーターのコネクタが奥まで
挿入できていることを確認する。



③すべての配線が完了したことを確認し、電源ボックス
に電源ボックスカバーを取り付けてください。

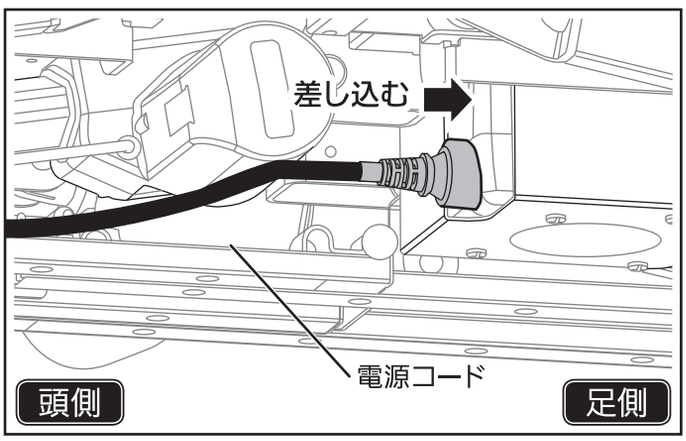
3. ベッドを組み立てる

10.電源コードを配線する

⚠ 警告

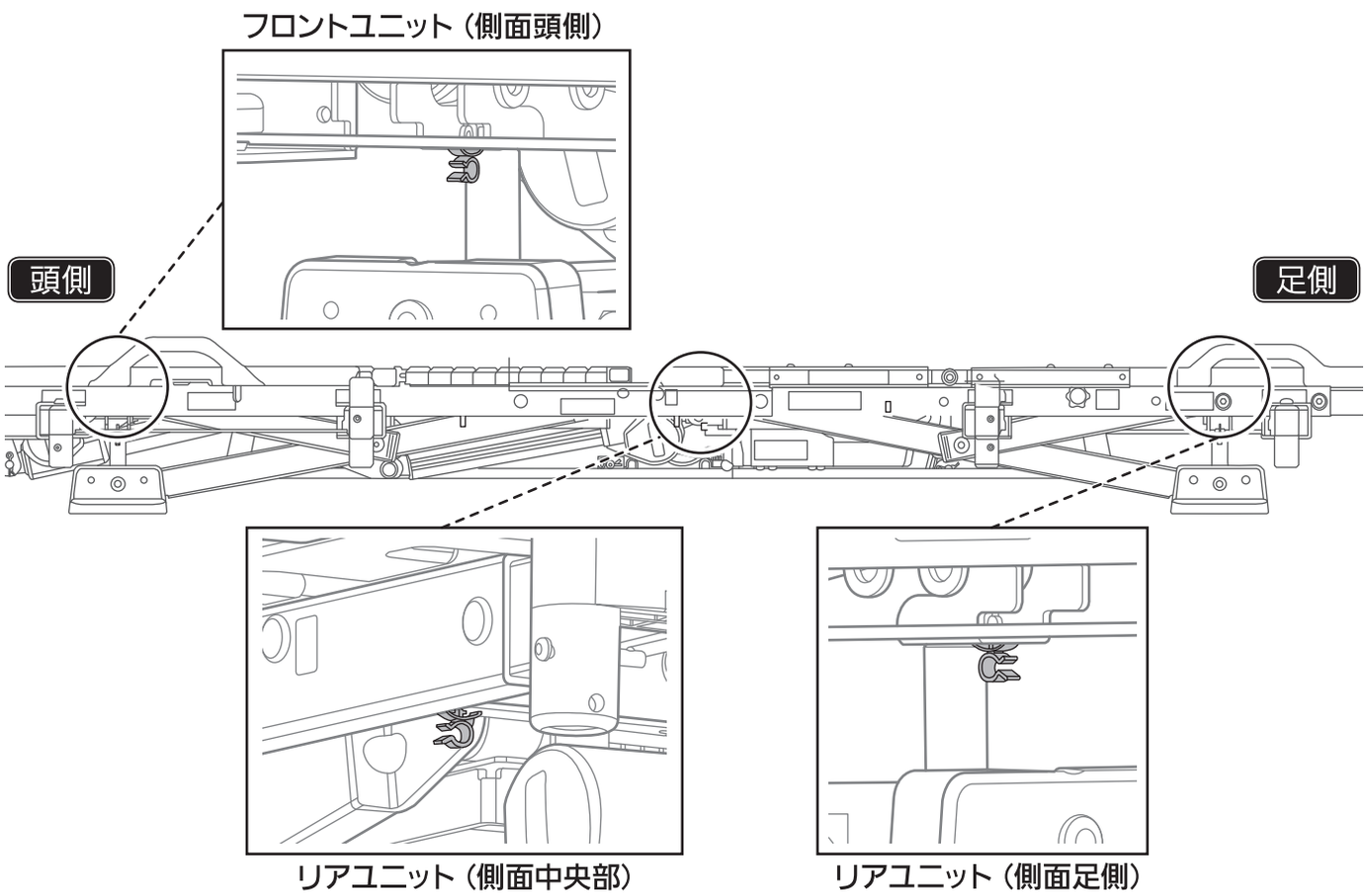
必ず守る

■電源コードは正しく配線する
■電源コードは、ベッド内部の可動部に入り込まないように配線する
■電源コードは、脚座やキャスターなどで踏まないように配線する
■電源コードは、ベッドの高さを一番上まであげた状態でも突っ張らないように配線する
以上のことを守らないと電源コードが破損して、感電・火災の原因となります。



電源コードを配線してください。
（電源コードはカチッと音がするまで、しっかり差し込んでください。）
（出荷時には電源コードは、電源ボックスに接続されています。）

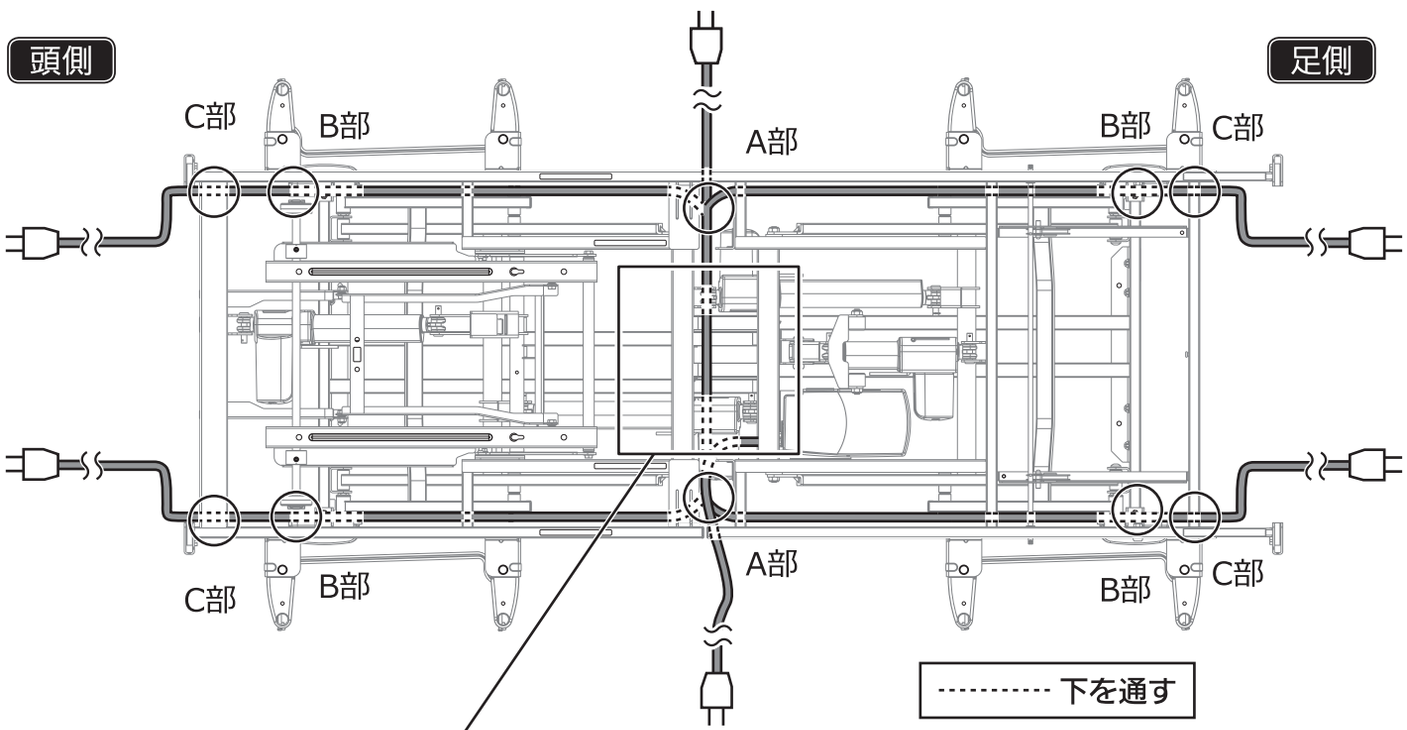
※下図の位置に電源コードの配線クリップがあります。
配線する方向を決めて、配線してください。
（次ページ参照）
※反対側も同じ位置に配線クリップがあります。

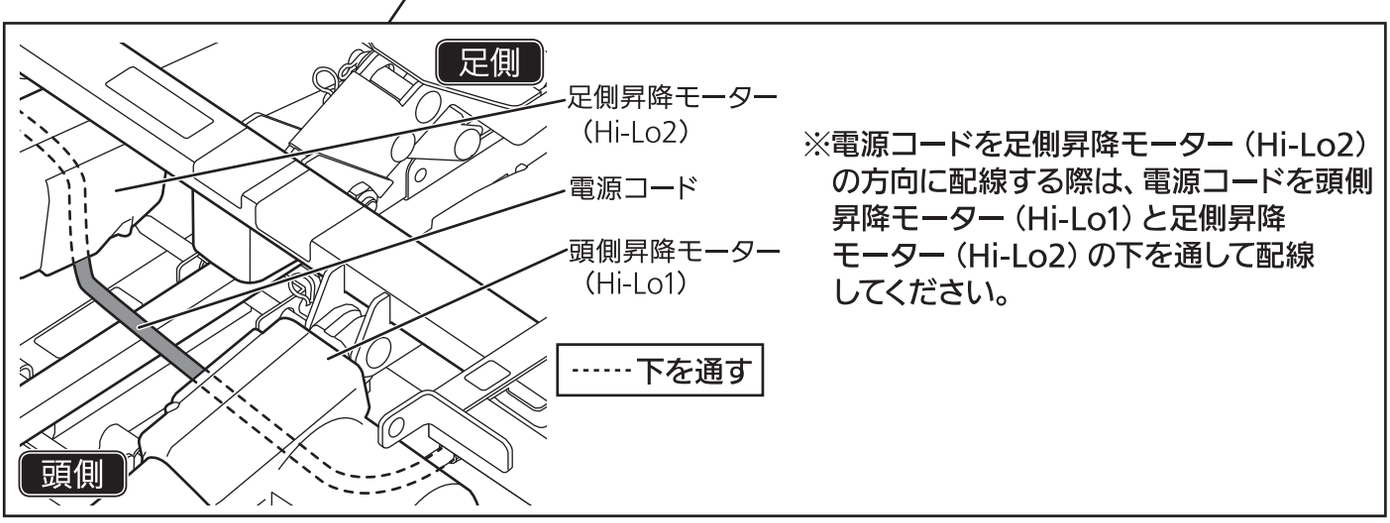


3. ベッドを組み立てる

※電源コードを配線する方向は、ベッドの設置場所にあわせて決めてください。
※電源コードを出す向きにあわせて、『A部』⇒『B部』⇒『C部』の順番で配線クリップに固定してください。

・ベッド中央側面にコンセントがある場合は、『A部』のみ固定してください。
・C部には配線クリップはありません。
　ベースユニットの高さモーターのコード固定に使用している着脱式ケーブルバンドをはずして、
　『C部』のフレームに電源コードを着脱式ケーブルバンドで固定してください。

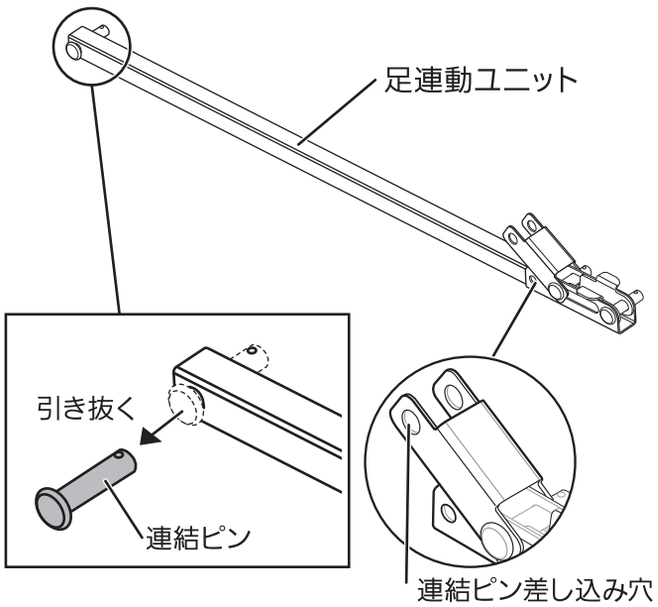




※電源コードを足側昇降モーター（Hi-Lo2）の方向に配線する際は、電源コードを頭側昇降モーター（Hi-Lo1）と足側昇降モーター（Hi-Lo2）の下を通して配線してください。

3. ベッドを組み立てる

11.足連動ユニットを取り付ける（2モーションタイプのみ）

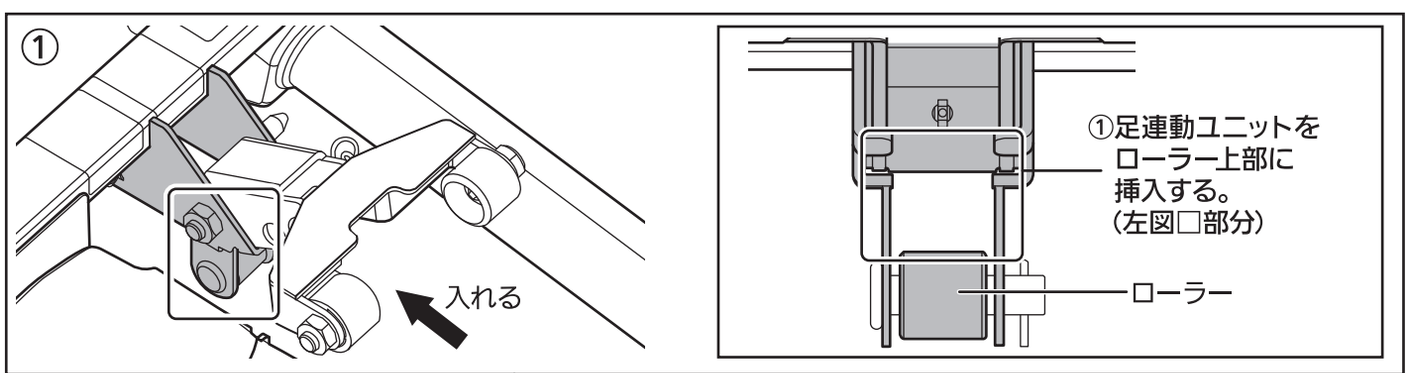


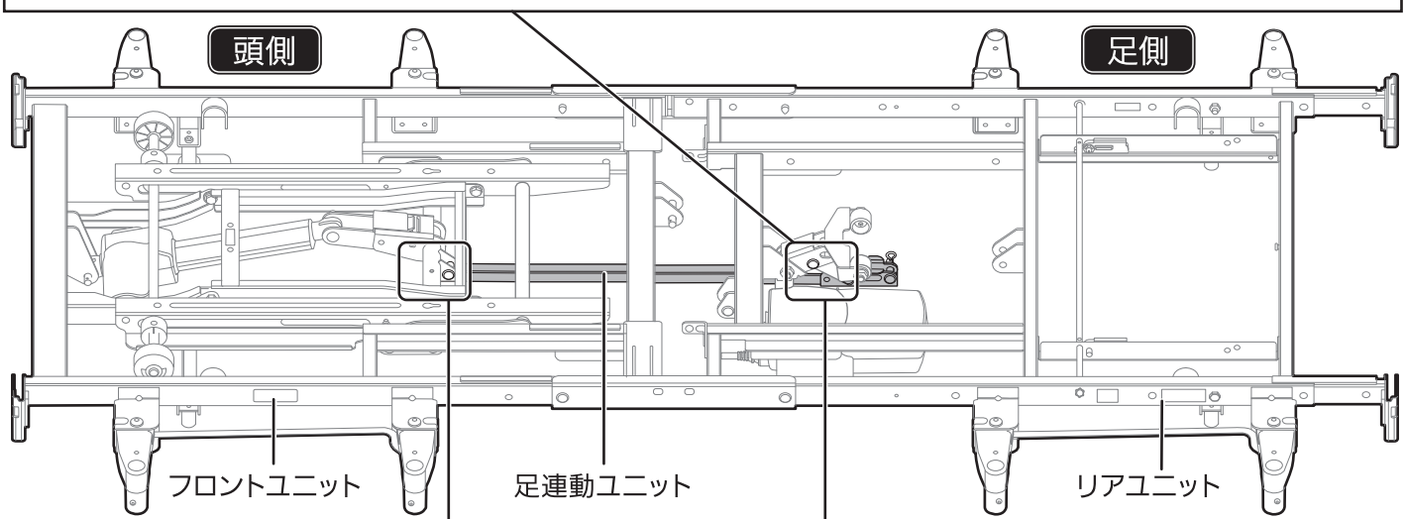
※足連動ユニットの取り付けは2モーションタイプのみの作業です。
※足連動ユニットはベッドの配線を先に行い、高さを約40cmにあげた状態で組み立ててください。
※足連動ユニットを取り付ける前に、足連動ユニットから（左図参照）連結ピンを取り外してください。

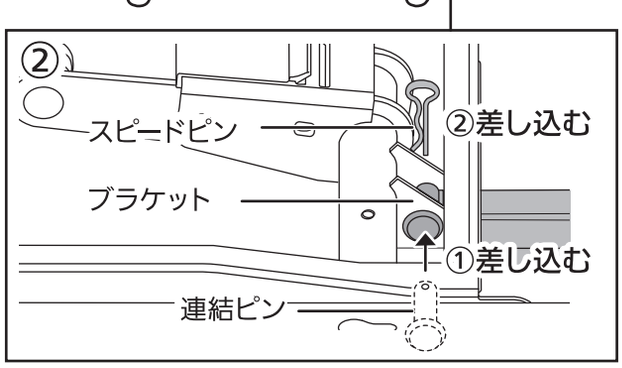
①足連動ユニットを、リアユニット側から挿入してしてください。

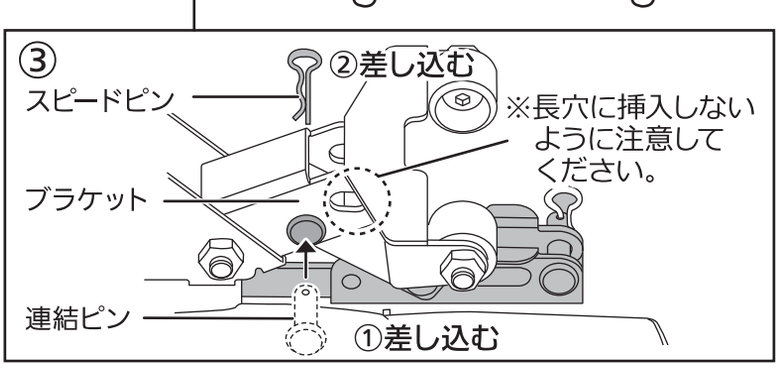
②フロントユニット連結部に連結ピンを挿入し、スピードピンで固定してください。

③リア連結部分に連結ピンを挿入し、スピードピンで固定してください。





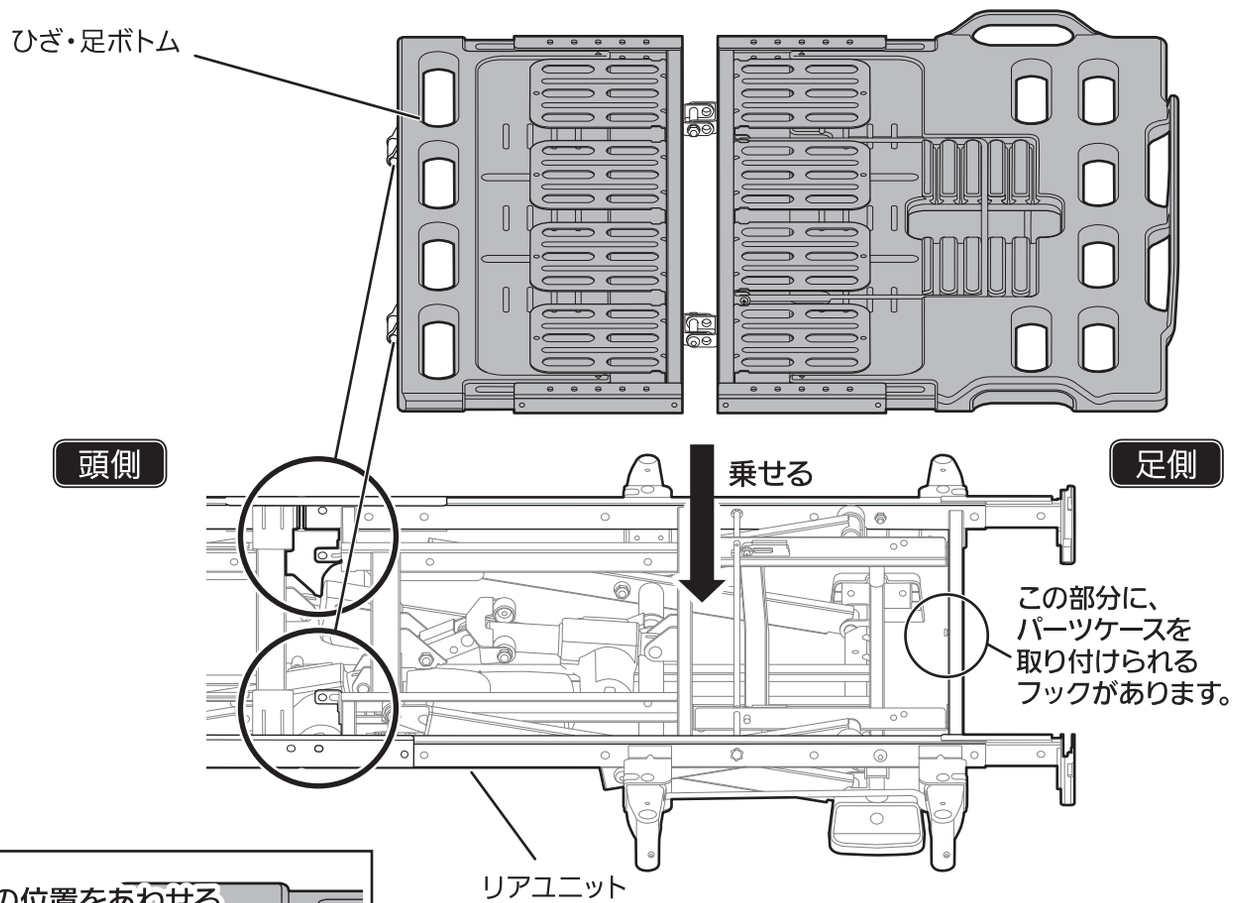


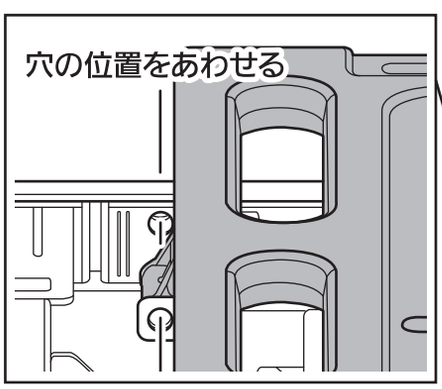


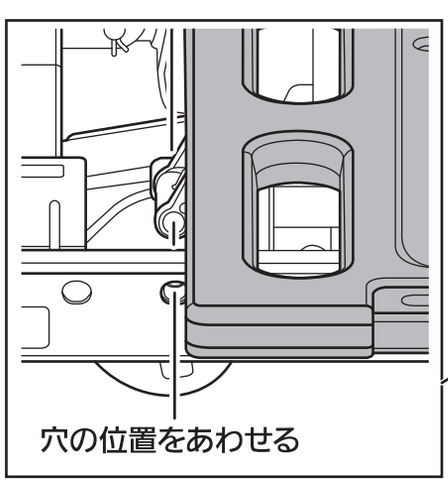
3. ベッドを組み立てる

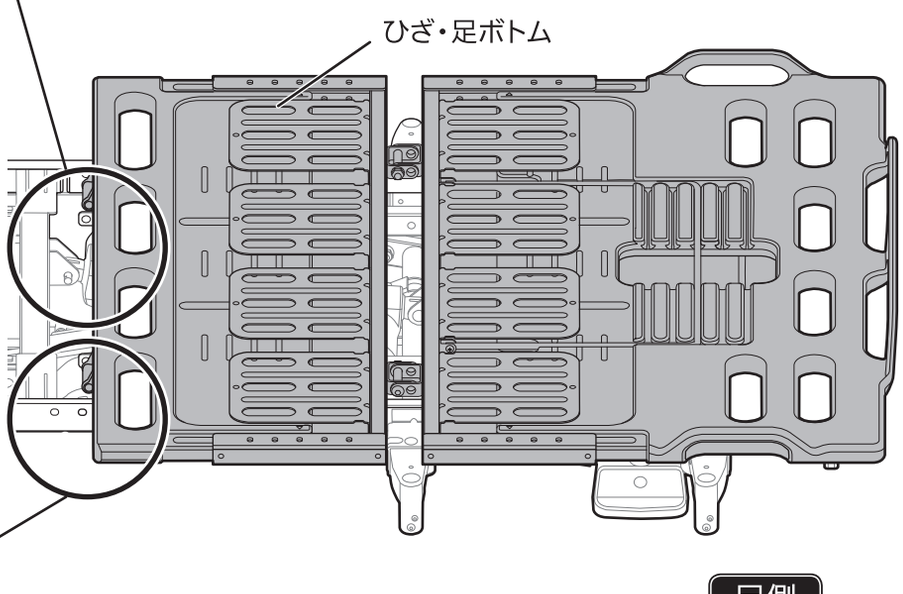
12.ひざ・足ボトムを取り付ける

ひざ・足ボトムを下図のようにリアユニットの
組立ピン取付穴にあわせて乗せてください。



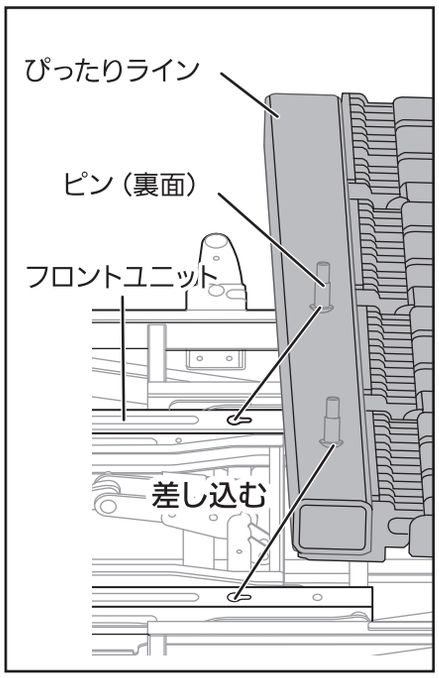






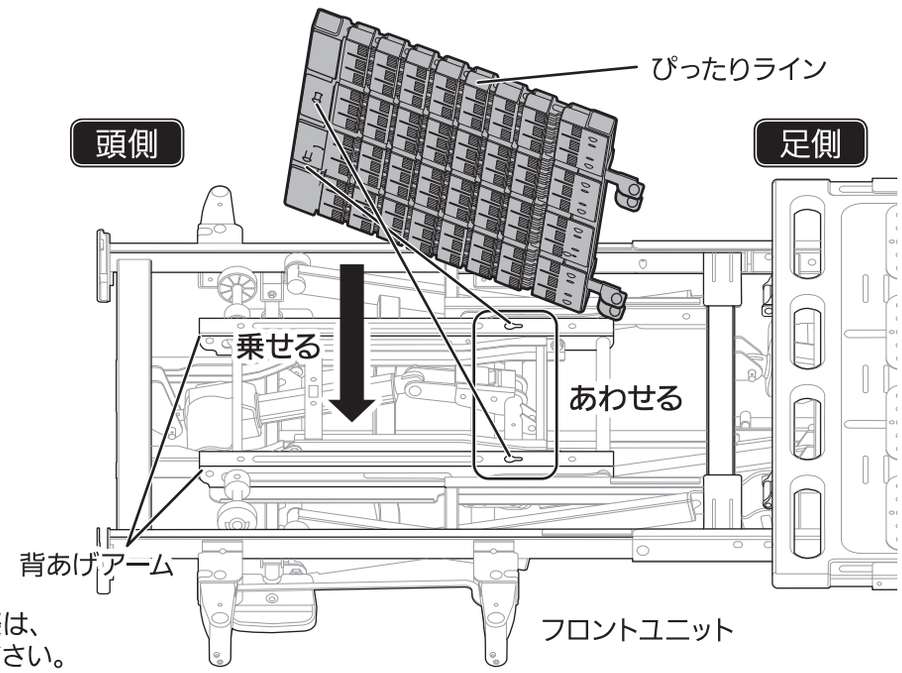
3. ベッドを組み立てる

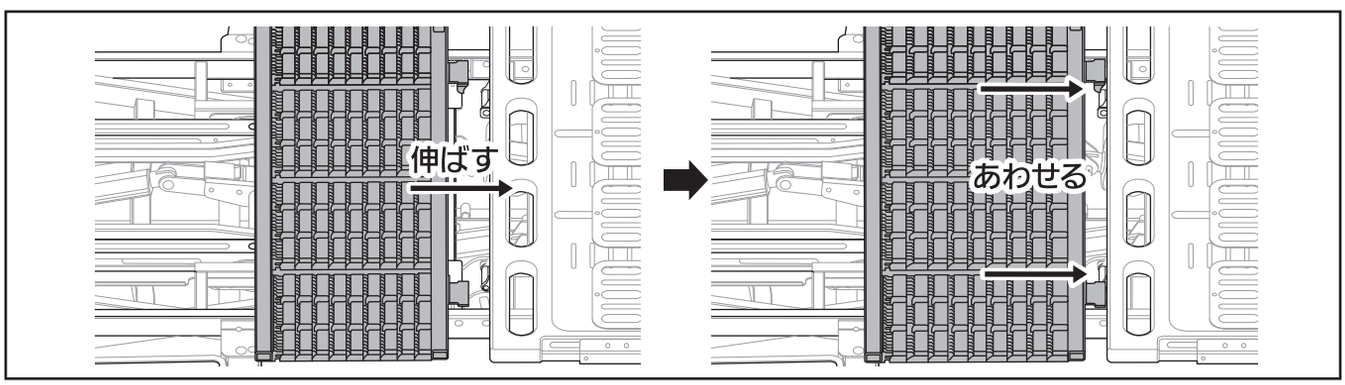
13.ぴったりラインを取り付ける

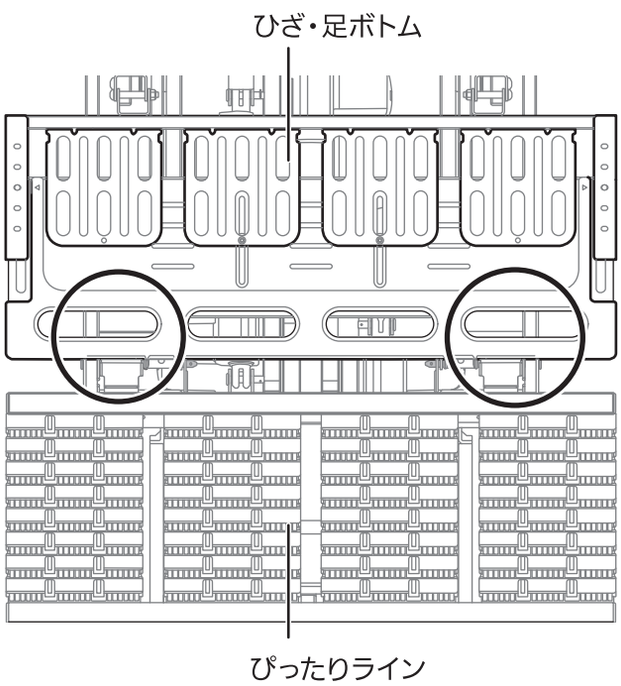


※ぴったりラインのピンを差し込む際は、
背あげアームを少し持ちあげてください。

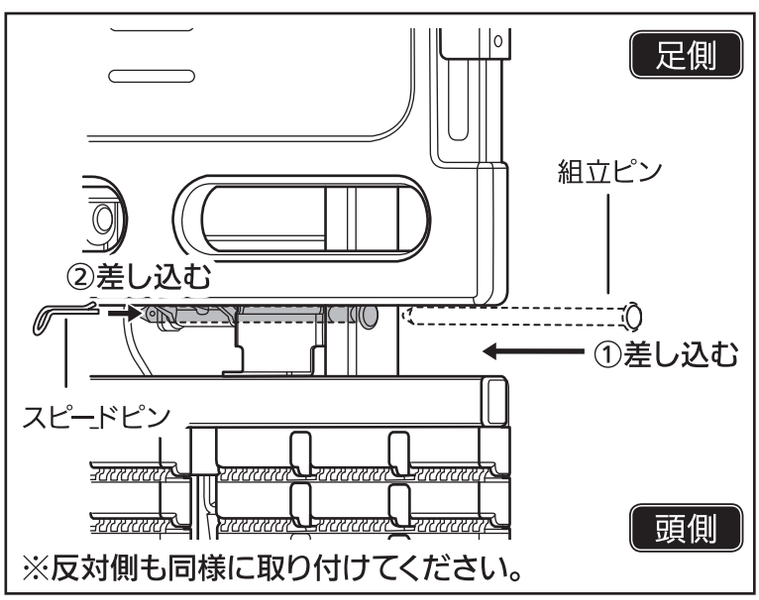
①ぴったりライン裏面のピンと、リアユニットを下図のように
あわせてフロントユニットに乗せてください。







②取り付けたひざ・足ボトムとぴったりラインに
組立ピンを差し込み、スピードピンで固定してください。

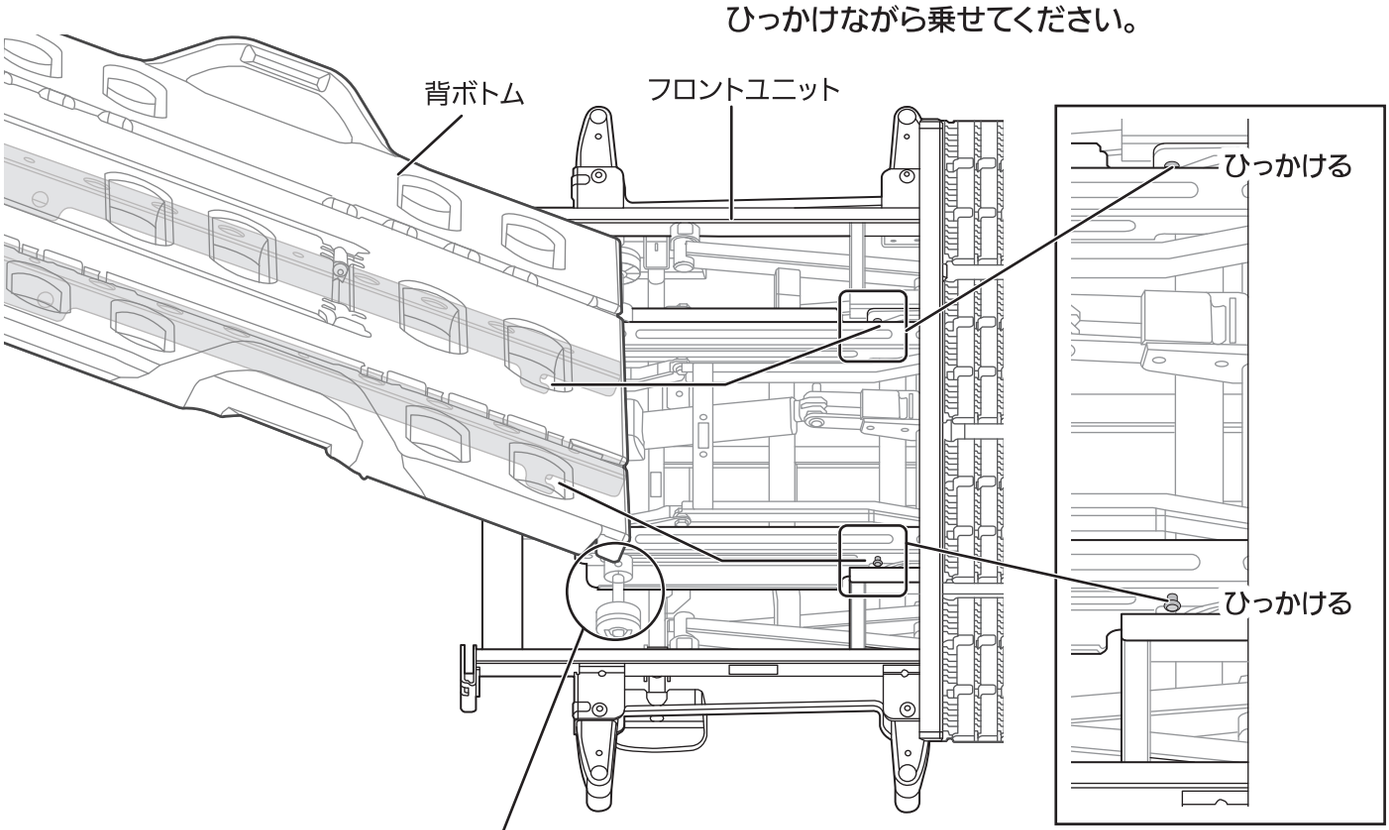


※反対側も同様に取り付けてください。

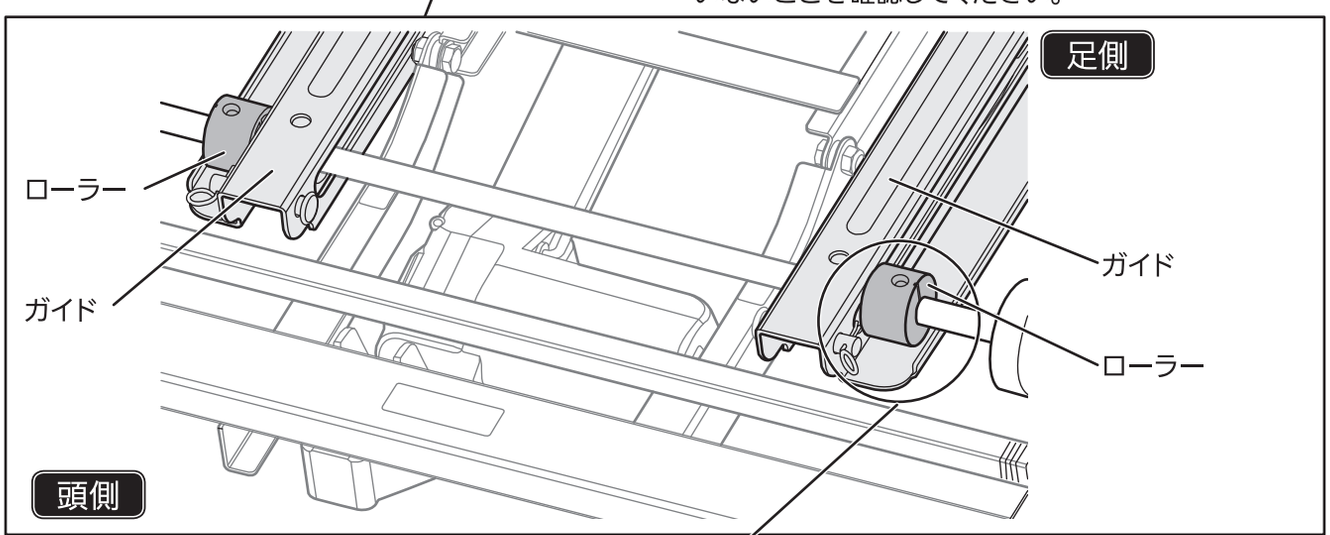
3. ベッドを組み立てる

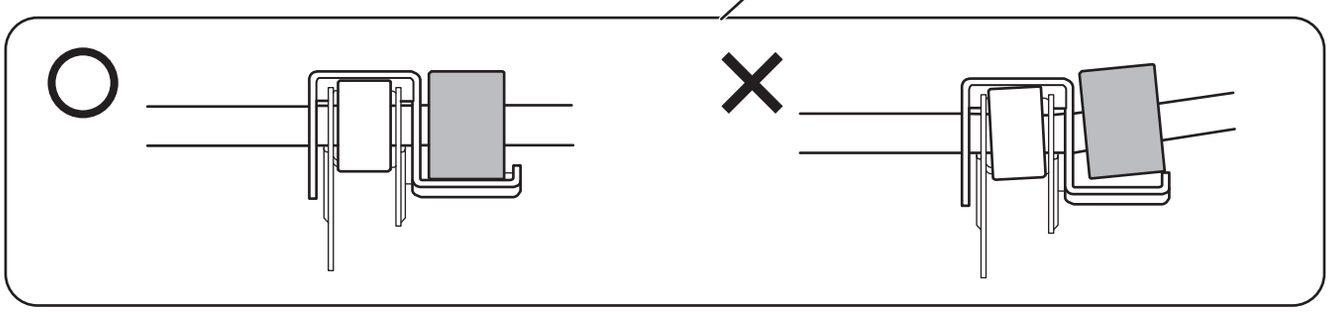
14.背ボトムを取り付ける

①背ボトムをフロントユニット（下図参照）のピンに
ひっかけながら乗せてください。



※ フロントユニットのガイドにローラーが乗りあげて
いないことを確認してください。

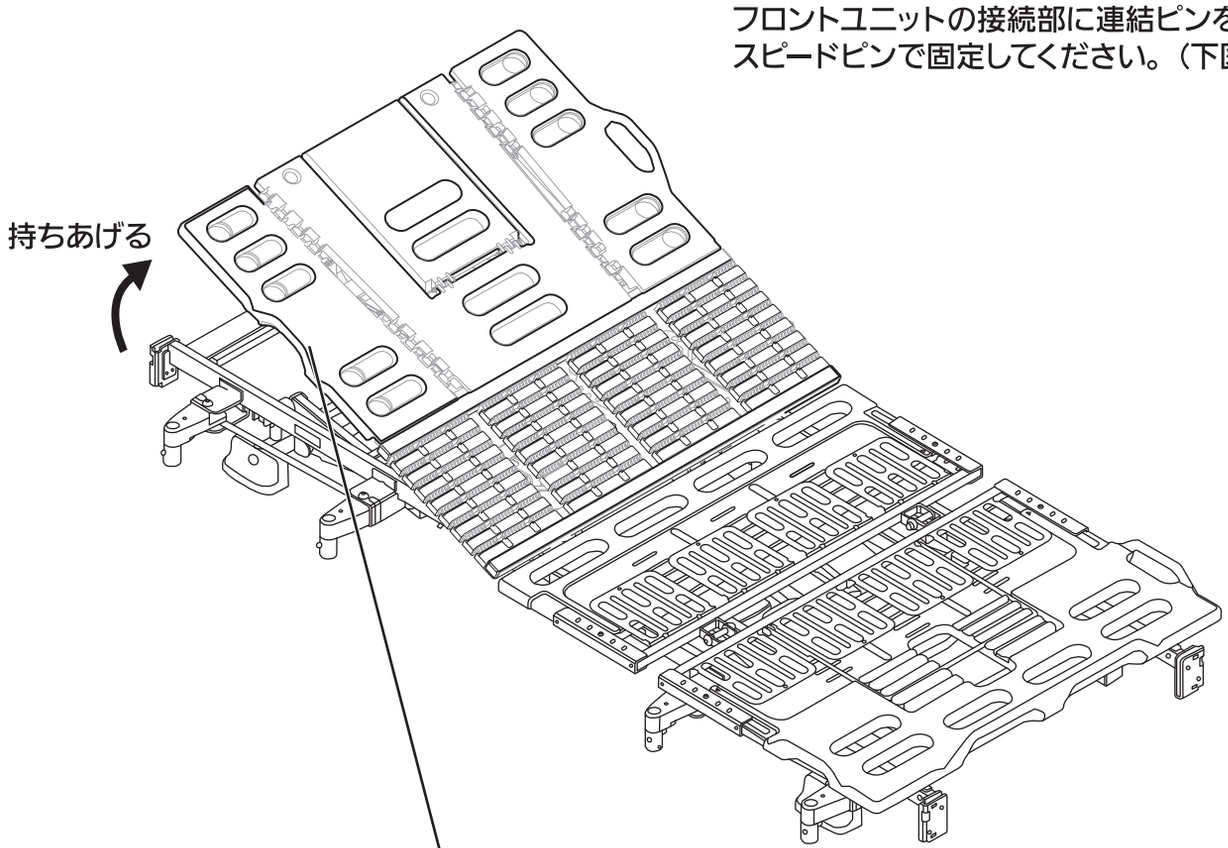


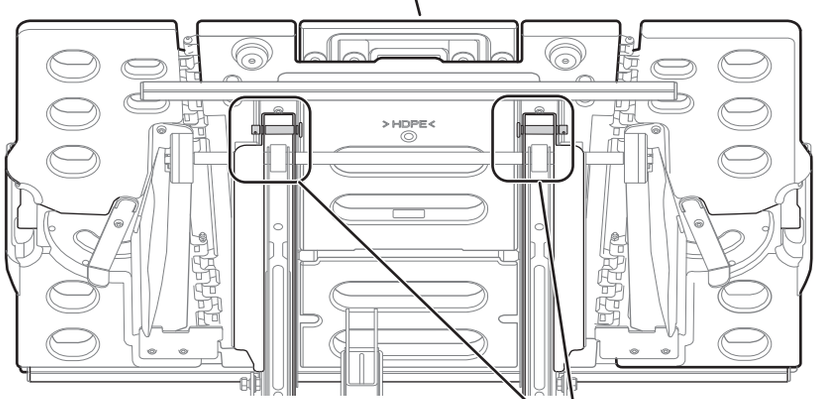


3. ベッドを組み立てる

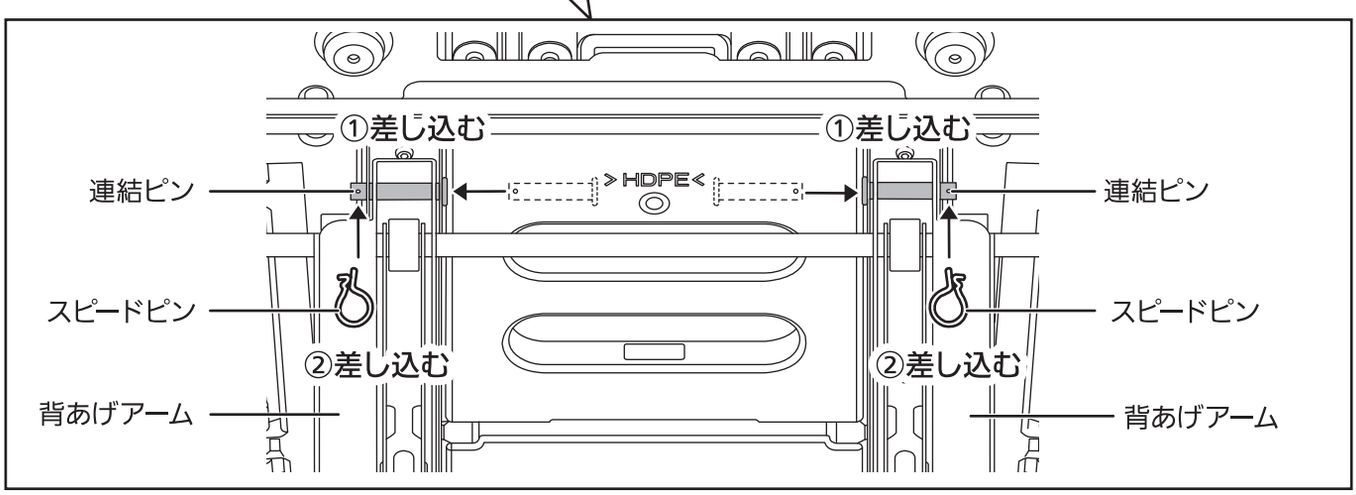
14.背ボトムを取り付ける

②背あげアームを持ちあげ、裏面にある背あげアームと
フロントユニットの接続部に連結ピンを差し込み、
スピードピンで固定してください。（下図参照）





背ボトム裏面



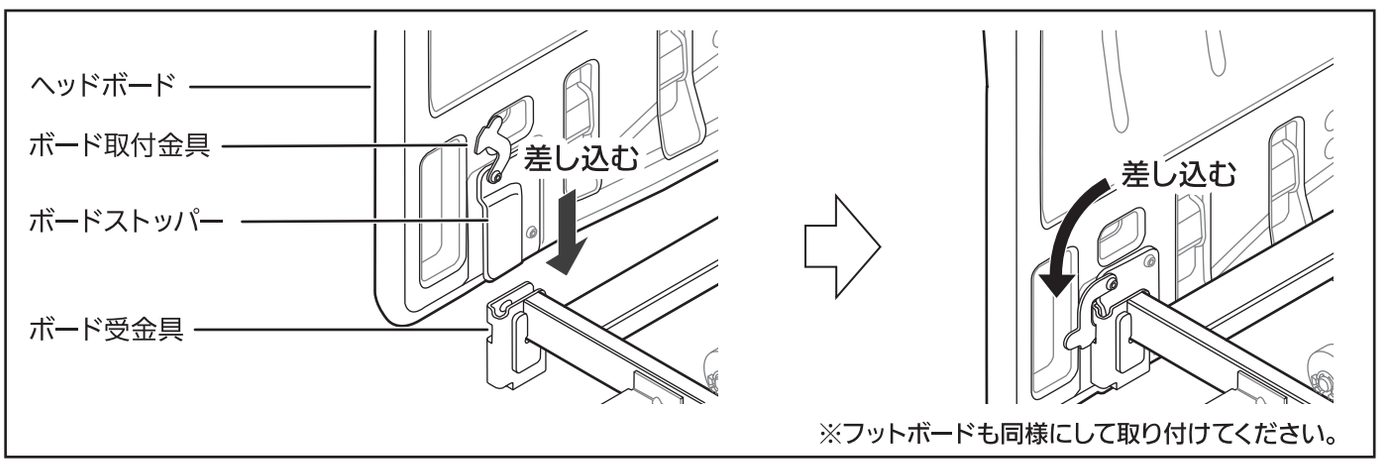
3. ベッドを組み立てる

15.ボードを取り付ける

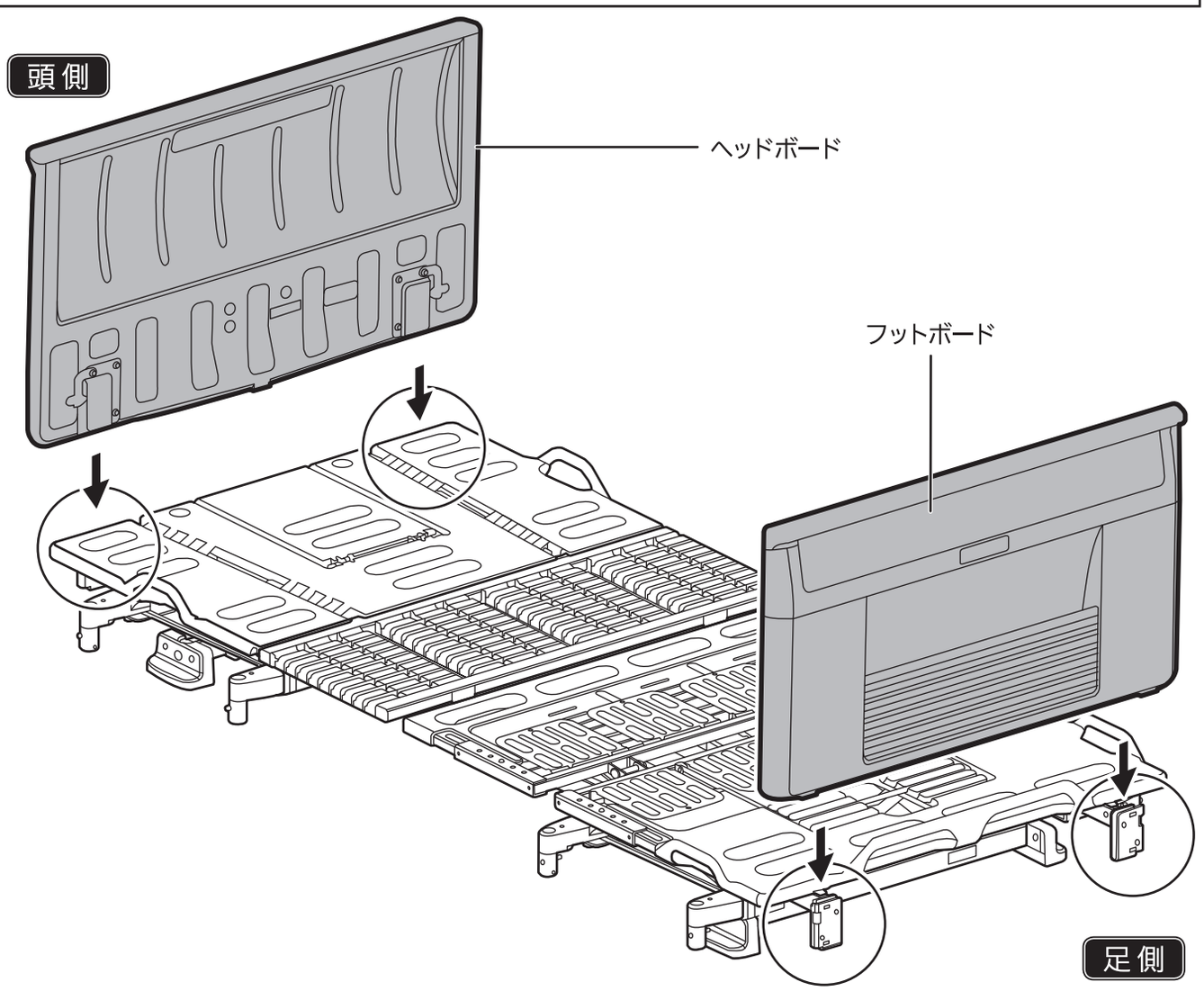
①ヘッドボード（フットボード）のボード取付金具をベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差し込んでください。

②ヘッドボード（フットボード）のボードストッパーを下図のように差し込んでください。

③ボードストッパーがボード受金具に確実に掛かっていることを確認してください。

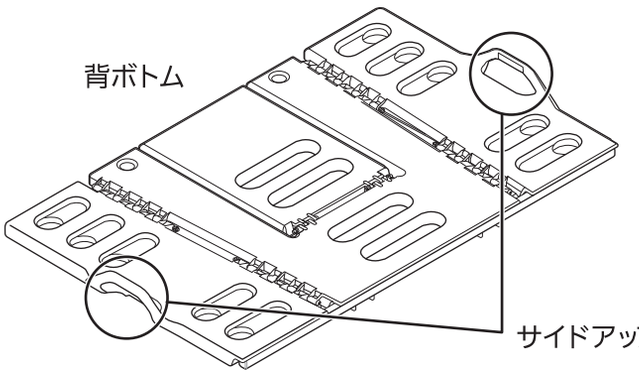


※フットボードも同様にして取り付けてください。

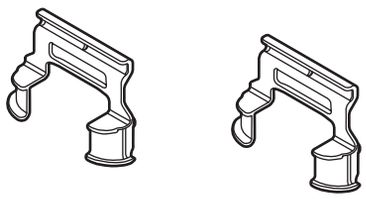


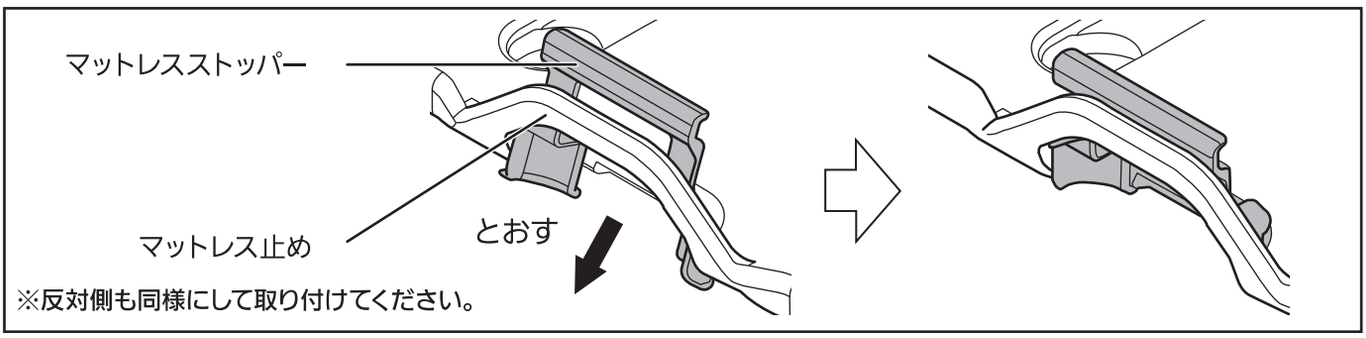
3. ベッドを組み立てる

16.マットレスストッパーを取り付ける



マットレスストッパーをサイドアップボトムの
マットレス止め2箇所に取り付けてください。

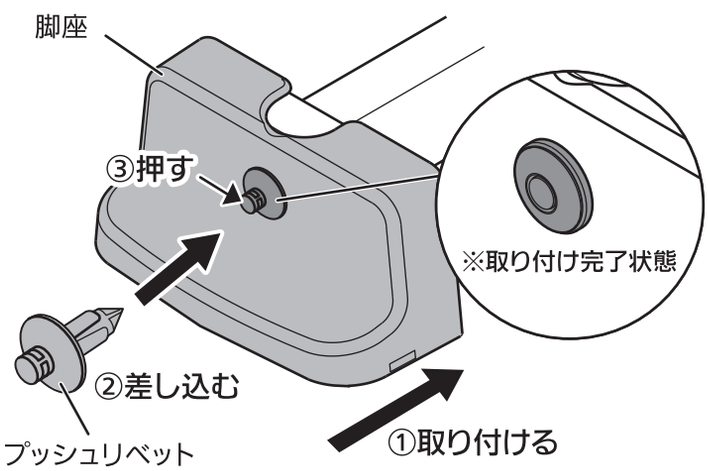

マットレスストッパー×2

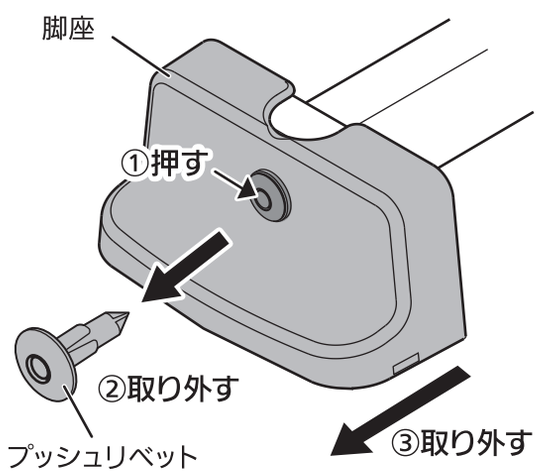


※反対側も同様にして取り付けてください。

17.脚座を取り付ける

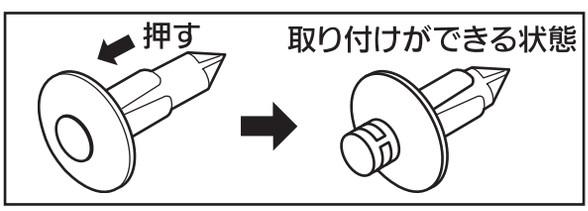
※キャスターと付け替えるときに、本作業を
行ってください。





取り付け方

①ベースユニットに脚座を取り付けてください。
（計 4 箇所）
②プッシュリベットを下図のように、取り付けが
できる状態にしてください。



③プッシュリベットを脚座に差し込み、プッシュリベット
の中央部を押してください。

取り外し方

①プッシュリベットの中央部を押してください。
（プッシュリベットが固い場合は、
ドライバーなどで押してください）
②プッシュリベットを取り外してください。
③ベースユニットから脚座からはずしてください。

4. 組み立て後の点検

※ベッドに人が乗っていないことを確認し、以下の項目を点検してください。
※定期点検の際も同様の点検を行ってください。

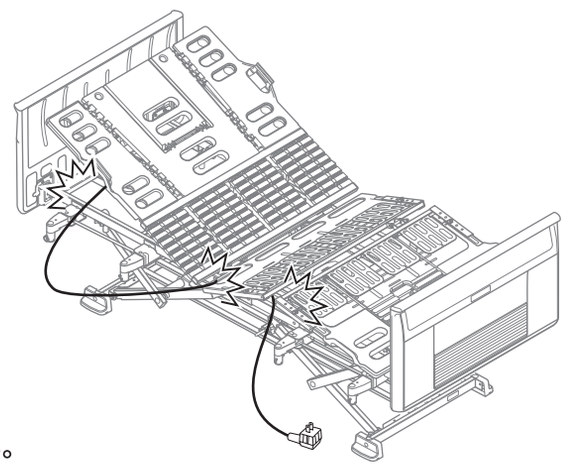
⚠警告	
必ず守る	■組み立て後は必ず点検する 点検をおこたるとけがや故障の原因となります。

1　コード類の傷

•プラグやコードに傷などはありませんか？

☐ ない
☐ ある …… 販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

2　電源コードの確認



•コードはフロントユニット・リアユニットの
下側に配線されていますか？
•可動部と接触していませんか？
•脚座などで踏んでいませんか？
•背あげ・足あげ・高さあげを最低位置から最大位置まで行い、
コードが引っ張られることはありませんか？
※（配線が間違っている場合、コードが断線する可能性が
ありますので、ベッドは少しずつ動かして確認してください。）

☐ はい
☐ いいえ …… 可動部、脚座などに注意して配線してください。
（63〜64ページ参照）

3　モーターコードの確認

•コードは正しい位置の配線クリップに取り付けられていますか？
•背あげ・足あげ・高さあげを最低位置から最大位置まで行い、コードが引っ張られることはありませんか？
※（配線が間違っている場合、コードが断線する可能性がありますので、
ベッドは少しずつ動かして確認してください。）

☐ はい
☐ いいえ …… モーターコードを取り付け直してください
（60〜62ページ参照）

4　ボード取り付け状況の確認（頭側・フット側）

•ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？
•ボードストッパーがボード受金具に確実に掛かっていますか？
•いちじるしいがたつきがないですか？

☐ はい
☐ いいえ …… ボードを取り付け直してください
（70ページ参照）

4. 組み立て後の点検

5　手元スイッチの確認

・手元スイッチ本体に傷や破損はありませんか？
・電源プラグをコンセントに差し込むと、手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？

☐ はい
☐ 点灯せず……「故障かな?と思ったとき」を確認してください。（46ページ参照）

・異常音や振動はありませんか？

☐ ない
☐ ある …… 販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※動作に異常があるときは、コネクタを確認のために一度抜き、再び差してください。

6　操作時の確認

・手元スイッチで背あげ、ひざあげ、高さ調節操作を最大まで行った際、
以下の問題はありませんか？

☐ 異常ない
☐ 異常音がする …… 販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。

☐ 手元スイッチの数字が、
最大・最小とならない …… [電源][頭▲][頭▼]ボタンを同時に押し、モーターが
これ以上動かなくなるところまで、押し続けてください。
（リモコンの初期位置と実際のベッドの初期位置を
初期化する操作です）

☐ ベッドが家具などに当たる …… ベッドを移動するか、家具などを移動させてください。

7　ラベルのはがれ

・ラベルがはがれたり、文字が見えなくなっていませんか？

☐ いいえ
☐ はい
（はがれている・文字が見えない） …… 販売店または裏表紙のお客様ご相談窓口
にお問い合わせください。

8　ベッドの滑り

・ベッドを前後左右などから押して、容易に滑りませんか？

☐ 滑らない
☐ 滑る …… ベースユニットの下にカーペットなどを敷いてください。
…… キャスター仕様の場合、キャスターをロックしてください。

5. ベッドを分解する

1.分解前の準備

※ベッドの分解は、販売店に依頼することをおすすめします。
　万一、ご自分でおこなう場合は以下の手順に従ってください。

①キャスターを取り付けている場合は、ストッパーを
　固定状態にしてください。

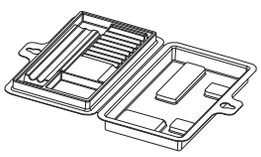
②ベッドのオプション品（サイドレール・ベッド用グリップ
　など）をベッドから取り外してください。

③寝具・マットレスなどをベッドからおろしてください。

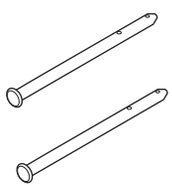
④電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⑤背ボトムとひざ・足ボトムを水平にしてください。

組立付属部品



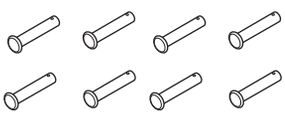
パーツケース×1



組み立てピン×2



スピードピン×10



連結ピン×8

※取り外した連結ピン・スピードピンなどは、
　紛失しないように保管してください。
　（組立付属部品が入っていたパーツケースに収納する
　ことができます。）

⚠警告

必ず守る

■ベッドの分解は手順に従う
　手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形するおそれがあります。

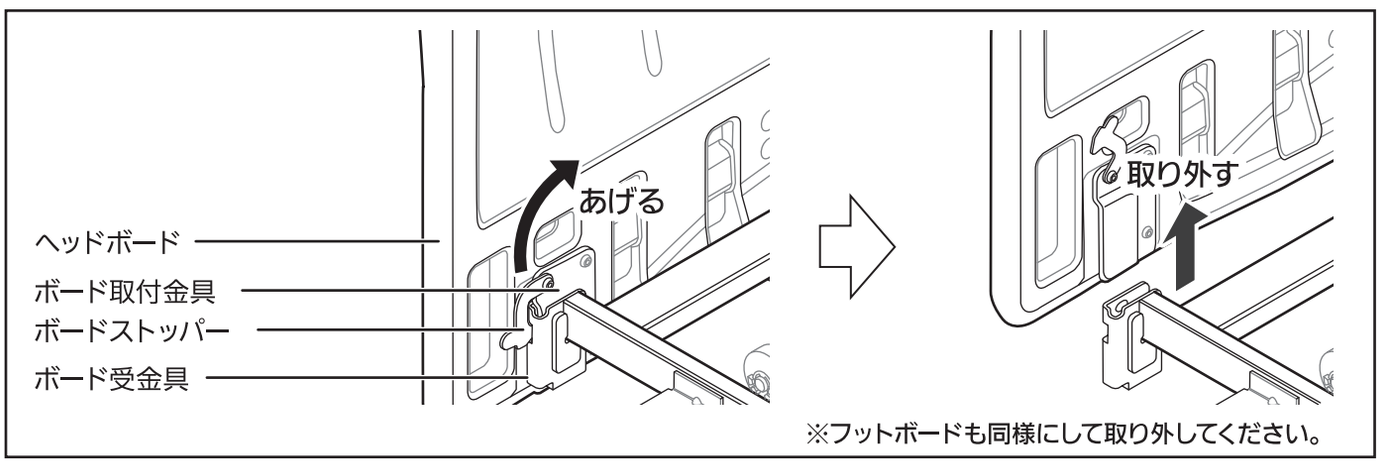
■キャスターを使用している場合は、キャスターをロック状態（回転・旋回しない状態）に
　してから作業をする
　ロック状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて
　けがをするおそれがあります。

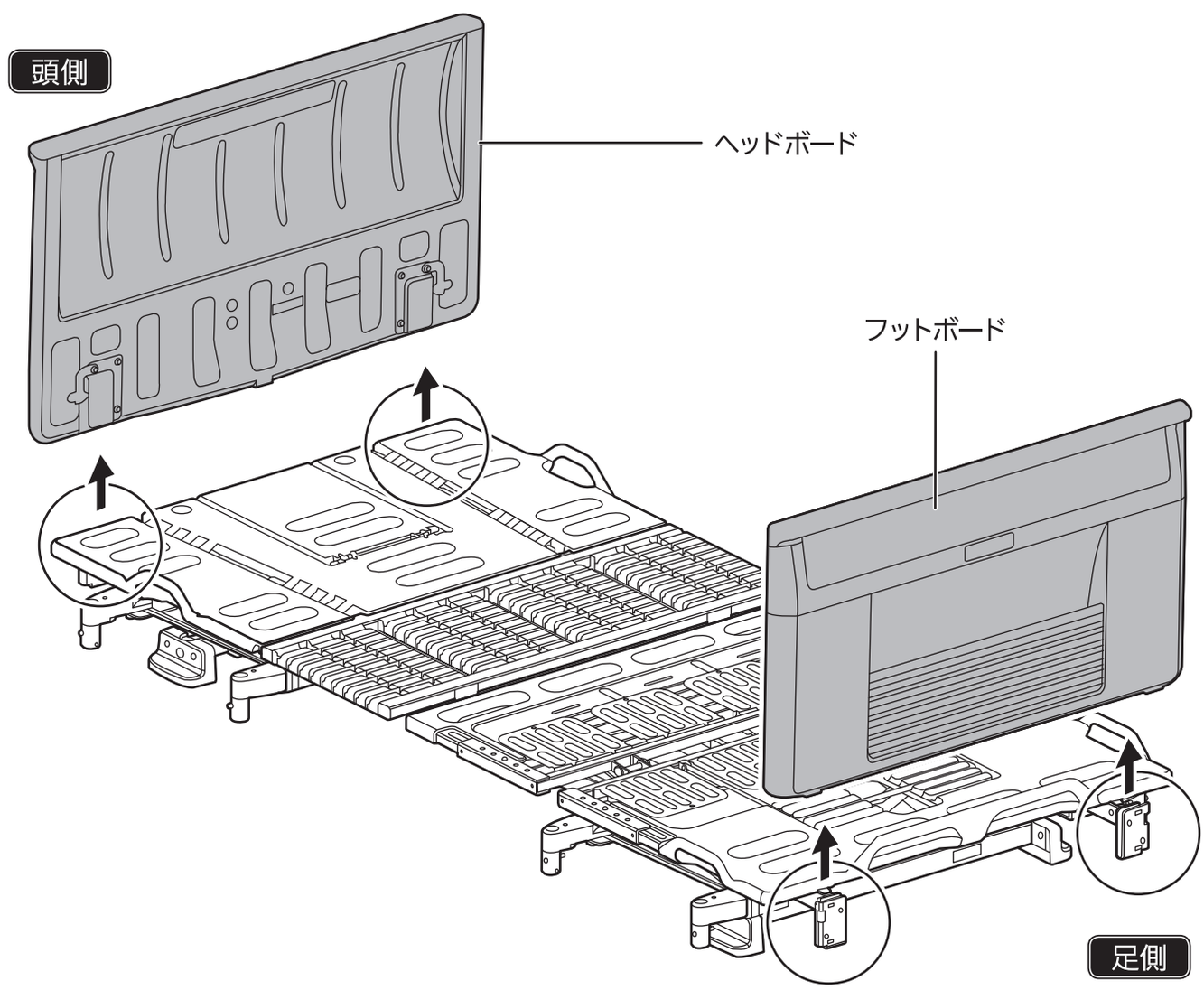
5. ベッドを分解する

2.ボードを取り外す

①ヘッドボード（フットボード）のボードストッパーを
　図のようにあげてください。

②ボードストッパーが解除されていることを確認し、
　ヘッドボード（フットボード）を取り外してください。

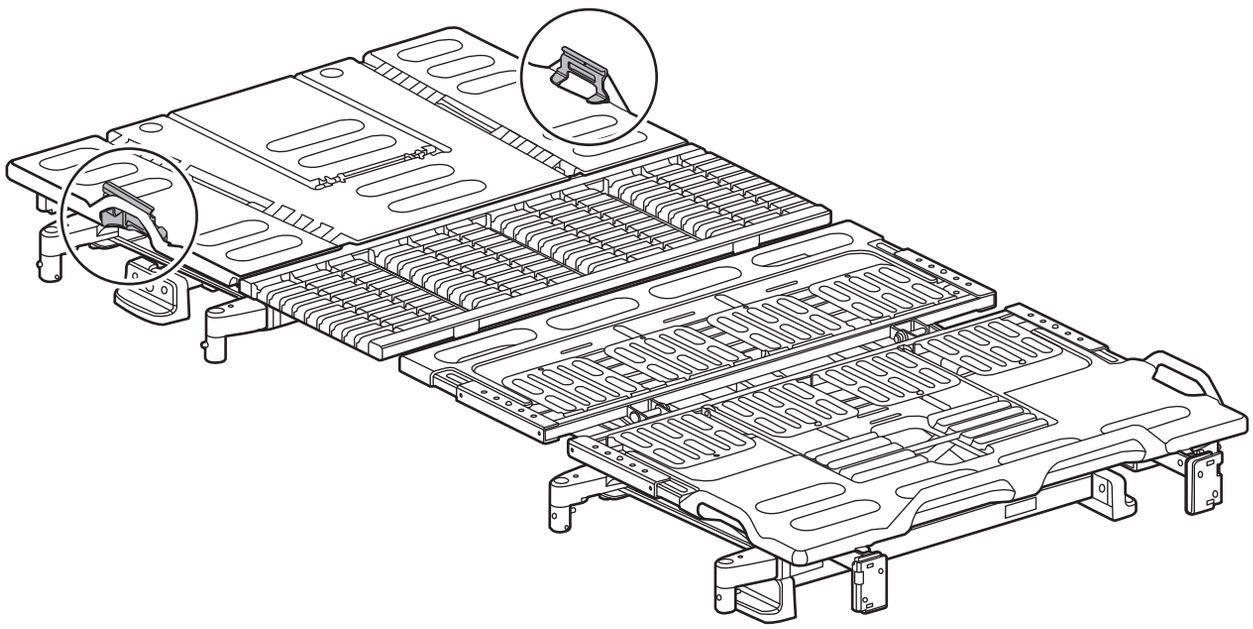


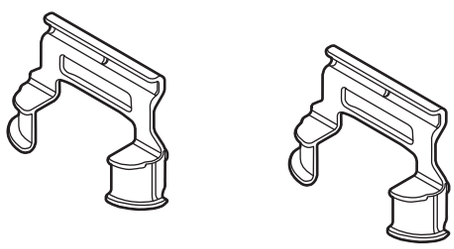


5. ベッドを分解する

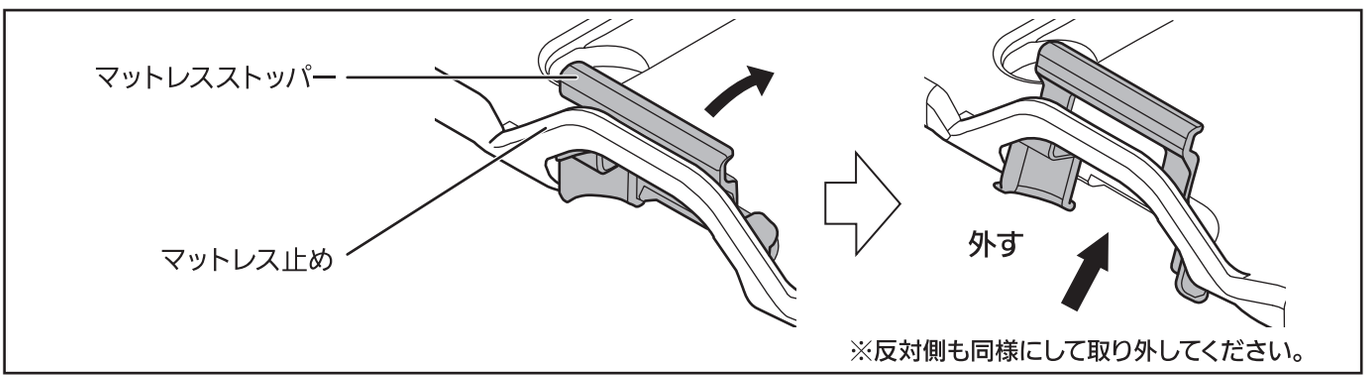
3.マットレスストッパーを取り外す

サイドアップボトムのマットレス止め2箇所に取り付けられた
マットレスストッパーを下図のように取り外してください。





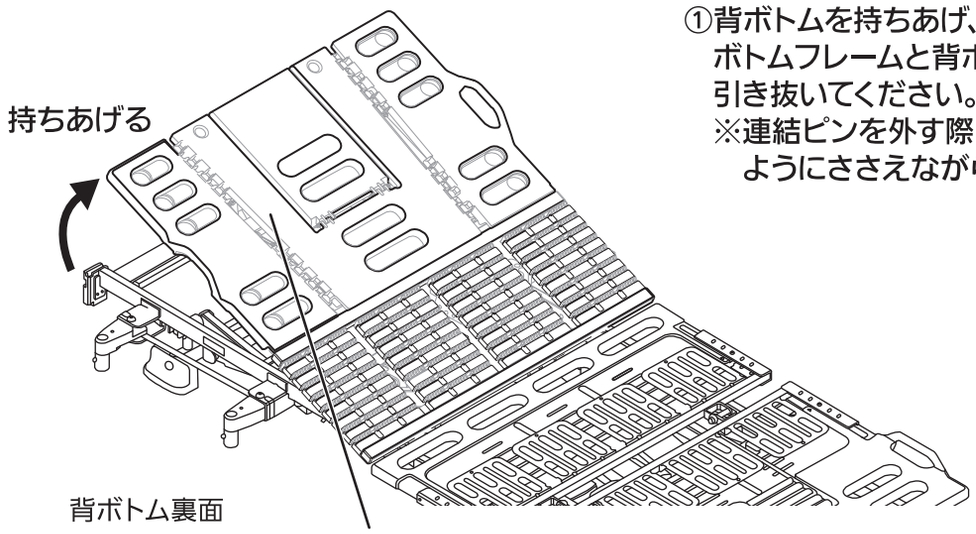
マットレスストッパー×2

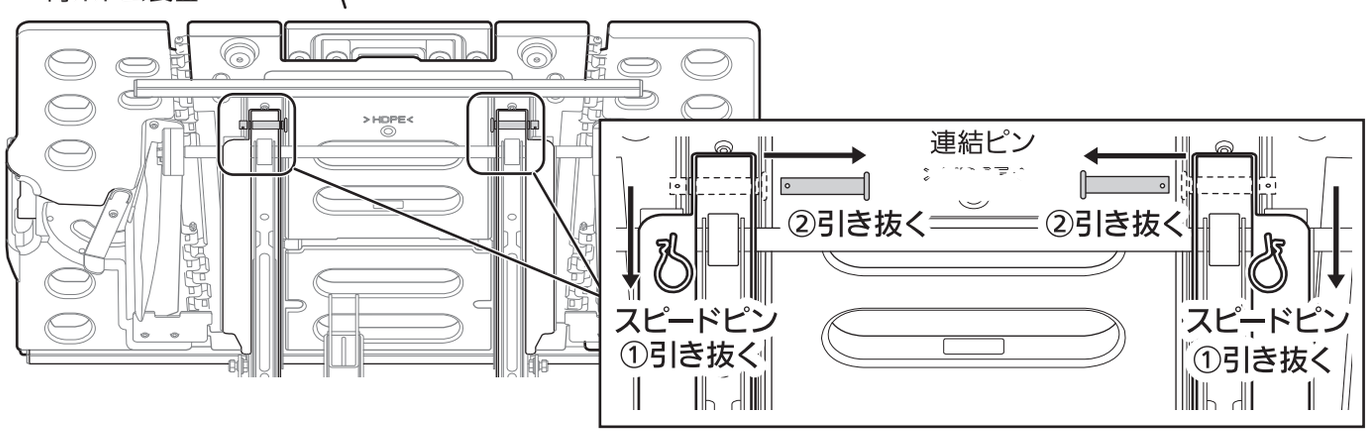


5. ベッドを分解する

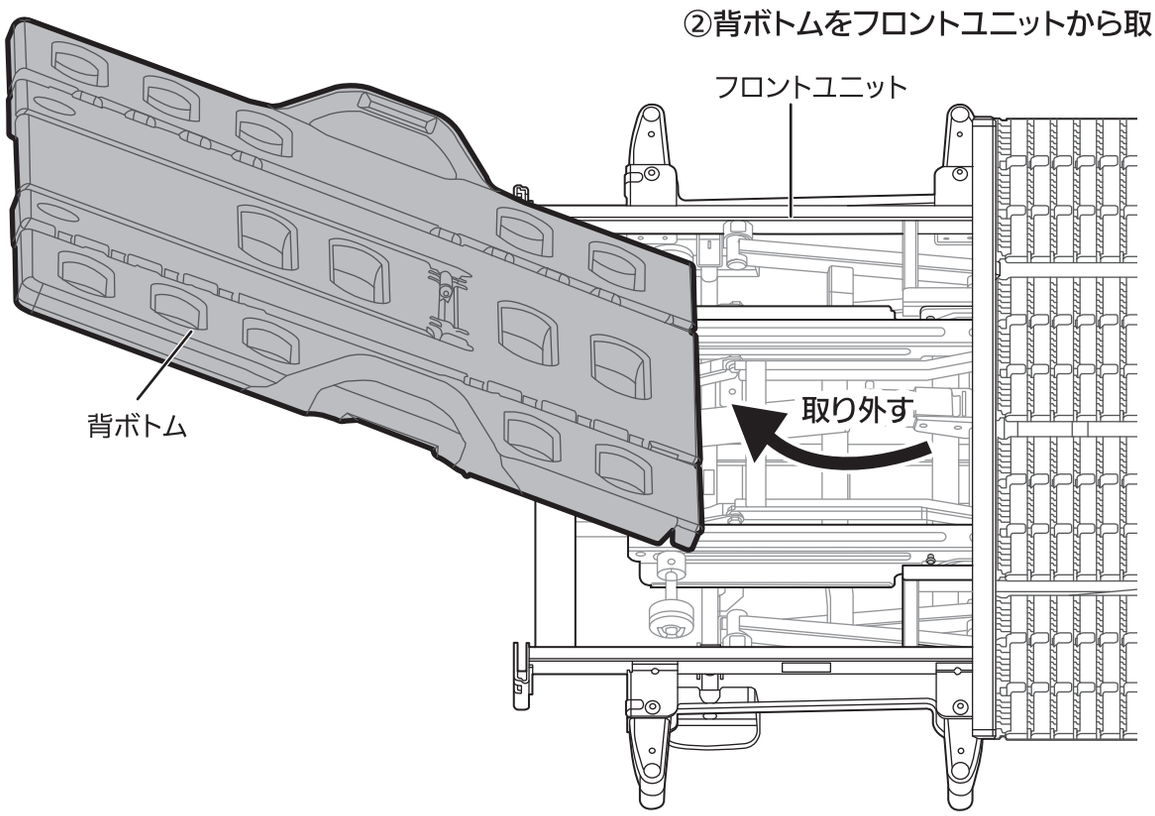
4.背ボトムを取り外す

①背ボトムを持ちあげ、裏面にあるフロントユニットの
ボトムフレームと背ボトムのスピードピンと連結ピンを
引き抜いてください。（下図参照）
※連結ピンを外す際にフロントユニットが落下しない
ようにささえながら作業を行ってください。



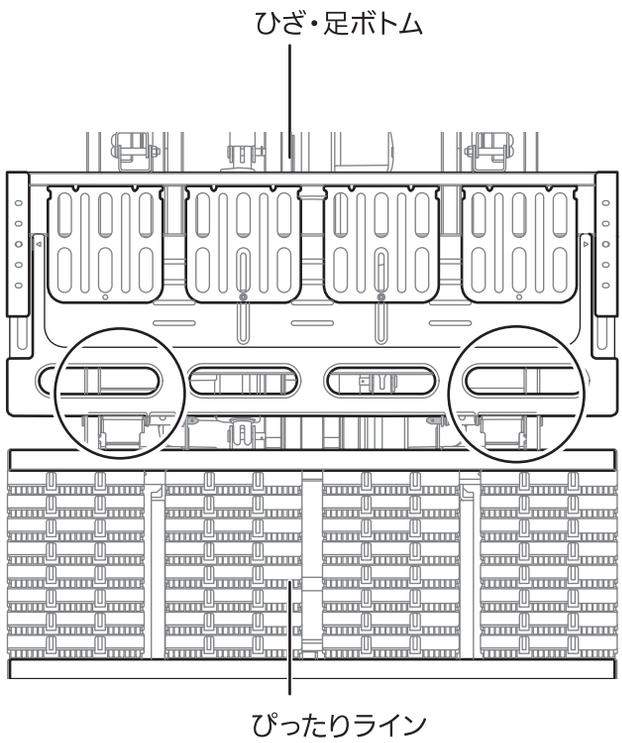


②背ボトムをフロントユニットから取り外してください。

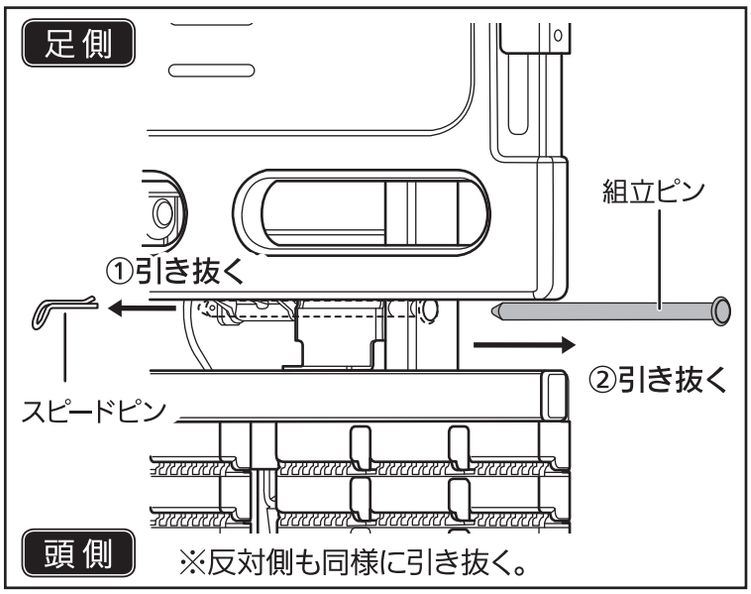


5. ベッドを分解する

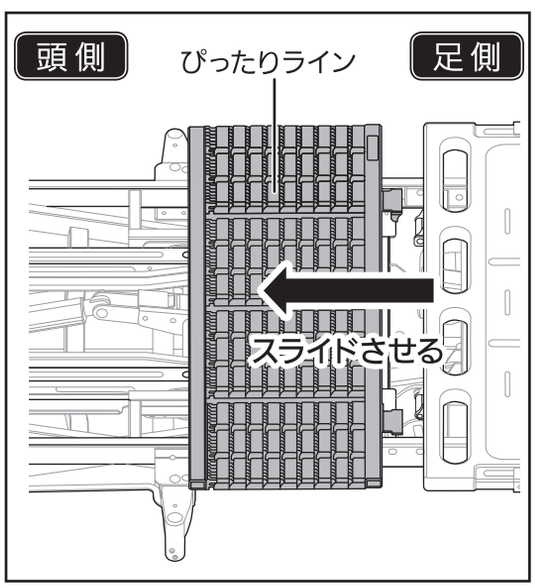
5.ぴったりラインを取り外す

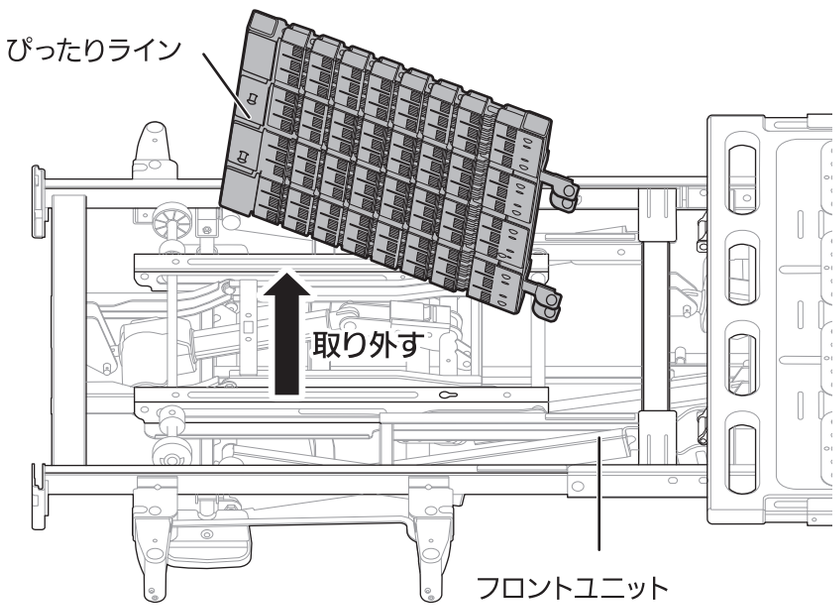


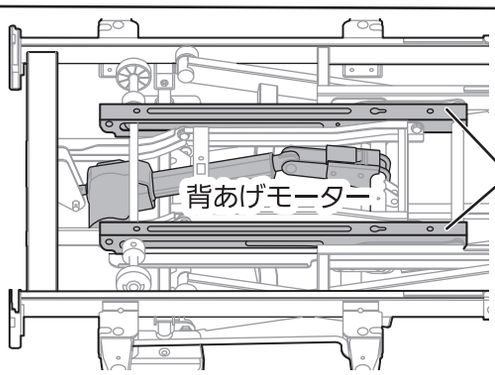
①ぴったりラインとひざ・足ボトムを固定している
スピードピンと組立ピンを引き抜いてください。



②ぴったりラインをスライドさせ、固定されているフロント
ユニットからぴったりラインを取り外してください。





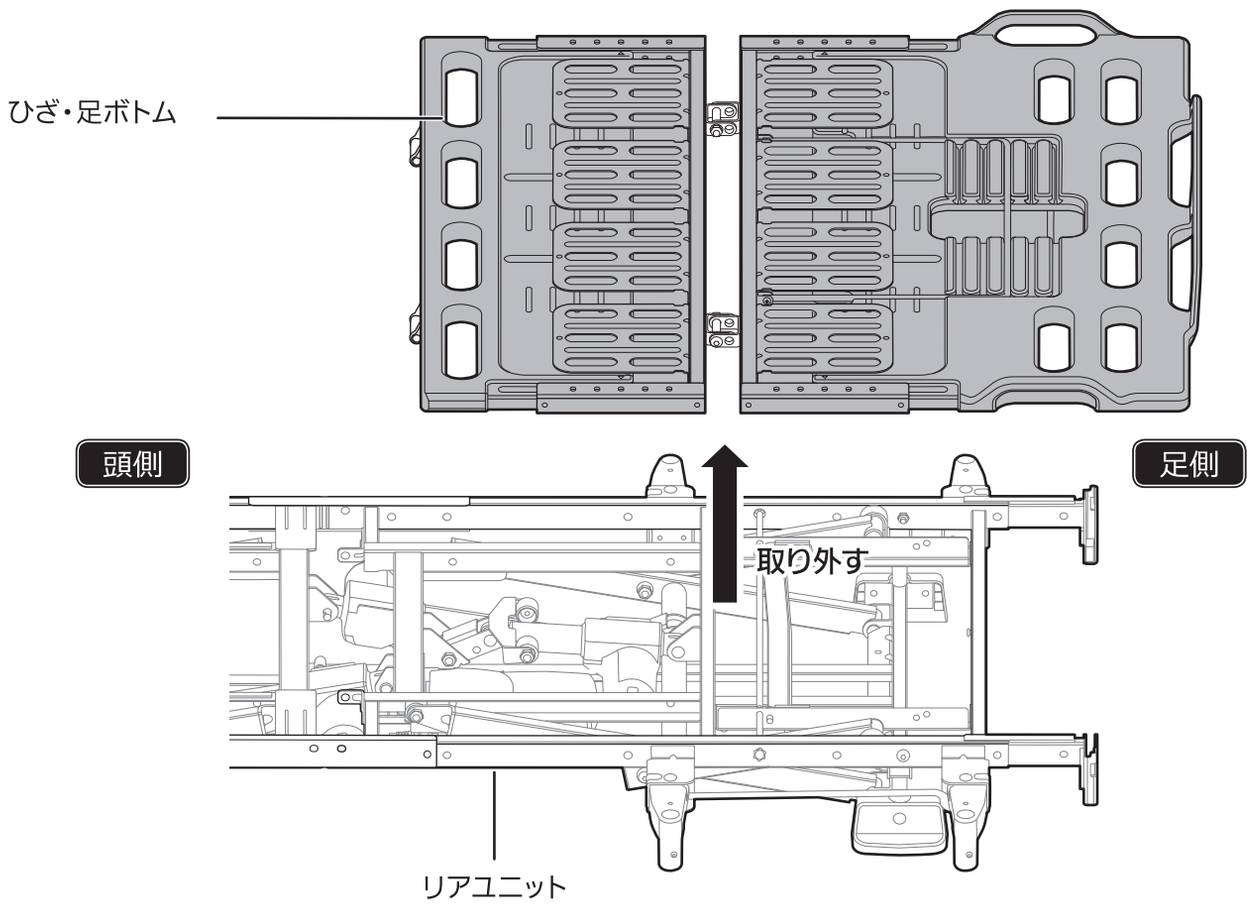


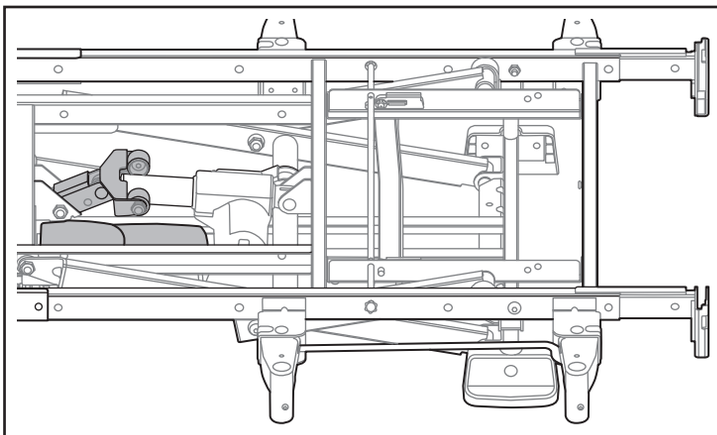
分解や持ち運びをするときは、可動部に
注意してください。
けがや破損の原因となります。

5. ベッドを分解する

6.ひざ・足ボトムを取り外す

ひざ・足ボトムをリアユニットから取り外してください。





電源ボックスやモーター、可動部の周辺は
持たずに、ボード受金具を持ってください。
けがや破損の原因となります。

5. ベッドを分解する

7.電源ボックスカバーを開ける・閉める

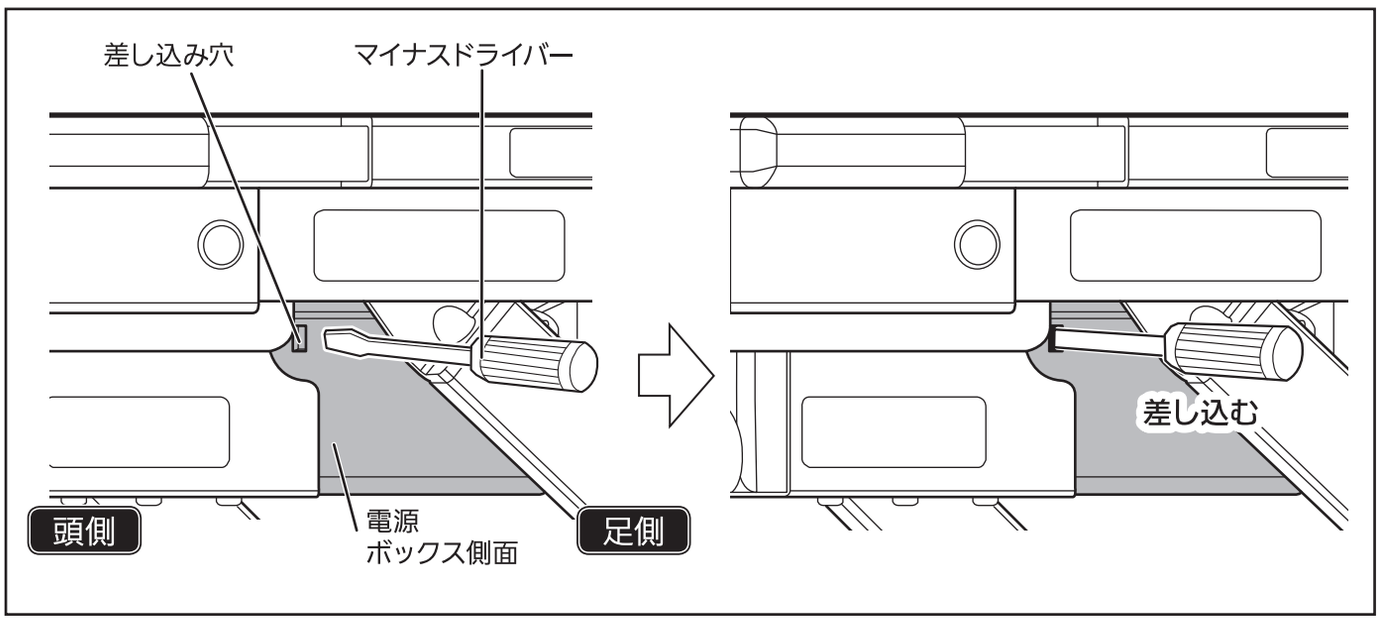
①ベッドの高さを電源ボックス側面の差し込み穴が
見える位置まであげてください。（約 50cm）

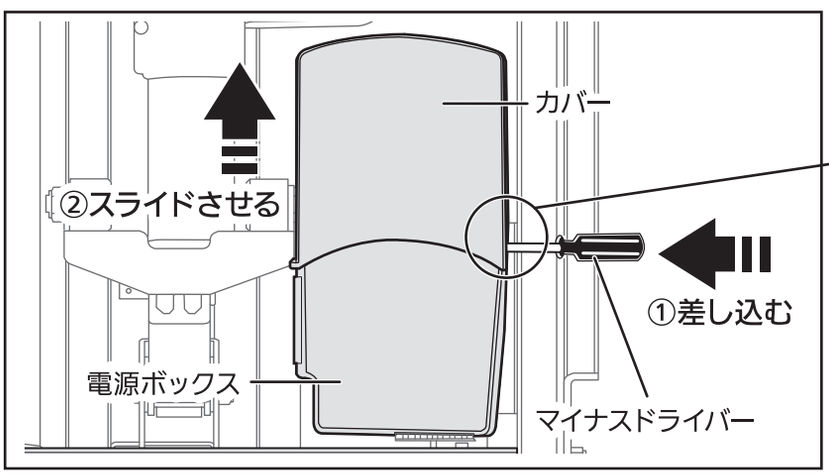
②電源ボックス側面の差し込み穴にマイナスドライバーを
差し込んでください。

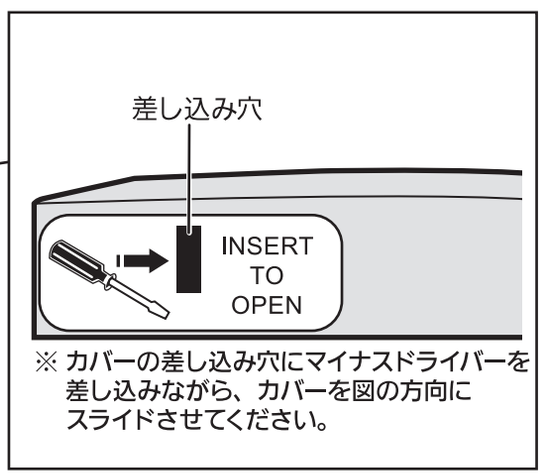
③差し込んだマイナスドライバーを持ちながら、
図の方向にカバーをスライドさせてください。

④高さを 19.5cm にさげてください。
（3 モーションタイプのみ）

※2 モーションタイプは足連動ユニットを取り外した後に、
高さをさげてください。（81 ページ参照）



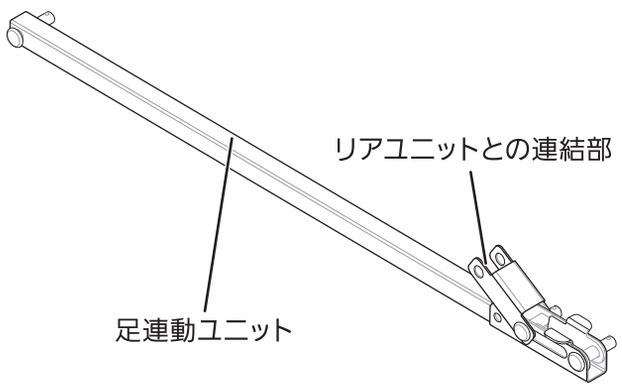




※ カバーの差し込み穴にマイナスドライバーを
差し込みながら、カバーを図の方向に
スライドさせてください。

5. ベッドを分解する

8.足連動ユニットを取り外す（2モーションタイプのみ）



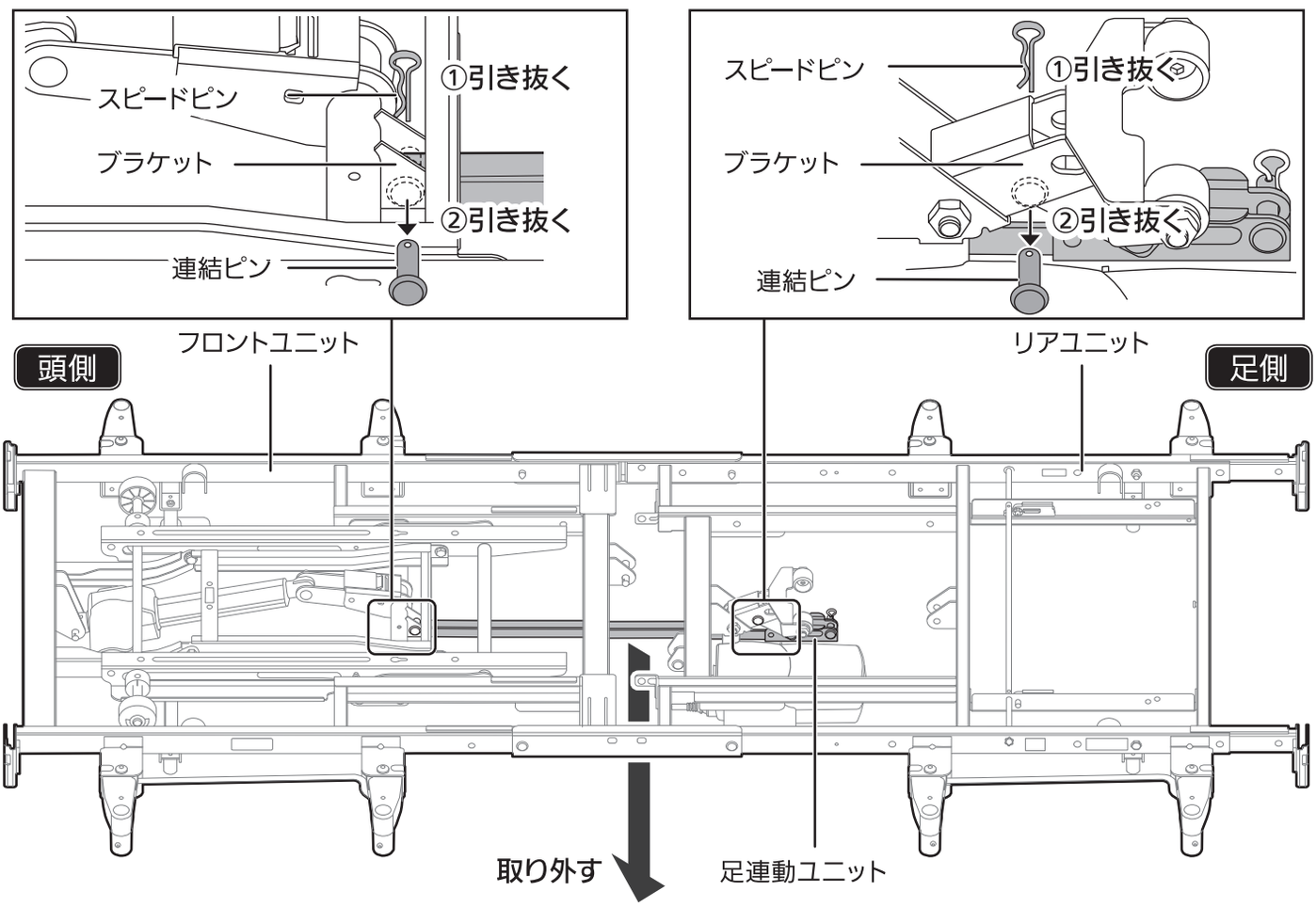
※足連動ユニットの取り外しは（2 モーションタイプ）のみの作業です。

①手元スイッチを操作し（25 ページ参照）ベッド本体の高さを約 40cm にあげてください。

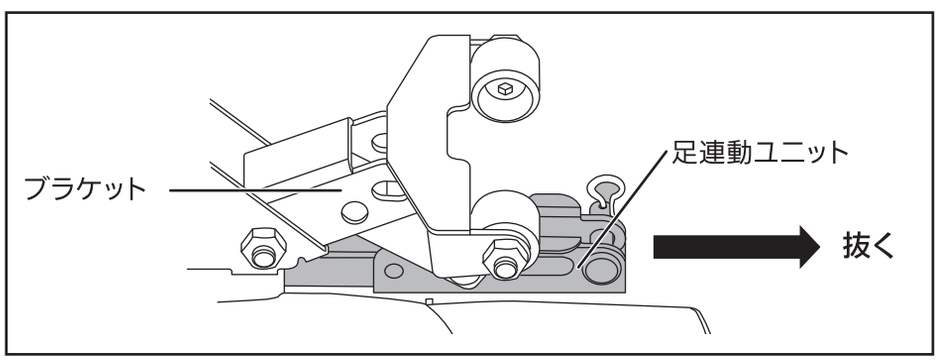
②足連動ユニット部の連結ピンとスピードピンを取り外してください。

③足連動ユニットを取り外してください。

④高さを 19.5cm にさげてください。



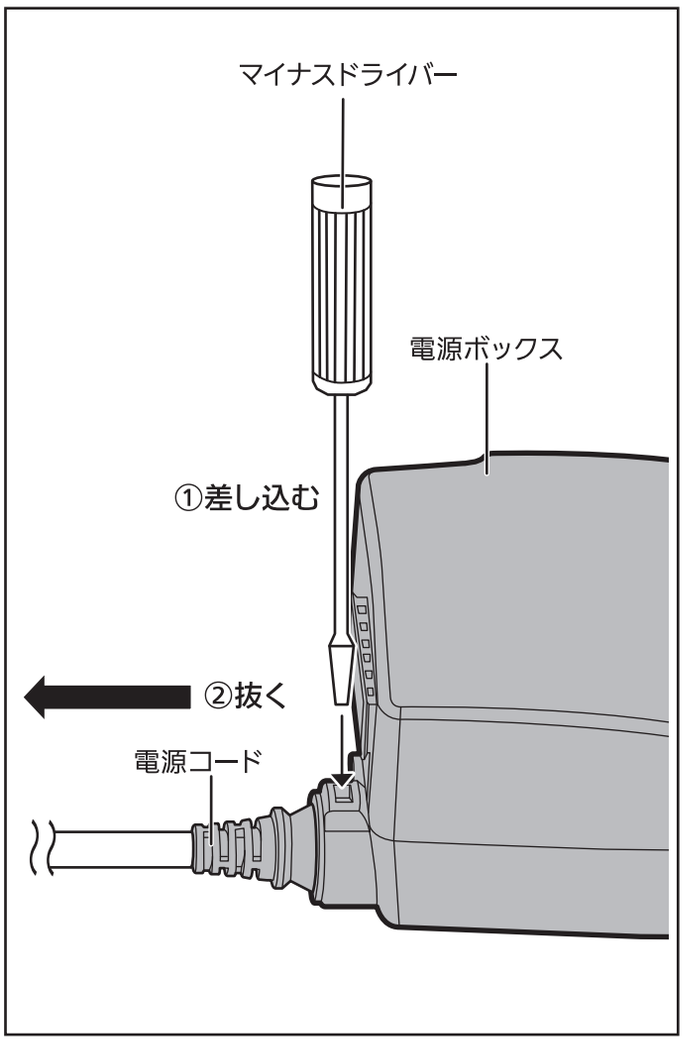
※落とさないように手で支えながら、ゆっくりと降ろしてください。



5. ベッドを分解する

9.電源コードを取り外す

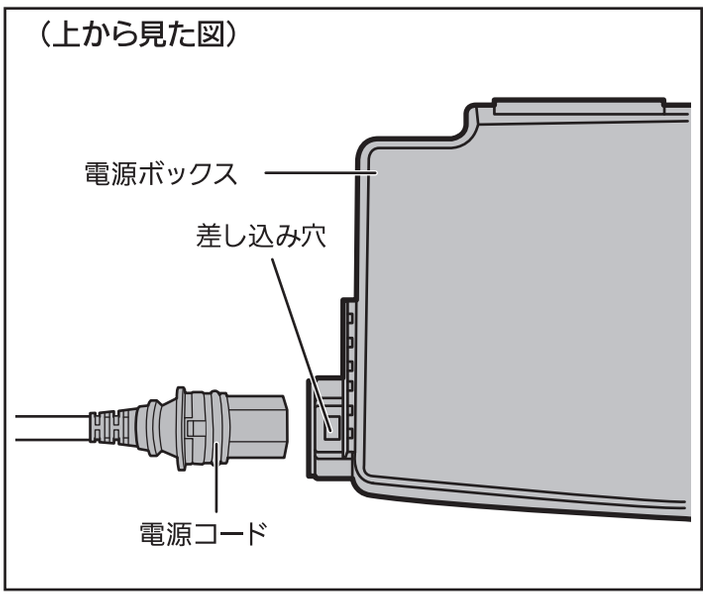
電源コードと電源ボックスは接続したままでも分解できますので、必要な場合のみ取り外してください

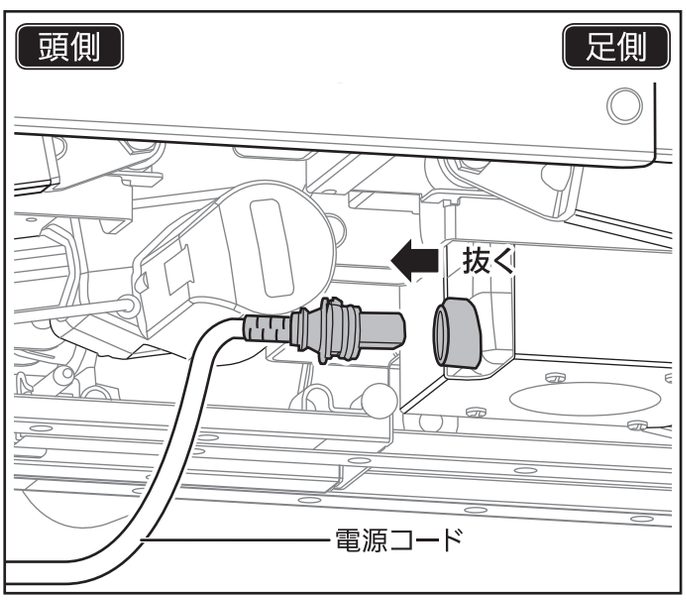


①電源プラグをコンセントから抜いてください。

②電源コードをクリップから取り外してください。

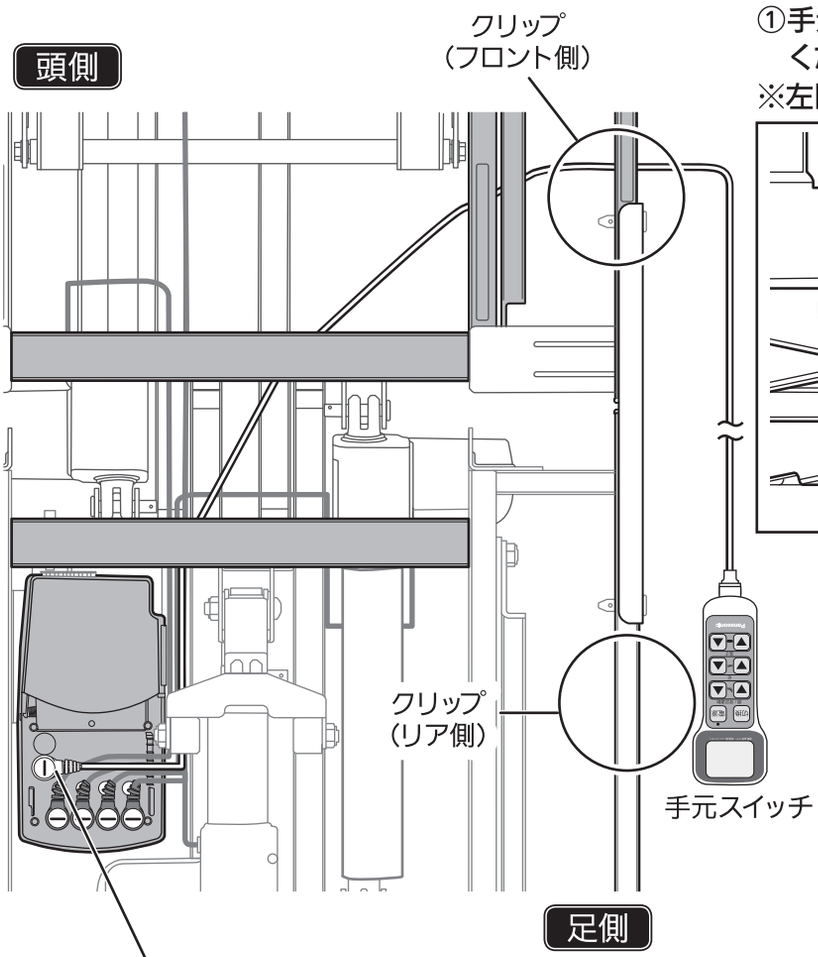
③電源ボックス側の、電源コード接続部に
ある差し込み穴にマイナスドライバーを差し込み、
電源コードの爪部を外しながら抜いてください。



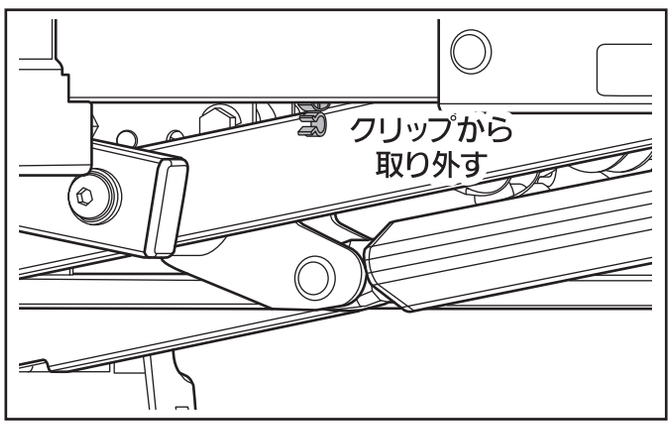


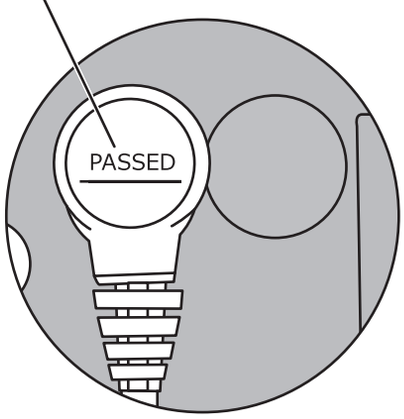
5. ベッドを分解する

10.手元スイッチのコードを取り外す



①手元スイッチのコードをクリップから取り外してください。
※左図はフロント側に配線していた場合の図です。



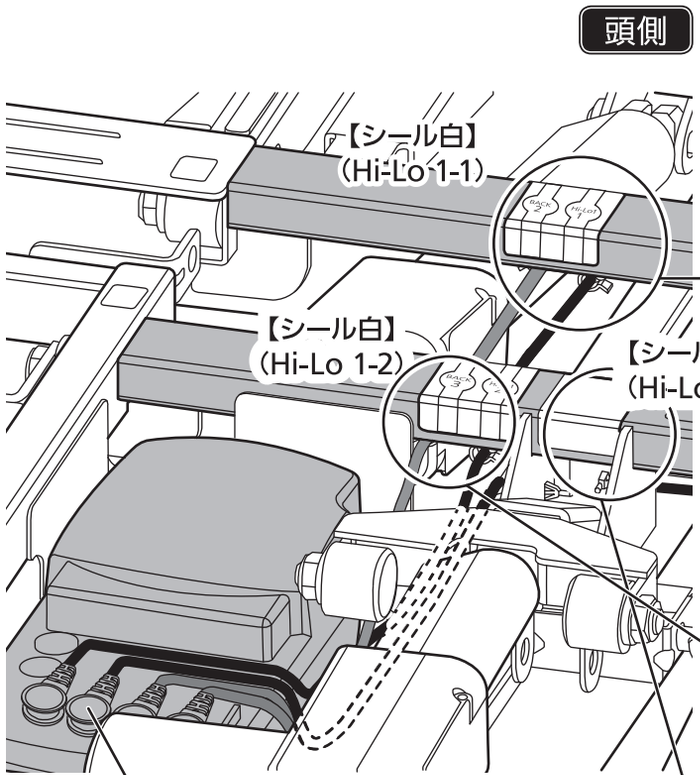


②電源ボックスに接続されている手元スイッチのコネクタを抜いてください。

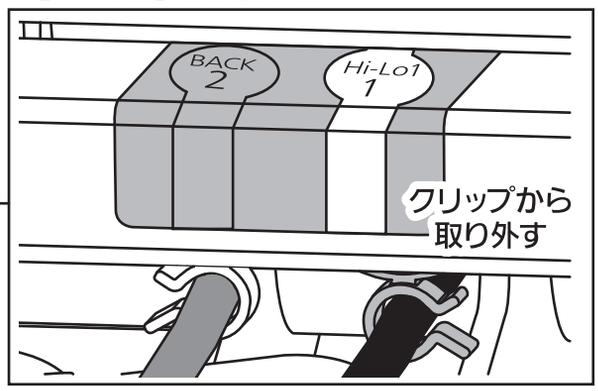
5. ベッドを分解する

11.昇降モーターのコードを取り外す（Hi-Lo1 / Hi-Lo2）

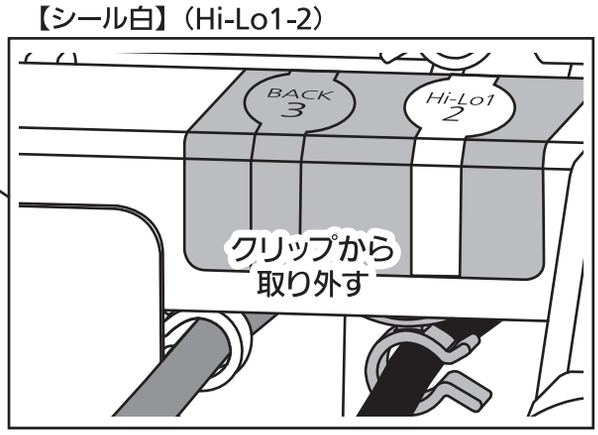
①昇降モーターのコード（Hi-Lo1, Hi-Lo2）を
配線クリップから取り外してください。



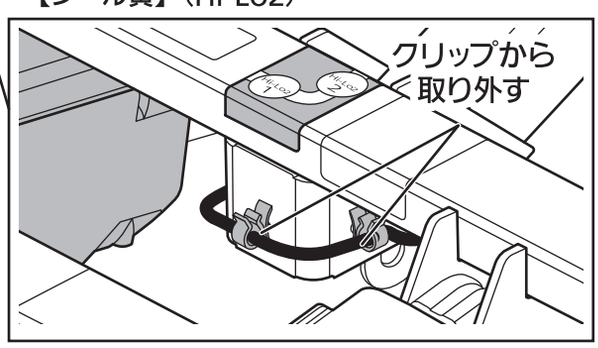
【シール白】（Hi-Lo1-1）

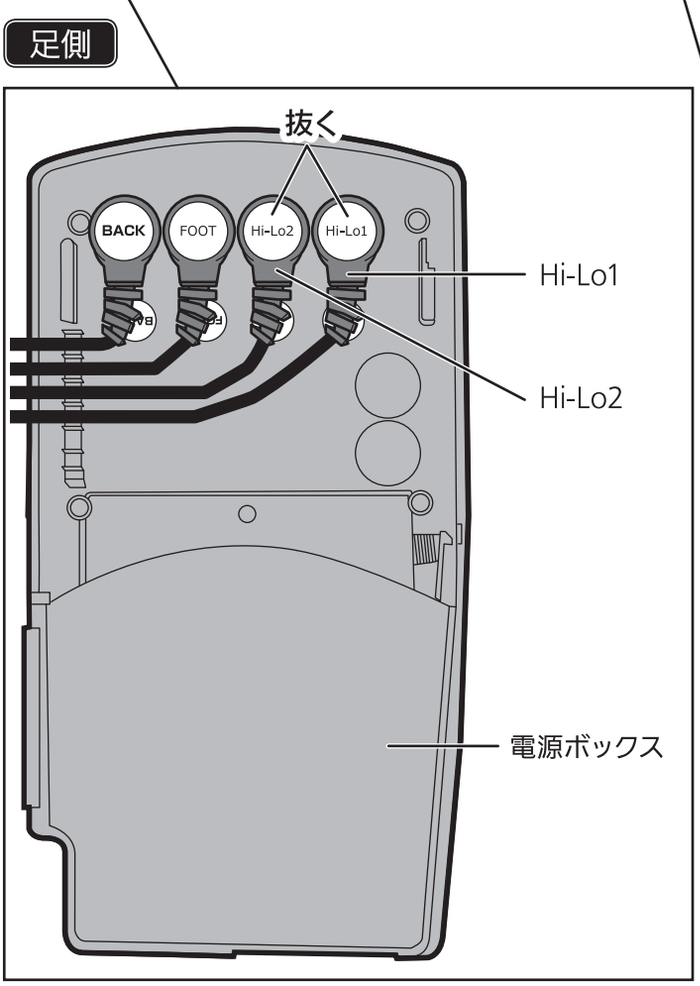


【シール白】（Hi-Lo1-2）



【シール黄】（Hi-Lo2）

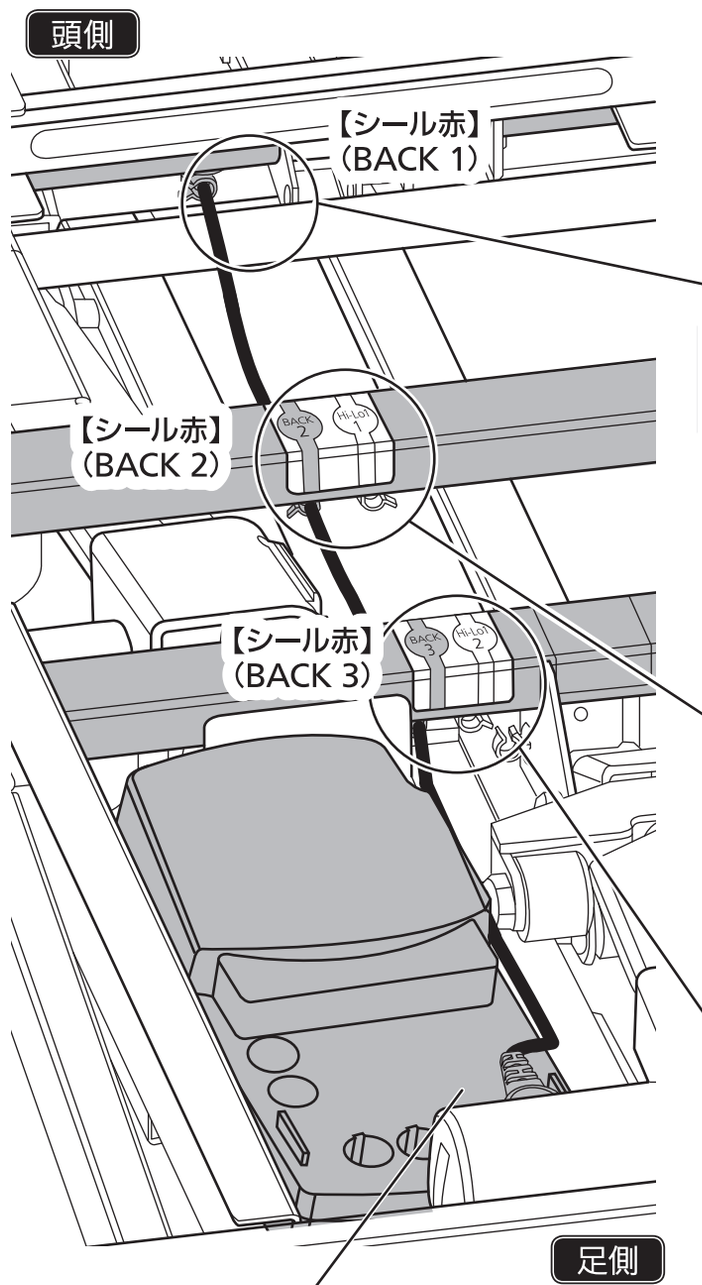




②電源ボックスに接続されている、昇降モーターの
コネクタ（Hi-Lo1,Hi-Lo2）を抜いてください。

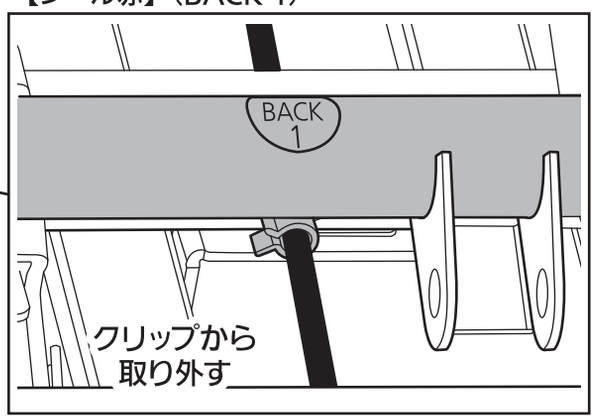
5. ベッドを分解する

12.背あげモーターのコードを取り外す（BACK）

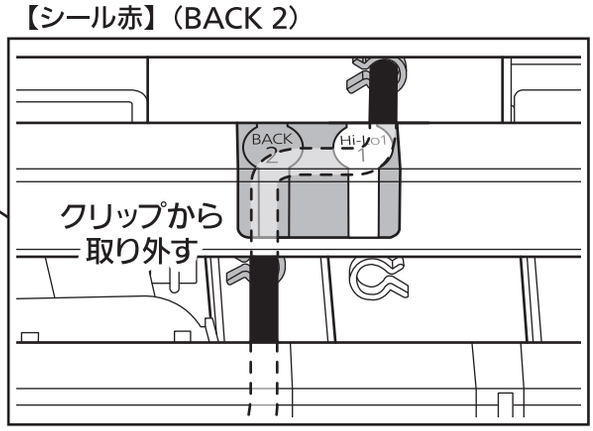


①背あげモーターのコード（BACK 1～3）を
配線クリップから取り外してください。

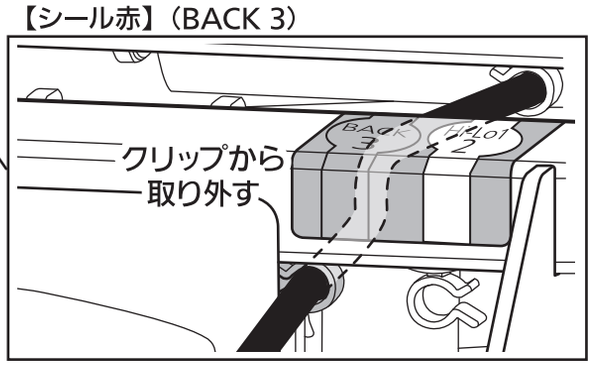
【シール赤】（BACK 1）

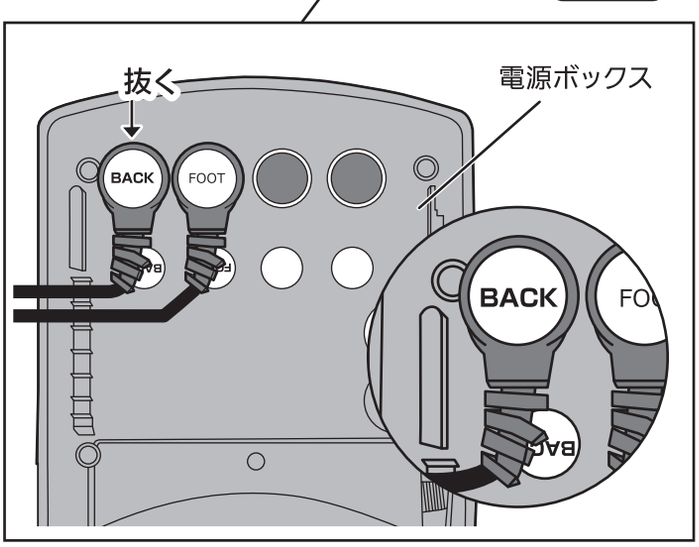


【シール赤】（BACK 2）



【シール赤】（BACK 3）





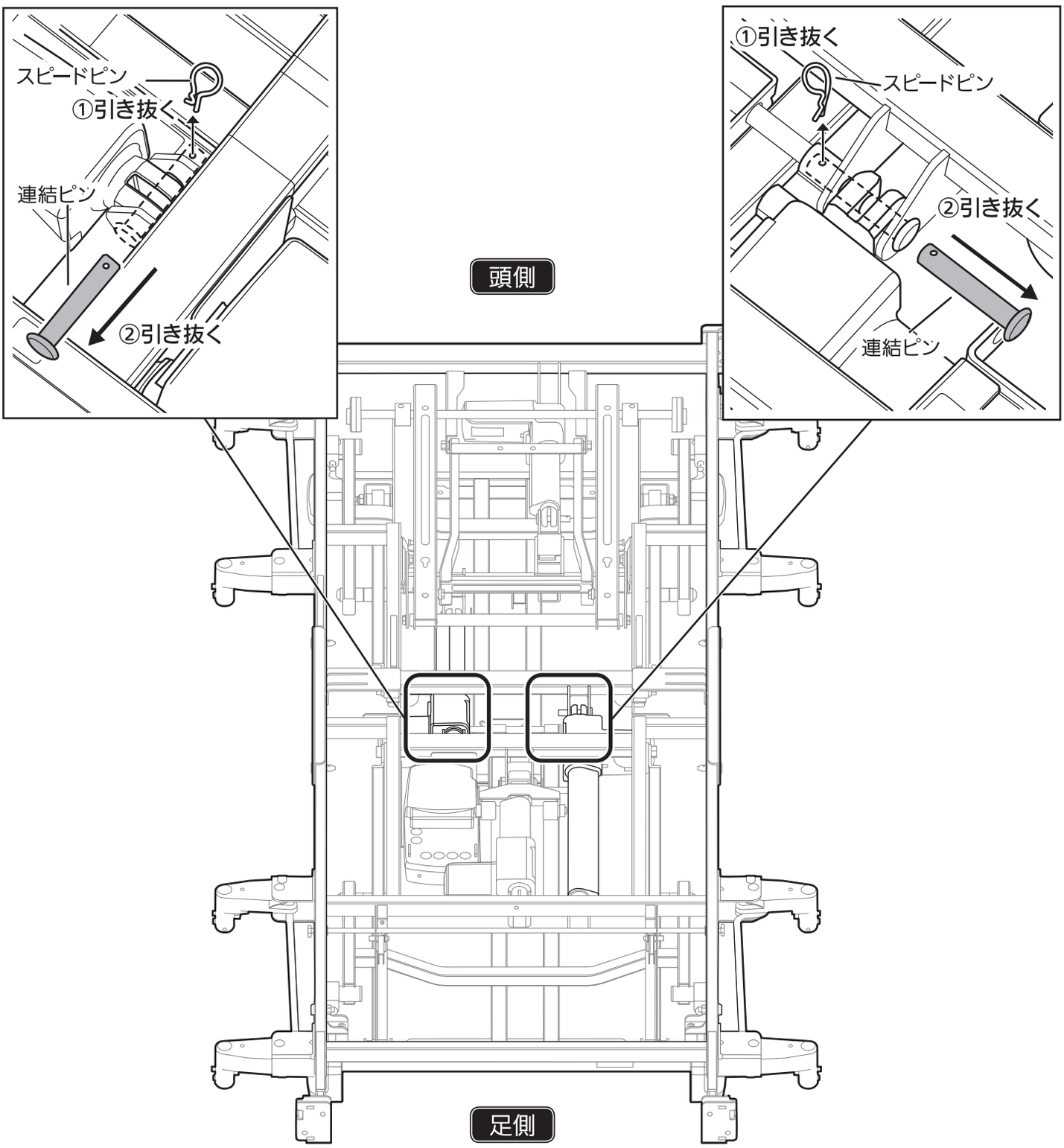
②電源ボックスに接続されている背あげモーターの
コネクタ（BACK ）を抜いてください。

※足あげモーターのコネクタ（FOOT）は、
電源ボックスに接続したままでも分解できます。

5. ベッドを分解する

13.昇降モーターを取り外す

ベースユニットの昇降モーター（2 本）のフロントユニット、
リアユニットに取り付けられている側のスピードピンと
連結ピンを引き抜いてください。

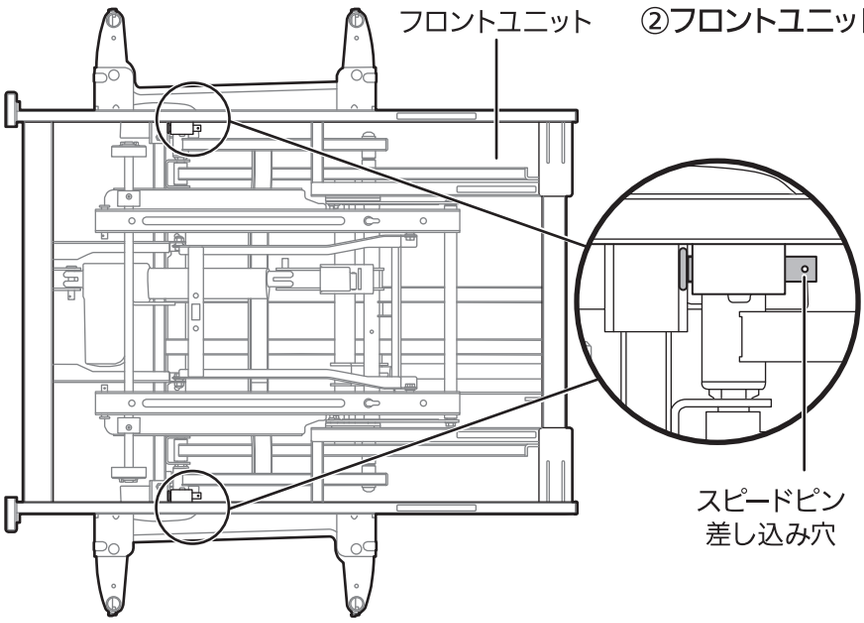


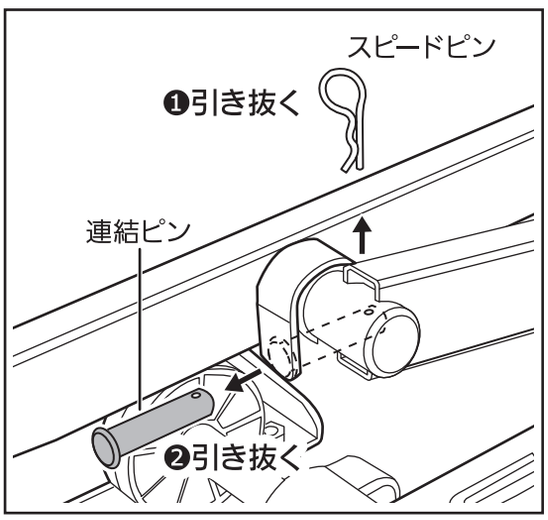
5. ベッドを分解する

14.フロント・リアユニットを取り外す

①フロントユニット嵌合部とホルダーキャップを固定している、スピードピンと連結ピンを引き抜いてください。
（2箇所：計2本）

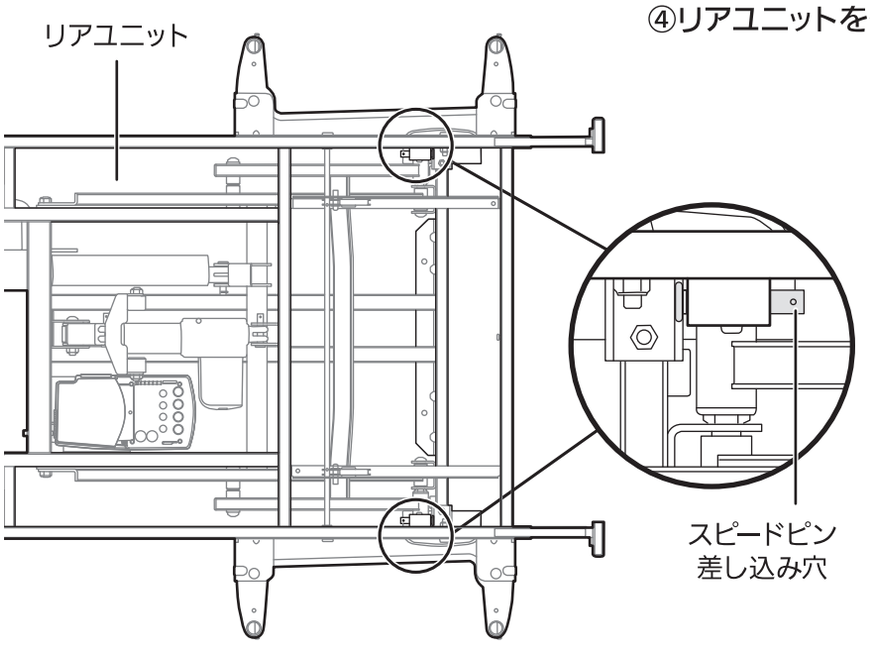
②フロントユニットを外してください。

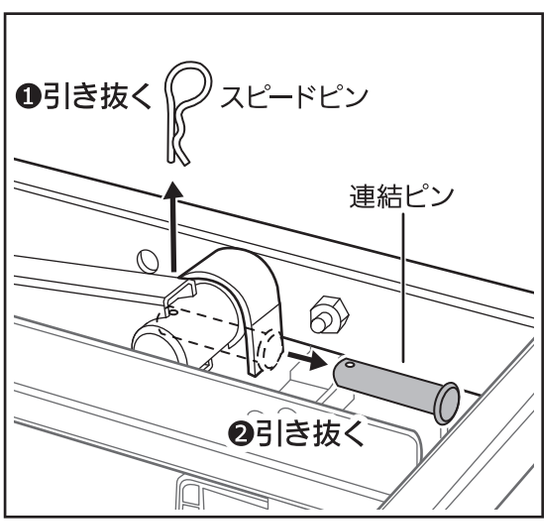




③リアユニット嵌合部とホルダーキャップを固定しているスピードピンと連結ピンを引き抜いてください。
（2箇所：計2本）

④リアユニットを外してください。

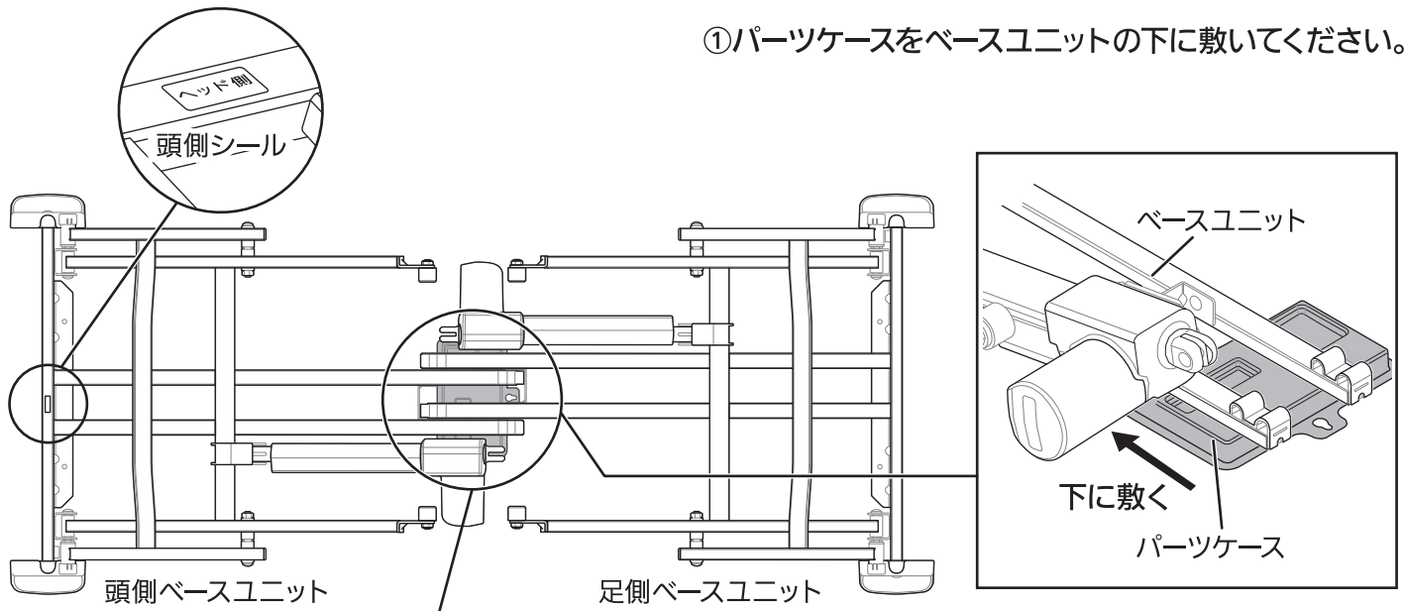


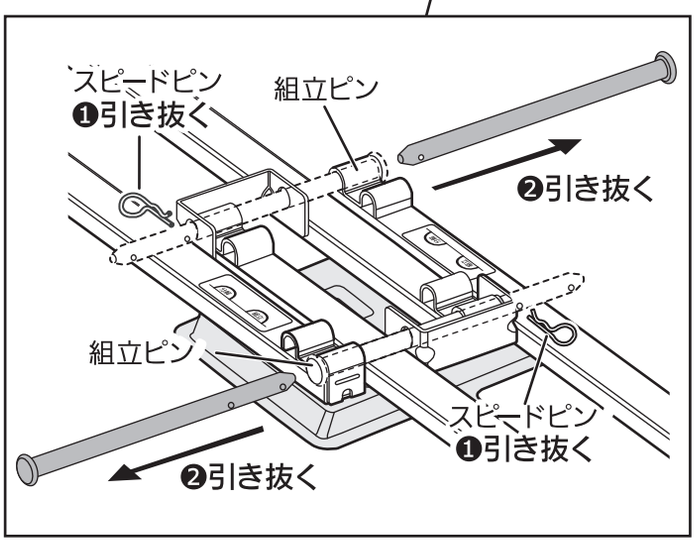


5. ベッドを分解する

15.ベースユニットを取り外す

①パーツケースをベースユニットの下に敷いてください。





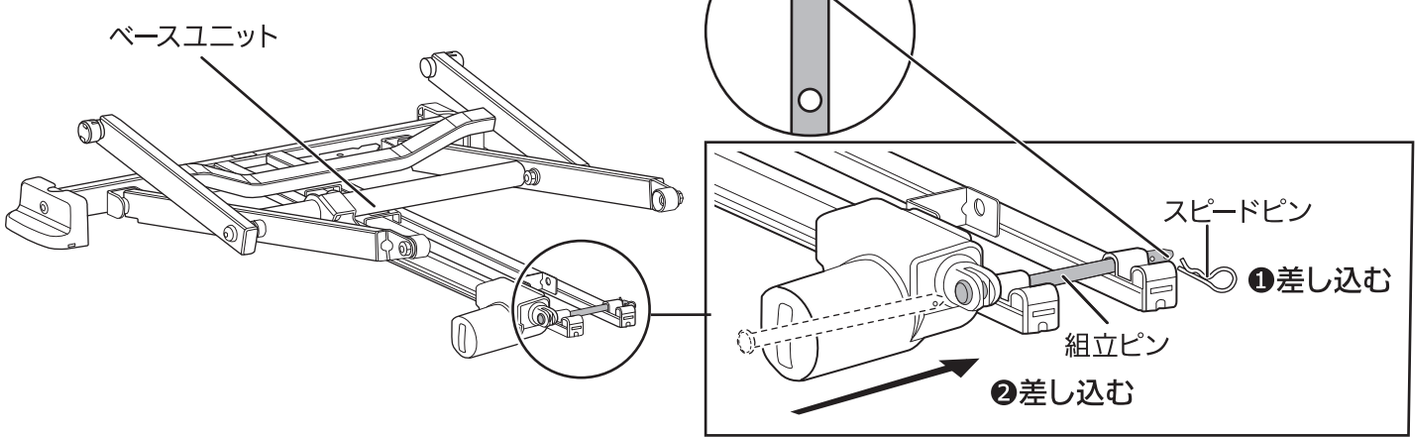
②ベースユニットのスピードピンと組立ピンを
引き抜いてください。

※モーターを外す際はモーターとベースユニットが落下しないように、手で支えながら取り外しをおこなってください。

※パーツケースを敷かないと、ベースユニットが床に落下し、床を傷つけるおそれがあります。

③頭側ベースユニット、足側ベースユニットに組み立てピンを挿入し、スピードピンで固定してください。
（頭側・足側各1箇所：計2本）

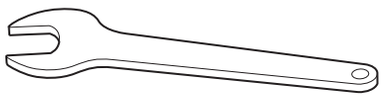
※ベースユニットとモーターの梱包固定用の先端の穴に差し込んでください。



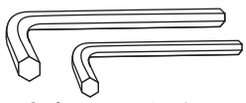
6. ショートタイプへ切り換える

1.切り換え前の準備

使用する工具



スパナ（13mm）



六角レンチ（6mm）（4mm）

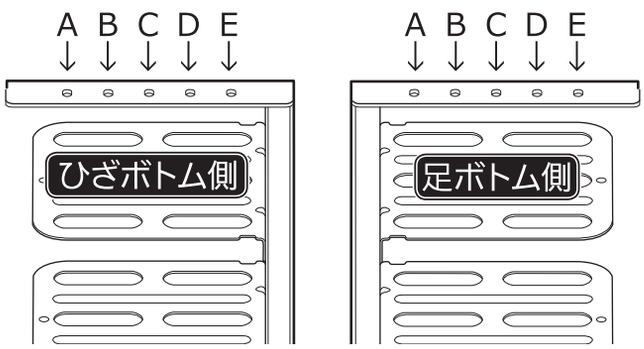
1. ベッドに何ものっていないことを確認してください。
2. ひざ・足ボトムと大腿長位置決めピンは調節したい長さにあわせて、下図のように取り付けてください。
3. フットボードを取り外してください。
4. ひざ・足ボトムを取り外してください。（79 ページ参照）

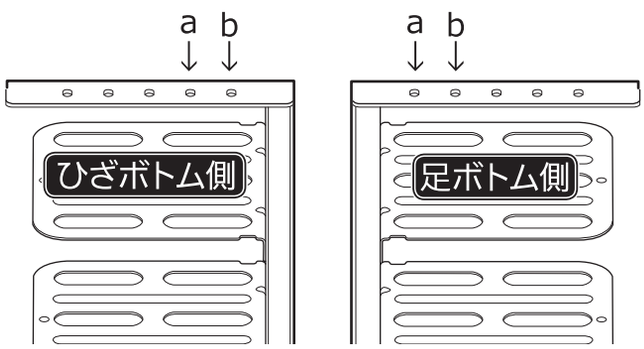
レギュラータイプ設定時の ひざ・足ボトムの取り付け位置

Aのボトムの位置：180cm用
Bのボトムの位置：170cm用
Cのボトムの位置：160cm用
Dのボトムの位置：150cm用
Eのボトムの位置：140cm用

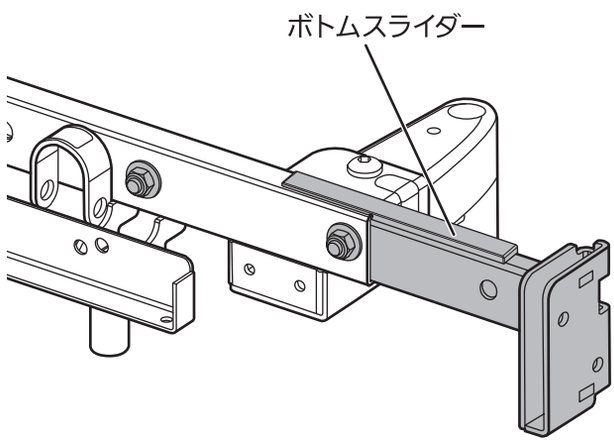
ショートタイプ設定時の ひざ・足ボトムの取り付け位置

aのボトムの位置：150cm用
bのボトムの位置：140cm用

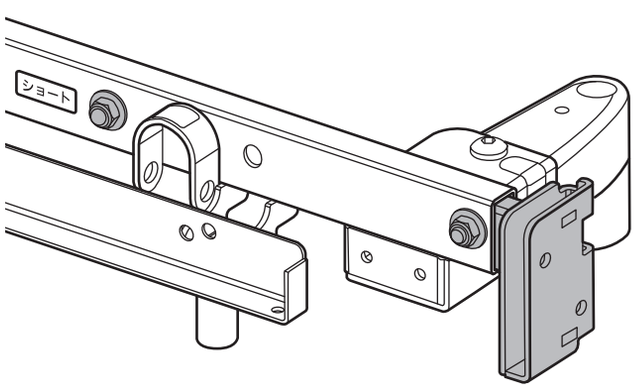




レギュラータイプ設定時



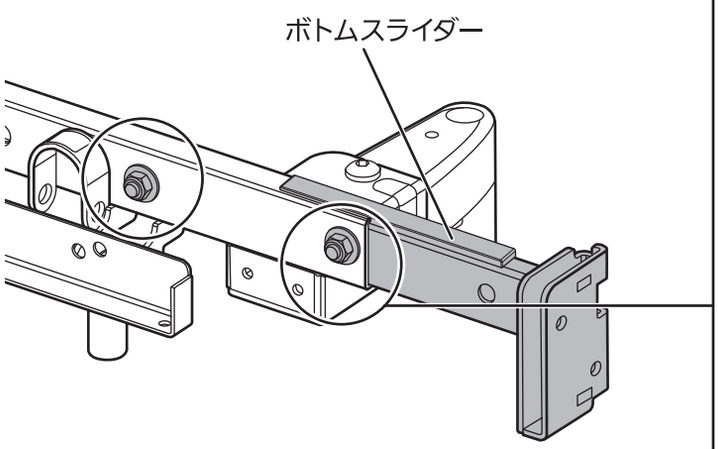
ショートタイプ設定時

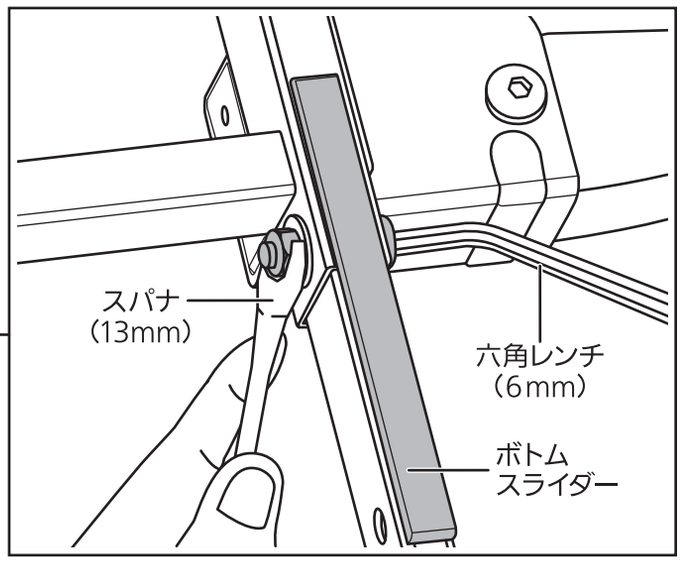


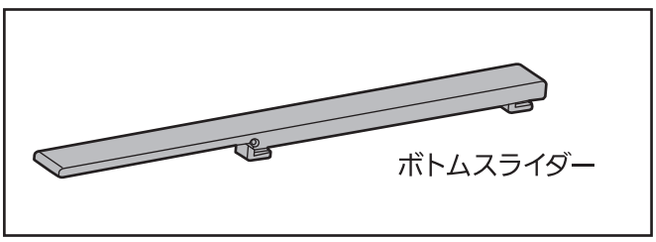
6. ショートタイプへ切り換える

2.本体（リアユニット）側を切り換える

①リアユニットに取り付けられているボードフレームを六角レンチ（6mm）とスパナ（13mm）で取り外してください。（左右各 2 箇所）



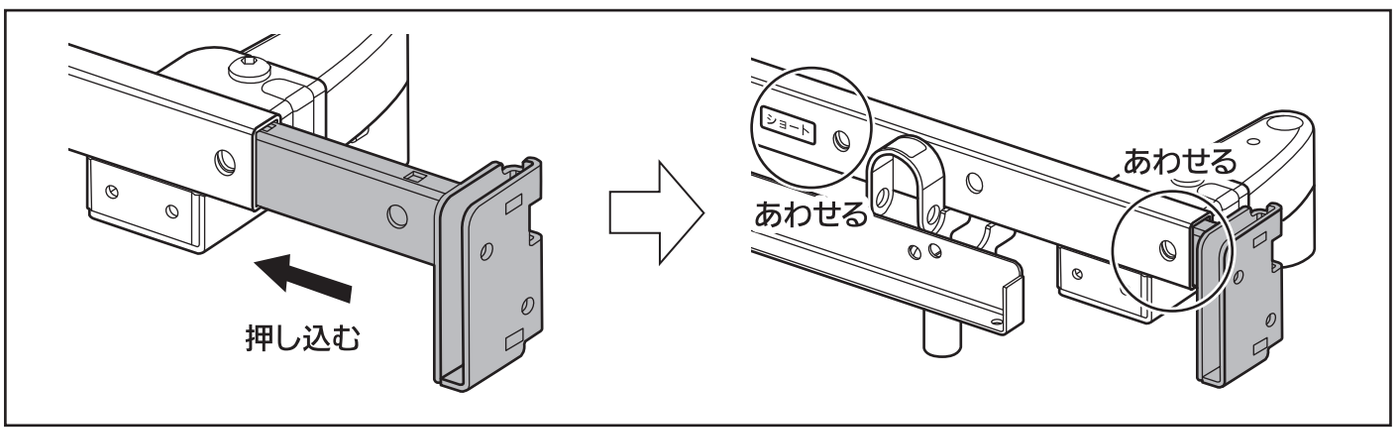


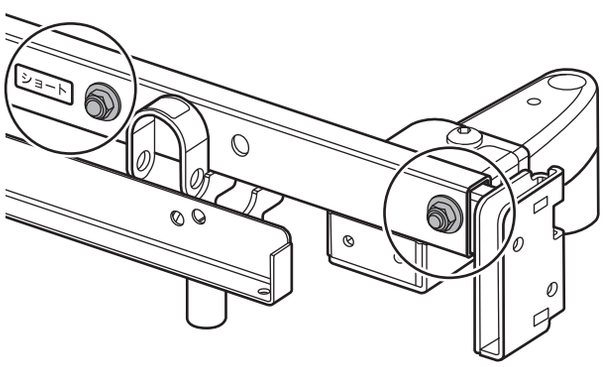


②ボード受金具を一度引き出した後に、ボトムスライダーを取り外してください。（左右各 1 箇所）

※取り外したボトムスライダーはレギュラーサイズのみ使用するので大切に保管してください。

③リアユニットに貼っている【ショート】ラベルを目印に挿入し、取り付け穴を合わせてください。



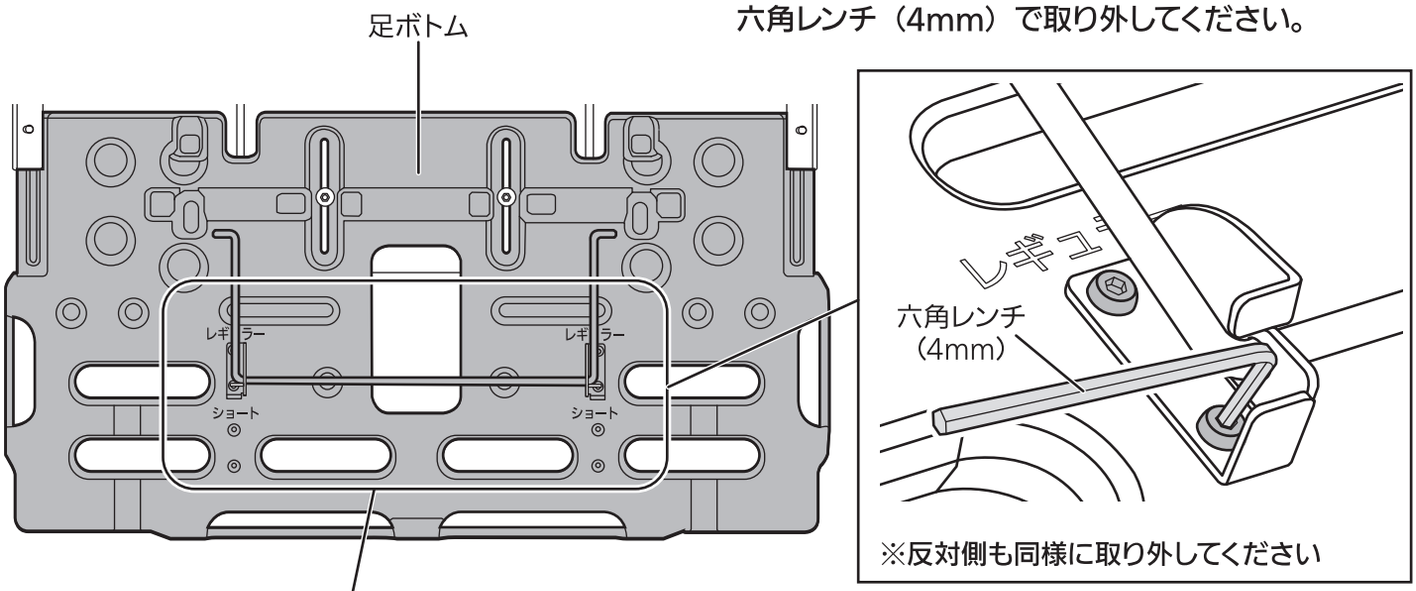


④（①）で取り外したボルトを左図の位置に取り付けてください。（左右各 2 箇所）

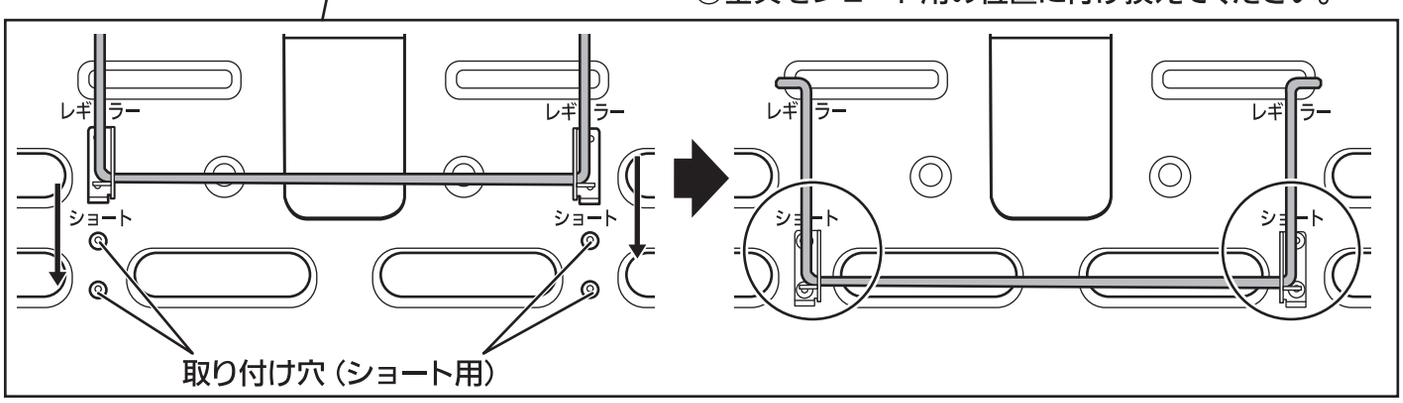
6. ショートタイプへ切り換える

3.足ボトム側を切り換える

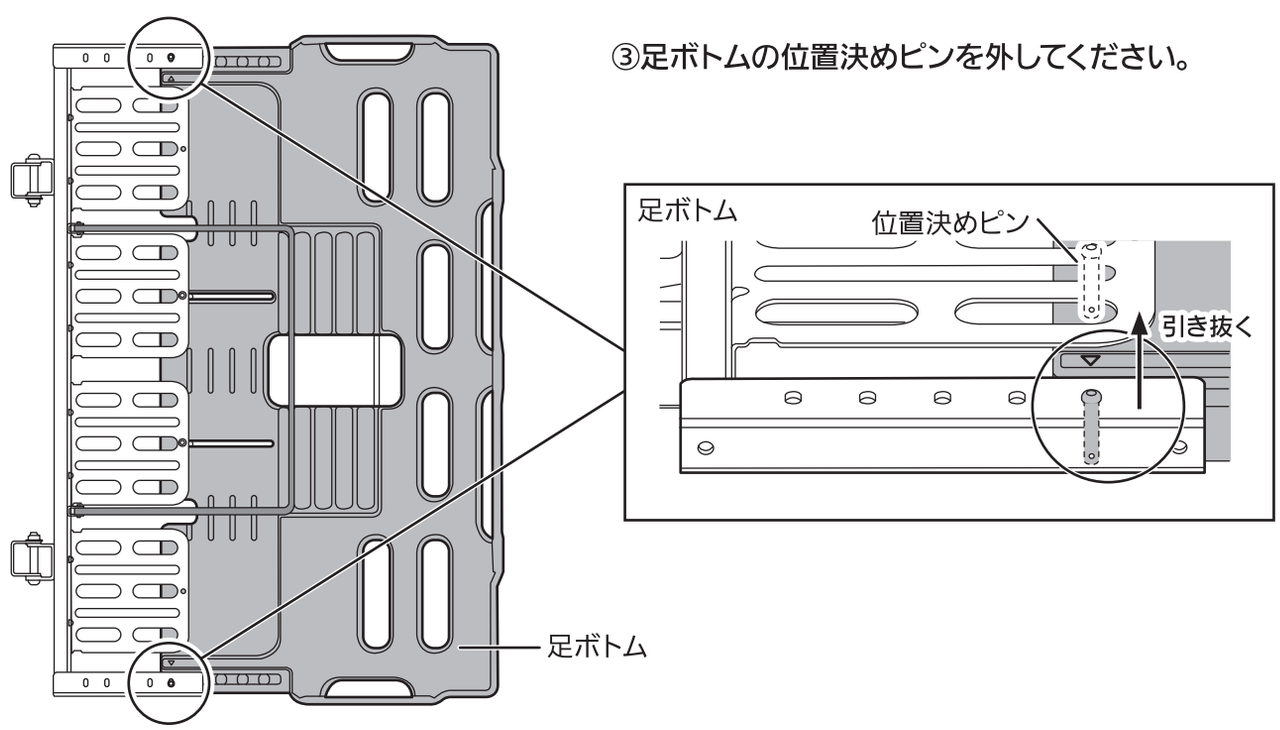
①足ボトム裏面に取り付けられている金具（2 箇所）を
六角レンチ（4mm）で取り外してください。



②金具をショート用の位置に付け換えてください。



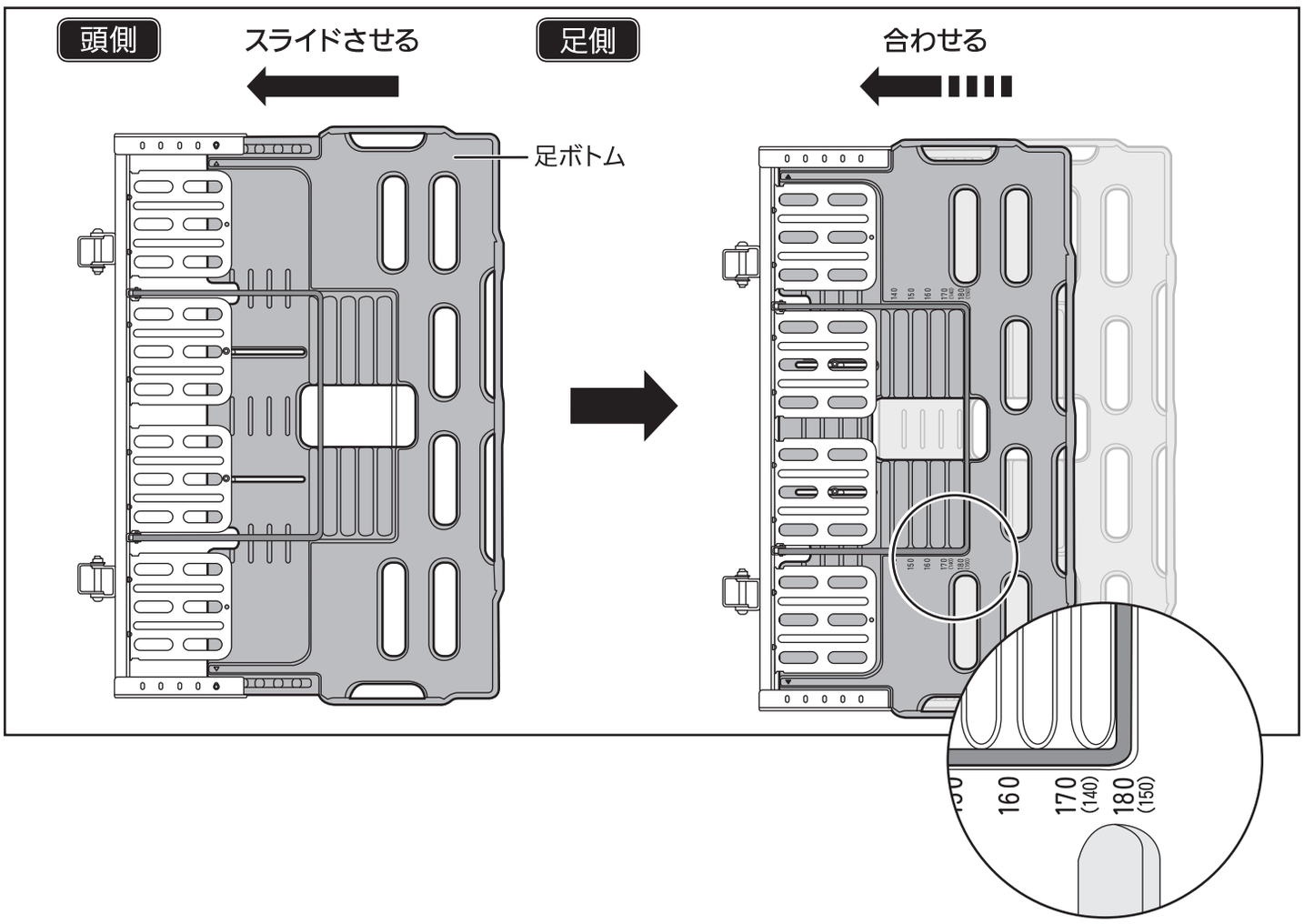
③足ボトムの位置決めピンを外してください。

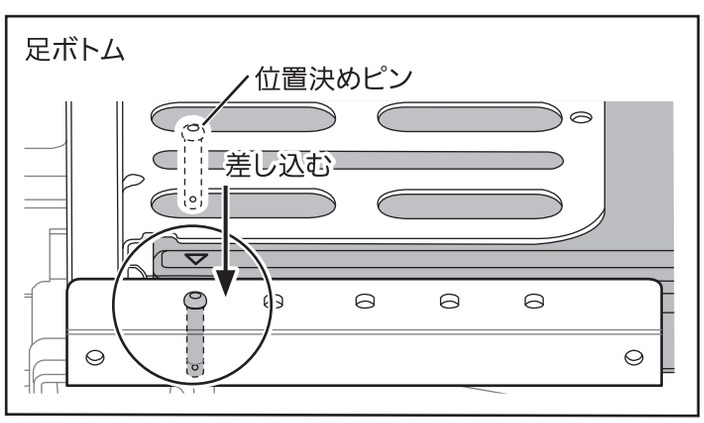


6. ショートタイプへ切り換える

3.足ボトム側を切り換える

④頭側にレバーユニットと足ボトムをスライドさせ、
レバーを足ボトムの（140）もしくは（150）に
合わせてください。





⑤手順 3 で抜いた足ボトムの位置決めピン（2 箇所）を
ボトムの「▼」を目印に挿入してください。

⑥完成したひざ・足ボトムをベッド本体に取り付けて
ください。（66～67 ページ参照）
（組み立てピン、スピードピン：各 2 箇所）

仕様

1.背あげ

背あげモーター（生活防水仕様　IP54）	
傾斜角度	0～73°［+2°～-3°］
昇降時間	約14 秒(普通) ／ 約12 秒(速い) (*1)
連続使用時間	約2分 (休止時間、約18分) (*2)
モーター形式	DC24V

2.ひざあげ

足あげモーター（生活防水仕様　IP54）	
傾斜角度	0～30°［±3°］
昇降時間	約30 秒(普通) ／ 約25 秒(速い) (*1)
連続使用時間	約2分 (休止時間、約18分) (*2)
モーター形式	DC24V

3.高さ調整

昇降モーター（生活防水仕様　IP54）	
傾斜角度	19.5～65cm（床からボトム上面までの高さ）
昇降時間	高さあげ 約45 秒(普通) ／ 約40 秒(速い) (*1) 高ささげ 約65 秒(普通) ／ 約60 秒(速い) (*1)
連続使用時間	約2分 (休止時間、約18分) (*2)
モーター形式	DC24V

（*1）無負荷時
（*2）ベッドを最大連続使用時間（約2分）動作させた場合、電装品を加熱から保護するための時間です

仕様

4.ベッド本体

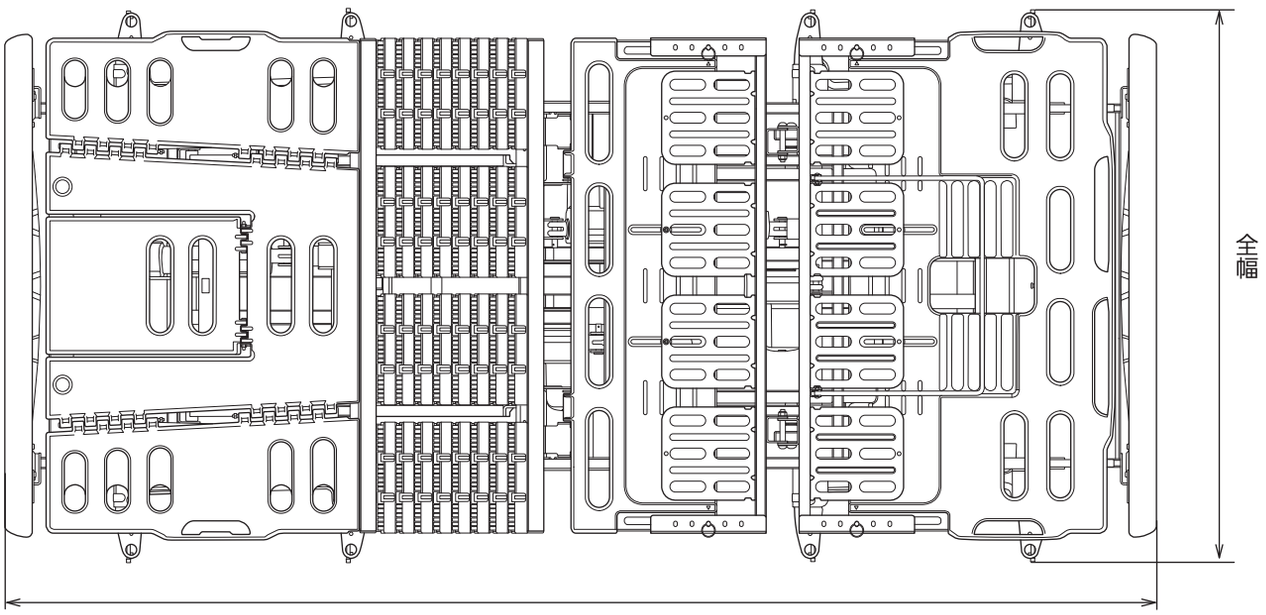
製品名	2モーション（レギュラーサイズ（ショートサイズ兼用））			
	91幅		83幅	
電源	AC100V　50/60Hz			
消費電力	360W			
ボード	樹脂タイプ	木調タイプ	樹脂タイプ	木調タイプ
セット品番	XPN-S105200B	XPN-S105200M	XPN-S105210B	XPN-S105210M
全長	レギュラー：208.5cm ショート：199.5cm	レギュラー：205.2cm ショート：196.2cm	レギュラー：208.5cm ショート：199.5cm	レギュラー：205.2cm ショート：196.2cm
全幅	99.8cm		91.8cm	
ボトムの高さ	19.5～65cm			
ヘッドボードの高さ	39cm	38.5cm	39cm	38.5cm
フットボードの高さ	39cm	28.5cm	39cm	28.5cm
脚座間長さ	147cm			
背部の角度	0～73°［+2°～-3°］			
ひざ部の角度	0～12°［±3°］			
質量（重量）	約100kg	約109.5kg	約93kg	約101.5kg
動作保障条件	周囲温度：10～40℃/湿度：30～75%RH			
最大使用者体重	120kg			
安全使用荷重	1,700N（*1）			

製品名	3モーション（レギュラーサイズ（ショートサイズ兼用））			
	91幅		83幅	
電源	AC100V　50/60Hz			
消費電力	360W			
ボード	樹脂タイプ	木調タイプ	樹脂タイプ	木調タイプ
セット品番	XPN-S105300B	XPN-S105300M	XPN-S105310B	XPN-S105310M
全長	レギュラー：208.5cm ショート：199.5cm	レギュラー：205.2cm ショート：196.2cm	レギュラー：208.5cm ショート：199.5cm	レギュラー：205.2cm ショート：196.2cm
全幅	99.8cm		91.8cm	
ボトムの高さ	19.5～65cm			
ヘッドボードの高さ	39cm	38.5cm	39cm	38.5cm
フットボードの高さ	39cm	28.5cm	39cm	28.5cm
脚座間長さ	147cm			
背部の角度	0～73°［+2°～-3°］			
ひざ部の角度	0～30°[±3°]			
質量（重量）	約101kg	約110.5kg	約94kg	約102.5kg
動作保障条件	周囲温度：10～40℃/ 湿度：30～75%RH			
最大使用者体重	120kg			
安全使用荷重	1,700N（*1）			

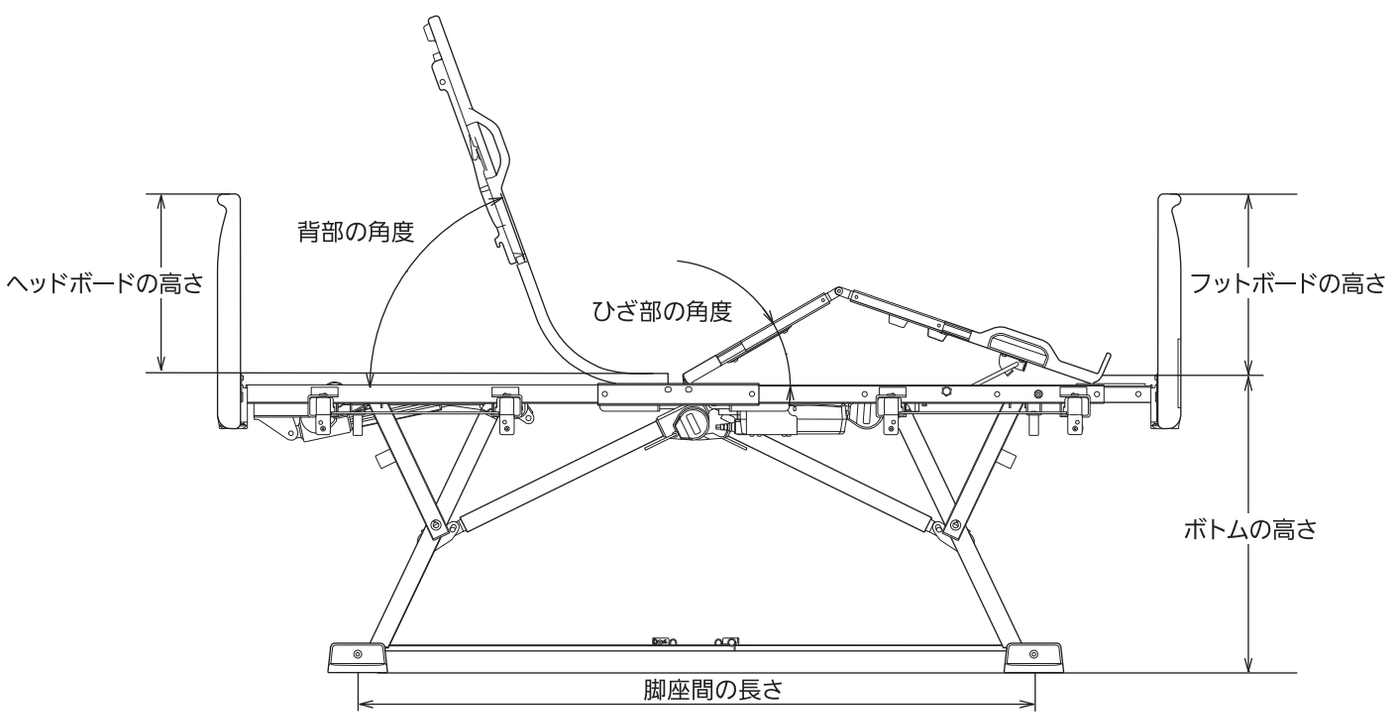
（*1） ベッドの動作が行える最大荷重 (使用者体重とマットレスやオプション品などの付帯物の合計荷重)

仕様

上面図



横面図



アフターサービスについて

■ 保証書 ■

この商品には保証書を別紙で添付しております。
所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はお引渡し日より1年間です。
ただし、ご使用状況によっては保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。
保証書の記載内容をご確認ください。

■ 補修用性能部品の保有期間 ■

当社はこのパナソニック電動ケアベッドの補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき ■

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の46ページに従ってご確認いただき、
なお異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（出来るだけ具体的に）、
ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。
保証の規程に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、
ご希望により有料修理させていただきます。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

設定初期化とモーターのゼロ点合わせについて

《下記の操作は、販売店様　レンタル事業者様向けの説明です》
レンタルバック時、または2回目の納品時に設定を初期化するために、以下の操作を行ってください。

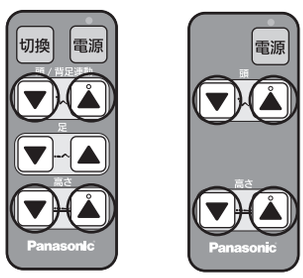
●設定初期化

次の操作を行うことで、工場出荷時の設定に戻すことができます。設定は、電源ボックス（リアユニット）に記憶されます。
<u>なお、設定初期化を行った後は、ゼロ点合わせも必ず行ってください。</u>

（1）手元スイッチの電源ボタンを押して、電源をオフにしてください。



（2）「頭▲」「頭▼」「高さ▲」「高さ▼」ボタンを同時押ししてください。（これらのボタンは、初期設定の表示がされるまで、押し続けてください）



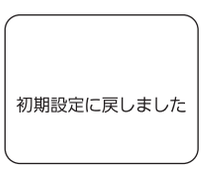
3M用　　2M用

（3）（2）の状態のまま「電源」ボタンを長押しし、電源をオンにしてください。



（4）（3）の状態のまま「電源」ボタンのみをはなしてください。

（5）液晶画面に” 初期設定に戻しました” と表示されれば設定完了です。



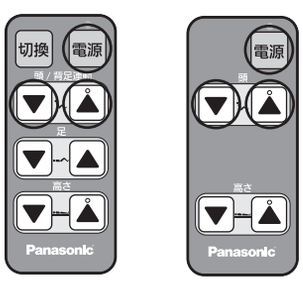
（6）引き続き、必ずゼロ点合わせの操作（右記）を実施してください。

●モーターのゼロ点合わせ

次の操作を行うことで、<u>手元スイッチの角度・高さ表示と実際の角度・高さのズレを合わすことができます。</u>

- 設定初期化を行わない場合も単独で操作ができます。
- ベッドは背・ひざ角度ともに0度、高さ19.5cmになるように動作するため、ベッド下や周囲にものがない状態で行ってください。
- 組み立て状態で行う場合は、必ずモーターを電源ボックスに挿入した状態で操作を行ってください。高さモーターが片側しか挿入されていない場合は、ベッドが斜めになり、破損する可能性があります。
- 納品前にゼロ点あわせを行う場合には、電源ボックス（リアユニット）と手元スイッチのみでも操作可能です。

（1）「電源」「頭▲」「頭▼」ボタンを同時押ししてください。（※）動作ロックしている部位を動かしたくない場合は、「頭▼」「高さ▲」「高さ▼」ボタンを同時押ししてください。



3M用　　2M用

（2）ベッドの背・ひざ角度が0度に、高さが19.5cmになり、これ以上モーターが動かなくなるまでボタンを押し続けてください*1。



※1：ボトムの角度が0度、高さが最低となった後も5秒程度はモーターが動作します。
ボトムの動きが停止した後も5秒以上、（1）のボタンを押し続けてください。

お客様ご相談窓口のご案内

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、
ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、
第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、
まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

商品・お取扱いなどのご相談は

パナソニック エイジフリーライフテック株式会社

フリーダイヤル 0120-365887

●受付時間　9:00～17:30（土、日、祝日休み）

http://panasonic.biz/healthcare/aflt/

パナソニック エイジフリーライフテック株式会社
本社　〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048　代表　TEL06(6908)8122